KENWOOD

HDD NAVIGATION SYSTEM

HDM-555

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

ⓒ PRINTED IN JAPAN B64-3069-00/01

HDM-555 HDD NAVIGATION SYSTEM

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
  電話　(045)933-5212、(06)6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます）
  FAX　(045)933-5553
  住所　〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
  受付時間　9:00〜18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

INDEX

1	はじめに	本機をご使用になる前に、知っておいていただきたい基本的な操作について説明しています。	P.1-1 ～P.1-24
2	行きたい場所を探す	行きたい場所を探し出すまでの手順を説明しています。	P.2-1 ～P.2-34
3	検索結果地点を登録する	探し出した場所を目的地として設定したり、メモリ地点に登録したり、通過点として設定する手順を説明しています。	P.3-1 ～P.3-12
4	ルート案内を使用する	ルート案内を開始する方法や、ルート案内中の画面や音声ガイドの詳細などを説明しています。	P.4-1 ～P.4-14
5	ルートを確認、変更する	目的地までのルートの確認や、ルートの変更、ルート案内の中止などの手順について説明しています。	P.5-1 ～P.5-18
6	VICSで渋滞情報を表示する	VICS情報の表示や、詳細機能の設定方法などについて説明しています。	P.6-1 ～P.6-22
7	記録した情報を編集する	メモリ地点の登録した内容の編集や、過去に到着した場所の編集のしかたなどについて説明しています。	P.7-1 ～P.7-30
8	お好みのナビに設定する	ナビ機能のいろいろな設定を行うための操作方法について説明しています。	P.8-1 ～P.8-20
9	AV機能を使用する	テレビや、DVD、CD、MP3/WMA、iPodのAV機能の使いかたについて説明しています。	P.9-1 ～P.9-66
10	システムを設定・調整する	フロントモニターの画質設定や、タッチ位置の認識補正設定、表示モード設定、システム設定やDVD設定などの操作方法について説明しています。	P.10-1 ～P.10-28
11	付録	ジョイスティックリモコン（別売品）での操作や故障が起きたときの対処のしかた、AV用語集、用語索引などについて説明しています。	P.11-1 ～P.11-40

INDEX

目次 ……………………………………………ii
安全上のご注意…………………………………ix
使用上のご注意…………………………………xiii
取扱説明書の使いかた …………………………xviii

1 はじめに

各部の名称と機能 ……………………………P.1-2
操作パネルの各部の名称と機能 ………………1-2
本体の各部の名称と機能 ………………………1-3
電源のオンとオフ ……………………………P.1-4
電源オン …………………………………………1-4
電源オフ …………………………………………1-5
ナビの基本操作 ………………………………P.1-6
ナビ画面の見かた ………………………………1-6
地図の向きを切り替える ………………………1-8
ランクメニューについて ………………………1-9
地図画面の縮尺 …………………………………1-11
目的地情報表示について ………………………1-12
地図のスクロールについて ……………………1-13
くるくるボタンで操作ボタンを切り替える …1-14
ナビメニューについて …………………………1-15
AV機能の基本操作 …………………………P.1-16
前面パネルの開閉のしかた ……………………1-16
ディスクを挿入する ……………………………1-17
ディスクを取り出す ……………………………1-18
テレビの基本操作 ………………………………1-20
DVDの基本操作 …………………………………1-21
CDの基本操作 ……………………………………1-22
MP3/WMAの基本操作 …………………………1-23
iPodの基本操作 …………………………………1-24

2 行きたい場所を探す

探すメニューについて ………………………P.2-2
探すメニューを表示する ………………………2-2
わかることから探す …………………………P.2-4
建物（施設）の名称を入力して探す …………2-4
住所を選択して探す ……………………………2-7
電話番号を入力して施設を探す ………………2-11
電話番号と名字を入力して個人宅を探す ……2-14
緯度と経度を入力して探す ……………………2-16
したいことから探す …………………………P.2-18
したいことを選択して探す ……………………2-18
地図から探す …………………………………P.2-22
地図を表示して探す ……………………………2-22
きおくから探す ………………………………P.2-24
メモリ地点に登録した場所から探す …………2-24
過去に到着した場所から探す …………………2-26
周辺から探す …………………………………P.2-28
周辺を選択して探す ……………………………2-28
地図上のマークを探す ………………………P.2-32
地図上のマークを探す …………………………2-32

3 検索結果地点を登録する

検索結果画面について ………………………P.3-2
検索結果画面でできること ……………………3-2
目的地として設定する …………………………3-4
地点の詳細を見る ………………………………3-6
地図から他の地点を探す ………………………3-7
地点周辺の駐車場や関連施設を探す …………3-8
地点周辺の施設を探す …………………………3-9
検索結果地点を登録する ……………………P.3-10
メモリ地点として登録する ……………………3-10
通過点として設定する …………………………3-11

4 ルート案内を使用する

プランを選ぶ画面について …………………P.4-2
プランを選ぶ画面でできること ………………4-2
ルートを比較する ………………………………4-4
ルート案内を開始する …………………………4-5
自宅へ帰る ………………………………………4-7
案内中の画面表示と音声案内について ……P.4-8
一般道路での案内 ………………………………4-8
交差点の案内 ……………………………………4-8
高速道路での案内 ………………………………4-9
合流警告 …………………………………………4-10
ガイドポイントでの音声案内 …………………4-11
ガイドポイント接近時の画面表示 ……………4-12
一般道の交差点 …………………………………4-12
高速道路のインターチェンジ（IC）と
ジャンクション（JCT） ………………………4-12
都市高速道の入口 ………………………………4-12

オートリルート ････････････････････････････4-13
渋滞しているときは ････････････････････････4-14

5 ルートを確認、変更する

ドライブプランメニューについて･･････････････････P.5-2
ドライブプランメニューを表示する･････････････5-2
目的地までのルート全体を表示する･･････････････P.5-4
ルート全体を地図で表示する･･････････････････5-4
ルート全体をリストで表示する････････････････5-5
目的地までのルートを変更・削除する････････････P.5-6
目的地や通過点を変更する････････････････････5-6
通過点の順番を変更する･･････････････････････5-8
目的地や通過点を削除する ･･････････････････5-10
通過点を追加する ･･････････････････････････5-12
ルートを削除する ･･････････････････････････5-14
お試し走行をする ･･････････････････････････P.5-16
お試し走行をする ･･････････････････････････5-16
ルート案内を中止する ･･････････････････････P.5-18
ルート案内を中止する ･･････････････････････5-18

6 VICSで渋滞情報を表示する

VICS情報を表示する ････････････････････････P.6-2
VICS情報とは････････････････････････････････6-2
VICS情報の地図画面上の表示･･････････････････6-3
VICSメニューについて ･･････････････････････P.6-5
VICSメニューを表示する･･････････････････････6-5
VICSを表示／選局する ･･････････････････････P.6-7
VICS情報を表示する･･････････････････････････6-7
VICS FM局を自動選局する････････････････････6-8
エリアを指定して選局する ･･････････････････6-10
VICSビーコン情報を表示する･･････････････････P.6-12
VICSビーコン情報を表示する ････････････････6-12
VICS機能の詳細を設定する････････････････････P.6-13
VICS機能の詳細を設定する ･･････････････････6-13
VICSの参考資料････････････････････････････P.6-15
VICSサービスの問い合わせ先 ････････････････6-15
VICSリンクの更新について ･･････････････････6-16
VICS FM情報放送周波数（NHK-FM）･････････6-17
VICS情報有料放送サービス契約約款 ･･････････6-18

7 記録した情報を編集する

情報メニューについて･･････････････････････････P.7-2
情報メニューを表示する･･････････････････････7-2
記録した場所を編集する････････････････････････P.7-4
メモリ地点の名称を変更する･･････････････････7-4
メモリ地点の読み仮名を変更する･･････････････7-8
メモリ地点の電話番号を設定する ････････････7-10
メモリ地点の位置を確認する ････････････････7-12
メモリ地点を消去する ･･････････････････････7-14
メモリ地点のマークを変更する ･･････････････7-16
メモリ地点にサウンドを設定する ････････････7-18
自宅の位置を登録・編集する ･･････････････････P.7-20
自宅の位置を登録する ･･････････････････････7-20
自宅の位置を変更する ･･････････････････････7-22
自宅のマークを変更する ････････････････････7-23
自宅情報を消去する ････････････････････････7-24
過去に到着した場所を編集する ････････････････P.7-26
過去に到着した場所をメモリ地点に登録する ･･･7-26
過去に到着した場所を消去する ･･････････････7-28
タッチゲームで遊ぶ ････････････････････････P.7-30
タッチゲームで遊ぶ ････････････････････････7-30

8 お好みのナビに設定する

ナビ設定メニューについて･･････････････････････P.8-2
ナビ設定メニューを表示する･･････････････････8-2
地図画面の表示を設定する･･････････････････････P.8-4
地図画面の表示を設定する････････････････････8-4
地図画面の色調を設定する････････････････････8-6
地図画面の角度を設定する････････････････････8-7
ランドマーク表示を設定する･･････････････････8-8
ルート案内時の動作を設定する ････････････････P.8-10
ルート案内時の動作を設定する ･･････････････8-10
ナビ機能を設定する ････････････････････････P.8-12
ナビ機能を設定する ････････････････････････8-12
車両の情報を設定する ･･････････････････････8-14
本体の動作状態を確認する ･･････････････････8-15
パルス情報をリセットする ･･････････････････8-17
現在地を補正する ･･････････････････････････8-18

9 AV機能を使用する

AVソースを切り替える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.9-2
ハードキーでAVソースを切り替える・・・・・・・・・・・9-2
テレビを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.9-3
テレビを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-3
テレビの操作画面でできること・・・・・・・・・・・・・・・・9-5
選局ボタンの動作モード（シークモード）を
設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-6
音声多重放送を切り替える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-7
テレビメニューでできること・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-8
放送局を登録する（オートプリセット）・・・・・・・・・・9-9
現在地エリアの放送局を表示する
（エリアモード）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-11
お好みの放送局をプリセットチャンネルに
記憶する（マニュアルメモリー）・・・・・・・・・・・・・・9-13
アナログ放送からデジタル放送への
移行について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-15
DVDを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.9-17
DVDを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-17
DVDの操作画面でできること ・・・・・・・・・・・・・・・・9-19
映像をズームする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-20
ディスクメニューを表示して再生する ・・・・・・・・・9-21
早送り／早戻しする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-23
スロー再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-24
コマ送り／戻しで再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-25
DVD VIDEOメニューでできること ・・・・・・・・・・・9-26
リピート再生をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-28
音声言語／字幕言語を切り替える ・・・・・・・・・・・・・9-29
タイトルをサーチして再生する ・・・・・・・・・・・・・・・9-30
ダイナミックレンジを切り替える ・・・・・・・・・・・・・9-31
CDを聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.9-32
CDを再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-32
CDメニューでできること ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-34
トラックリストから選曲する ・・・・・・・・・・・・・・・・・9-35
ランダムに曲を再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-36
リピート再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-37
スキャン再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-38
早送り／早戻しする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-39
MP3/WMAディスクを再生する ・・・・・・・・・・・・・・P.9-40
MP3/WMAを再生する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-40
MP3/WMAメニューでできること・・・・・・・・・・・9-42
フォルダ／ファイルリストから選曲する ・・・・・・9-44
ランダムに曲を再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-46
リピート再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-47
スキャン再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-48
早送りする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-49
iPodの曲を再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.9-50
iPodの曲を再生する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-50
iPodメニューでできること・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-52
トップカテゴリから選曲する ・・・・・・・・・・・・・・・・9-54
リスト表示から選曲する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-57
リピート再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-58
スキャン再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-59
ランダムに曲を再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-60
早送り／早戻しする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9-61
リアモニター（別売品）で映像を見る ・・・・・・・・・・・P.9-62
リアモニターに映像を映す ・・・・・・・・・・・・・・・・・9-62
外部ビデオ／外付け装置の映像を表示する ・・・・・・・P.9-63
外部ビデオの映像を表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・9-63
外部オーディオの音声を出力する ・・・・・・・・・・・・9-64
リアビューカメラの映像を表示する ・・・・・・・・・・9-65

10 システムを設定・調整する

SET UPメニューについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-2
SET UPメニューを表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・10-2
画質を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-4
画質を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-4
画面モードを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-6
タッチ位置の認識を補正する ・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-8
タッチ位置の認識を補正する ・・・・・・・・・・・・・・・・10-8
表示モードを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-9
表示モードを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-9
画面の位置を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-10
画面の位置を調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-10
システムの詳細を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-11
システムの詳細を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・10-11
個別に設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-13
DVD機能を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10-16
DVD機能を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-16
音声言語を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-18
字幕言語を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-21

メニュー言語を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-22
視聴制限のレベルを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・10-23
視聴制限のレベルを変更する・・・・・・・・・・・・・・・・10-25
視聴制限設定時に使用するパスワードを
変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-26
音声案内の口調や読み上げる早さを設定する・・・・P.10-28
音声案内の口調や読み上げる早さを設定する・・10-28

11 付録

ジョイスティックリモコン（別売品）での操作 ・・・P.11-2
ジョイスティックリモコンの
各部の名称と機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11-2
ジョイスティックリモコンの電池交換 ・・・・・・・・・11-5
ジョイスティックリモコンの操作早見表 ・・・・・・・11-6
故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-10
MP3/WMAについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-21
地図データベースについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-23
自車位置の精度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-26
地図記号の凡例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-30
その他の資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-31
用語集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-32
ナビ用語集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11-32
AV用語集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11-33
仕様一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-34
保証とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-37
用語索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11-38

- 本製品にはWindows Automotive-based Systemが搭載されています。ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる所（車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

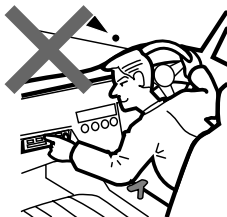
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意	⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
禁止	🛇記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
実施	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

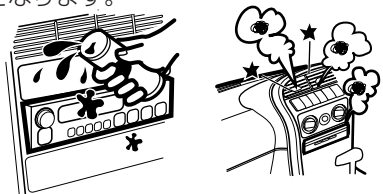
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。
走行中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

修理は必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。また、ハードディスクは取り外さないでください。

⚠ 警告

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のものとで差異が生じているためです。
走行時には、実際の道路や交通規制などに従って運転してください。

画面が表示されない、音声が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、道路状態や交通規則などと一致しない場合があります。実際の交通規則を守って走行してください。

万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い求めの販売店にご依頼ください。
取り付け作業には専門技術が必要です。

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意

禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実施

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

実施

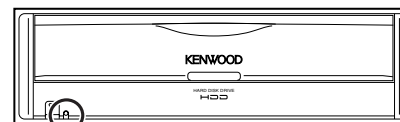
モニターの画面に保護用フィルムなどを貼ると、タッチ操作時に誤動作する場合があります。

安全走行のために

走行中はフロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（➡P.11-10）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。
本機をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、登録した「自宅情報」、「メモリ地点」と、「車速パルスの学習」の内容はリセットされません。

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約１時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

iPod接続ケーブルとVICS光/電波ビーコンについて

本機は、別売品のVICS光/電波ビーコン（VF-M77）と別売品のiPod接続ケーブル（KNA-i77）を同時に接続することはできません。詳しくは取付説明書をご覧ください。

本機でコントロールできるiPodについて

別売品のiPod接続ケーブル（KNA-i77)を使用して、Dockコネクタを装備したiPod（市販品）を接続すると、本機からiPodのコントロールが行えます。
本機からコントロールできるiPodは以下の通りです。

コントロール可能iPod	ソフトウェアバージョン
Dockコネクタ搭載のiPod（第3世代）	iPodソフトウェア2.2
クリックホイール搭載のiPod（第4世代）	iPodソフトウェア3.0.2
iPod mini	iPod miniソフトウェア1.2
iPod photo	iPod photoソフトウェア1.0

iPodのソフトウェアバージョンが上記のバージョン未満の場合は、iPodのソフトウェアをアップデートする必要があります。
iPodのソフトウェアバージョンは、iPodの[MENU]ボタンを押したあと、「設定」、「情報」と選択すると表示される「バージョン」欄に表示されます。最新のiPodソフトウェアのアップデータはアップル社のサイトからダウンロードできます。

本機に表示できる文字の種類は、ISO08859-1、半角カタカナ、および全角文字です。
正しく表示できない文字は「・」で表示されます。

本機に別売品のiPodケーブル（KNA-i77）を使用してiPodを接続すると、iPodに電源を供給し、音楽を再生中でも充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっている必要があります。

本機で再生できないディスク

下表の「ディスク再生対応一覧表」で「×」対応のディスクは、本機では再生できません。
また、DVD-R/RW、DVD+R/RWは、DVD-Videoフォーマットに準じて記録されていない場合も再生できません。

●
本機で再生可能な音楽CDは マークの入ったCDだけです。
前記マークの入っていないディスクは、再生が正しくできない場合があります。

●
ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RW、DVD-R/RWおよびDVD+R/RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）
このほかにもCD-R/RW、DVD-R/RWおよびDVD+R/RWは、記録状態により再生できない場合があります。

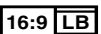
使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

●
記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●
レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

●
インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

ディスク再生対応一覧表　○：再生できます　△：一部のみ再生可能です　×：再生できません

分類	規格	対応	備考
DVD	DVDビデオ（DVD−ROM1層／2層）	○	−
	DVDオーディオ（DVD−ROM）	×	−
	DVD−R	○	ビデオモードのみ（Ver1.0、Ver2.0） VRモード非対応
	DVD−RW	○	ビデオモードのみ（Ver1.1） Ver1.0、4倍速録画対応ディスク（Ver1.2.4x）には非対応 VRモード、CPRM非対応
	DVD+R	○	−
	DVD+RW	○	
	DVD+R　DL（2層）	○	
	DVD−RAM	×	−
CD	音楽CD	○	CD−TEXT対応、8cmディスク対応
	CD−ROM	○	MP3/WMA再生
	CD−R	○	MP3/WMA再生
	CD−RW	○	マルチセッション対応　パケットライト非対応
	DTS−CD	○	−
	ビデオCD、スーパービデオCD	×	−
	フォトCD	×	−
	CD−EXTRA	△	音楽CDセッションのみ再生可能
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	−
その他	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスク用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●
8cmCDアダプターは使用しないでください。
8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
ALL	このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。 リージョン番号を表します。
8	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは右のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

禁止マーク

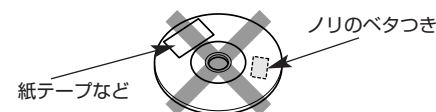
ディスクの取り扱いについて

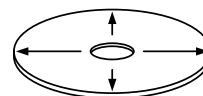
ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

●

CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

ディスクのお手入れ

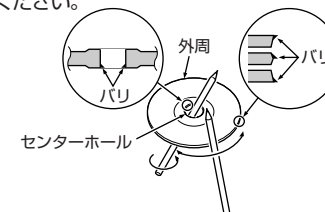
ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

ディスクの保存

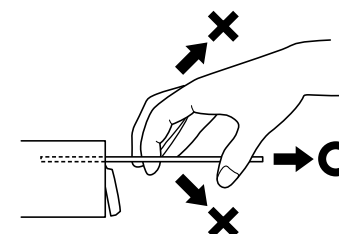
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。
特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

●

長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

この取扱説明書で使用されている表記について説明します。

「選択する」

この取扱説明書では、操作パネルに表示されたボタンなどにタッチする操作をすべて「～を選択する」と記載しています。
別売のジョイスティックリモコンで操作する場合は、11-2～11-9ページを参照してください。

ページの見かた

Memo
- この取扱説明書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面とは異なる場合や実際には行えない検索例が記載されている場合があります。

1 はじめに

ここでは、本体各部の名称や電源のオン／オフ、ナビの基本操作、AV機能の基本操作など、本機をご使用になる前に知っておいていただきたい基本的な操作について説明します。

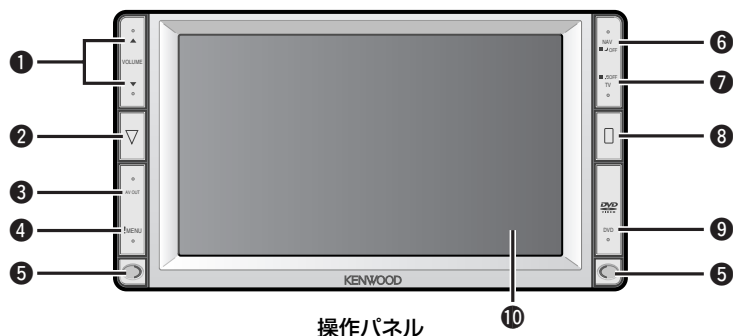
■ **各部の名称と機能** **P.1-2**
操作パネルの各部の名称と機能 P.1-2
本体の各部の名称と機能 P.1-3

■ **電源のオンとオフ** **P.1-4**
電源オン P.1-4
電源オフ P.1-5

■ **ナビの基本操作** **P.1-6**
ナビ画面の見かた P.1-6
地図の向きを切り替える P.1-8
ランクメニューについて P.1-9
地図画面の縮尺 P.1-11
目的地情報表示について P.1-12
地図のスクロールについて P.1-13
くるくるボタンで操作ボタンを切り替える P.1-14
ナビメニューについて P.1-15

■ **AV機能の基本操作** **P.1-16**
前面パネルの開閉のしかた P.1-16
ディスクを挿入する P.1-17
ディスクを取り出す P.1-18
テレビの基本操作 P.1-20
DVDの基本操作 P.1-21
CDの基本操作 P.1-22
MP3/WMAの基本操作 P.1-23
iPodの基本操作 P.1-24

操作パネルの各部の名称と機能

操作パネルの各部の名称とその働きについて説明します。

操作パネル

❶ ボリュームキー

テレビやAV機能の音量を調整（▲：大きく、▼：小さく）します。

ボリュームキーを押すと、現在の音量レベルが表示されます。

ナビの音量は、「システムの詳細を設定する」（➡P.10-11）で設定してAV機能の音量とのバランスを設定します。

❷ ディマーセンサー

周囲の明るさを感知して、画面の明るさが自動的に調整されます。ディマーセンサーは「画質を調整する」（➡P.10-4）で設定します。

❸ AV OUTキー

リアモニター（別売品）に映像を映します。また、リアモニターのソース（テレビ、AV機能など）を切り替えます（➡P.9-62）。

❹ ！MENUキー

選択されているソース（ナビ、テレビ、AV機能など）のメニュー画面を表示します。各ソースのいろいろな設定は、メニュー画面から行えます。

❺ スピーカーダクト

音声案内やオーディオの音声を出力します。

❻ NAVキー

ナビ画面が表示されます。ナビ画面を表示中に押すと、現在地画面が表示され、ルートを走行中に押すと、ガイドポイントの音声案内をもう一度行います。

また、約2秒以上押すと、画面の映像をオフにすることもできます。

❼ TVキー

テレビ画面が表示されます（➡P.9-3）。

また、約2秒以上押すと、映像をナビ画面に切り替えて、音声をオフにすることができます（➡P.9-2）。

❽ リモコン受光部

リモコンからの信号を受ける部分です。リモコンを操作するときはこの部分に向けて操作してください。

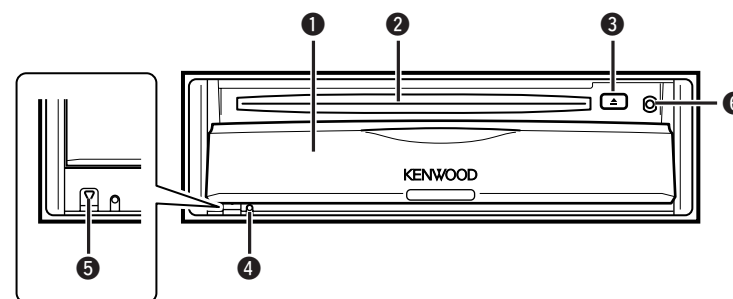
❾ DVDキー

挿入されているディスク（DVD、CD、MP3/WMA）やiPodの曲を再生します（➡P.9-17、➡P.9-32、➡P.9-40、➡P.9-50）。

❿ タッチパネル

各種操作／設定ができます。

本体の各部の名称と機能

本体の各部の名称とその働きについて説明します。

❶ 前面パネル

ディスク（DVD、CD、MP3/WMA）の挿入／取り出しをするときに開け閉めするパネルです。

Memo ●通常、前面パネルは閉じた状態で使用してください。

❷ ディスク挿入口

ディスク（DVD、CD、MP3/WMA）を挿入する場所です。

❸ イジェクトキー

ディスク（DVD、CD、MP3/WMA）を取り出すキーです。

❹ リセットボタン

本機をお買い上げ時の設定に戻します。ただし、登録した「自宅情報」、「メモリ地点」と、「車速パルスの学習」の内容はリセットされません。

「故障かなと思ったら」（➡P.11-10）を読んでも解決方法が見つからない場合は、リセットボタンを押してください。

❺ セキュリティインジケータ

セキュリティインジケータをONにすると（➡P.10-12）、エンジンキーがオフのときにLEDが点滅します。LEDが点滅することにより盗難を抑制する効果があります。

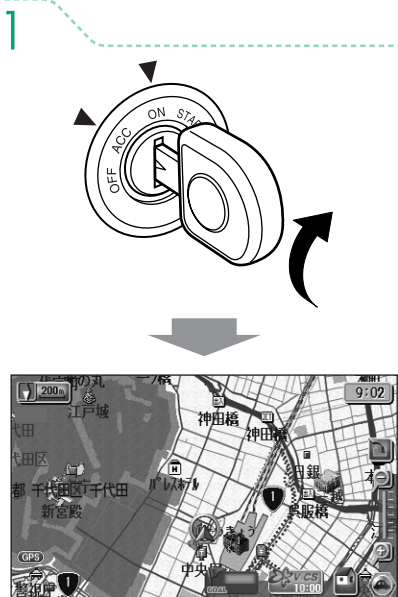
❻ バージョンアップキー

本機のバージョンアップ（地図更新など）の際に使用するコネクターです。

●バージョンアップ時以外は、使用しないでください。イヤホンなどを差し込むと、故障や怪我の原因となることがあります。

電源オン

イグニッションキーを「ACC」または「ON」の位置にすると、本機の電源がオンになります。

1

現在地画面

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にします

本機の電源をオンにすると、起動画面とメッセージ画面が表示されます。このあとGPS衛星からの情報と車速パルスの情報をもとに現在地が測位され、現在地付近の地図画面（現在地画面）または最後に選択されていたソース（テレビ、DVDなど）の映像が表示されます。

本機をはじめて使うときは、電源がオンになると**起動ウィザード**画面が表示されます。起動ウィザード画面では、自宅の位置の登録や、ナビの基本画面の設定、車両情報の設定など、ナビの基本的な設定を行うことができます。設定の内容や操作方法については、別冊の「基本操作ガイド」(➡P.4～7) をご覧ください。

END

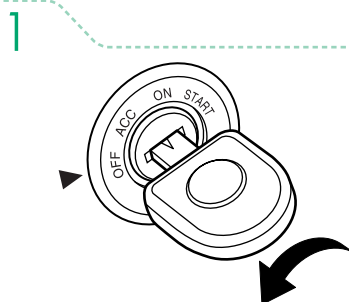
- イグニッションキーを「ACC」のままで本機を使い続けると、バッテリーが上がってしまうおそれがあります。必ずエンジンを始動（「ON」）させてから使用してください。
- プログラム読み込み後から現在地画面が表示されるまでの間は、本体を動かさないでください。本体を動かすと自車位置が正しく表示されないことがあります。このようなときは、GPS情報を受信するまでしばらく走行してください。
- 走行中は本機の操作やメニュー画面の表示はできません。車を安全な場所に停車させてから操作してください。

Memo

- 初めて使用するときや、バッテリーを交換した場合に、GPS情報を受信するのに時間がかかることがあります。
- 使用状況や電源電圧の変動によってプログラムが消去されてしまい、電源をオンにしたときにプログラムの読み込みから始まる場合があります。このような場合には、各種の設定の内容も消去されている場合があります。
- 起動ウィザード画面が表示されていない場合は、「自宅の位置を登録する」(➡P.7-20) や「地図画面の表示を設定する」(➡P.8-4) で設定が行えます。
- 正しい現在地を表示するには車速パルスの学習が必要です。車速パルスの学習が終わるまでは、自車マークが実際の位置とは大きく異なる場所に表示される場合があります。
  車速パルスの学習は目安として、400m以上の直進を2回以上、右折・左折をそれぞれ2回以上する必要があります。
  車速パルスの学習の詳しい方法や条件などが取付説明書に説明してあります。使用する前に取付説明書をご覧ください。

電源オフ

イグニッションキーを「OFF」の位置にすると、本機の電源がオフになります。

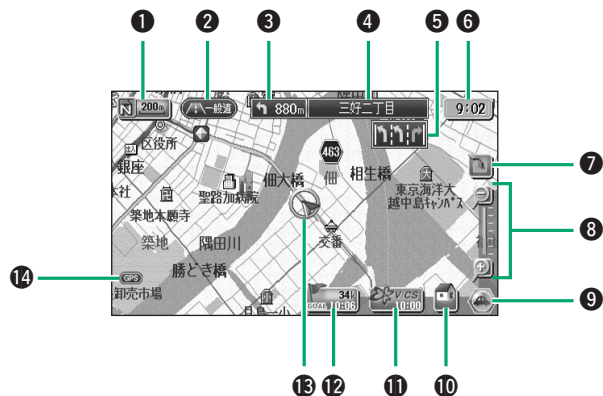
1

イグニッションキーを「OFF」にします

END

Memo

- ♪OFF/TV キーを約2秒以上押すと、映像をナビ画面に切り替えて、音声をオフにすることができます。また、NAV/♪OFF キーを約2秒以上押すと、画面の映像のみをオフにすることができます。

ナビ画面の見かた

走行中の画面では、地図上にいろいろな情報が表示されます。
ナビ画面の地図上に表示される基本的なマークについて説明します。

❶ 方位マーク／地図縮尺表示

地図の方位と地図の縮尺を示すマークです。地図の向きを変えることもできます（➡P.1-8）。

❷ 道路名称、合流警告の表示

走行中に現在走行中の道路のマークが表示されます。また、合流ポイントに近づいた場合もマークが表示されます。

❸ 次ガイドポイント案内表示

次のガイドポイントまでの距離と進行する方向が表示されます。

❹ 次交差点名称表示

次の交差点の名称が表示されます。

❺ レーン案内表示

走行中に、次の交差点の通行区分が表示されます。
ルート案内中は、推奨レーンの矢印が水色で表示されます。

❻ 現在時刻の表示

現在の時刻が表示されます。

❼ ランクメニューボタン

ランクメニューが表示されます。ランクメニューでは、ナビメニューの項目でよく使われる項目を、ワンタッチで呼び出すことのできるランキングショートカットボタンや、2D/3D画面表示の切り替えなどができるショートカットボタンを表示します（➡P.1-9）。

❽ 地図の縮尺変更ボタン

地図の縮尺を変更できます（➡P.1-11）。

❾ くるくるボタン

ナビ、テレビ、DVD、CD、iPodなど、現在選択中のソースの操作ボタンに切り替えます（➡P.1-14）。

❿ 自宅ボタン

登録されている自宅地点までのルートを探索します（➡P.4-7）。
自宅地点が登録されていない場合は、自宅を登録する画面が表示されます（➡P.7-20）。

⓫ VICS情報ボタン

地図に表示されているVICS情報の提供時刻を表示します。
VICS割込情報がある場合に選択すると、最新のVICS情報を表示することができます。

⓬ 目的地情報ボタン

ルート案内中に、目的地の名称や、目的地までの到達度の情報などを表示します。ボタンには目的地までの距離と到着予定時刻が表示されています（➡P.1-12）。

⓭ 自車マーク

車の現在地を示すマークです。

⓮ GPSマーク

GPS衛星からの電波を受信して測位ができているときに表示されます。

Memo

- 表示される道路は地図の縮尺によって異なります。
- 細街路（幅員5.5m未満の道路）は、細街路以外の道路を走行中は表示されません。また、細街路を走行中であっても、地図の縮尺によっては表示されない場合もあります。
- 携帯電話や無線機などの電気・電子機器を本機のモニター部に近付けると、モニターの表示が乱れることがあります。モニター部と電気・電子機器はできるだけ離して使用してください。
- 方面看板付の交差点に近づくと方面看板が表示されます。

ただし、ルート案内中は拡大図が優先表示されます。方面看板の表示はオフにすることもできます（➡P.8-11）。場所によっては表示されないこともあります。
- 方面看板の表示は、実際の道路に複数ある場合でも、表示されるのはその中の１つだけです。

地図の向きを切り替える

地図の向きを、ノースアップ（北を常に上方向にする）とヘディングアップ（進行方向を常に上方向にする）に切り替えることができます。

200m を選択するたびに、ノースアップ（N 200m）とヘディングアップ（200m）に地図の向きが切り替わります。

ノースアップ

"北"が常に上方向

N 200m ▼ を選択　▲ 200m を選択

ヘディングアップ

"進行方向"が常に上方向

END

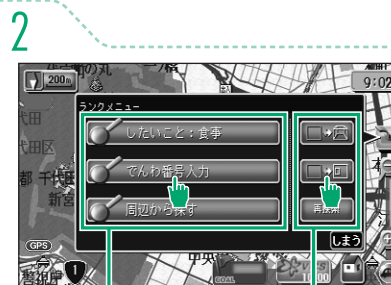
Memo
- ヘディングアップ時には、自車マークは画面の下から約1/3の位置に表示され、進行方向の地図が広く表示されます。
- 地図を3D表示（➡P.1-10）にしているときには、地図の向きはヘディングアップに固定されます。
  ノースアップは、2D表示中にのみ切り替えが可能です。

ランクメニューについて

ランクメニューでは、ナビメニューの機能でよく使われる上位3つの機能を呼び出せます（ランキングショートカット）。また、地図表示を2D/3D画面表示に切り替えたり、画面を1画面と2画面に切り替えられるショートカットボタンも表示されます。

1

を選択します

2

ランキングショートカットボタン　ショートカットボタン

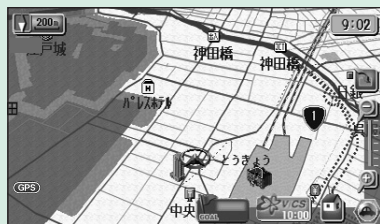
各ショートカットを選択します

Hint
- □→□ を選択すると、地図表示が2Dと3Dに切り替わります（➡P.1-10）。
- □→□ を選択すると、1画面地図と2画面地図に切り替わります（➡P.1-10）。
- 再探索 を選択すると、今いる場所からルート全体を再探索します（➡P.1-10）。
- ランクメニューの操作を中止する場合は しまう を選択します。

END

Memo
- お買い上げ時のランキングショートカットボタンには、何も登録されていません（「未登録」と表示されています）。
- ランキングショートカットボタンは、ナビメニューの項目でよく使われる上位3つの機能が自動的に登録されます。
- ショートカットボタンにお好みの機能を登録することはできません。
- 走行中は、ランキングショートカットボタンは表示されません。

2D/3D切替について

ショートカットボタンの を選択すると、地図表示が2Dと3Dに切り替わります。

2D地図画面　　3D地図画面

Hint
- 3D地図画面にしているときは、地図画面の角度を設定できます（➡P.8-7）。

画面分割切替について

ショートカットボタンの を選択すると、地図表示が1画面表示と2画面表示に切り替わります。

1画面表示　　2画面表示

Hint
- 子画面を選択すると、親画面と子画面を入れ替えることができます。
- 子画面で、地図の縮尺を変更したり、地図をスクロールすることはできません。
- スクロール画面を表示中に、2画面表示に切り替えたり、親画面と子画面を入れ替えると、自車マークが正しく表示されないことがあります。自車マークが正しく表示されない場合は、NAV キーを押して一度現在地画面を表示させてください。なお、親画面と子画面を入れ替えた場合は、元の状態に戻してから NAV キーを押してください。

再探索について

ルート案内中に 再探索 を選択すると、今いる場所から残りの通過点を含めたルート全体を再探索し直します。ただし、探索条件（標準、距離など）を変更して再探索することはできません。探索条件を変えるときは、プラン情報／編集より探索を行ってください。

地図画面の縮尺

地図の縮尺を変更できます。

1

または を選択して地図を広域（縮小）／詳細（拡大）します

- を選択すると地図が縮小されます。また、 を選択すると地図が拡大されます。
- または を約1秒以上選択し続けると、地図が連続して縮小または拡大されます。
- 地図を縮小／拡大できる範囲は10m〜200kmです。
- 市街図（25m、10m）は場所によって収録されていない場合があります。
地図の縮尺によって表示される道路は異なります。
- 地図を拡大または縮小した状態で走行しているときに、地図データに存在しない縮尺の道路を走行すると、メッセージが表示され、地図データに存在する縮尺の地図画面に自動的に切り替わります。

END

目的地情報表示について

ルート案内中に を選択すると、目的地の名称や目的地までの到達度を表す情報が表示されます。また、目的地までのルートの確認や、目的地の住所や電話番号などが表示されるGOALプレートを表示することもできます。

目的地までの到達度の情報には、スタート位置から目的地までの情報が表示されます。

Hint

- を選択すると、目的地に詳細情報がある場合にその情報を表示します（➡P.4-6）。
- を選択すると、目的地までのルート経路が表示されます（➡P.5-6）。
- 現在地画面に戻す場合は しまう を選択します。

Memo

- 目的地までの到達度表示は、実際の位置関係と異なる場合があります。
- GOALプレートは、目的地に到着後 を選択すると表示されます。
- ルートから外れているときに、 を選択すると や は再表示されますが、目的地到達度情報は表示されません。

地図のスクロールについて

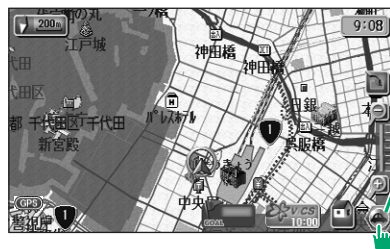
地図上の一点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように画面がスクロール（移動）します（ポイントスクロール）。また、画面に表示されている矢印（スクロールボタン）を選択し続けると、矢印の方向に画面が連続してスクロールします（8方向スクロール）。

スクロール画面

Memo

- 地図を2画面表示にしている場合、スクロールできるのは親画面だけです（➡P.1-10）。
- スクロール地図画面を常に2Dで表示するように設定することもできます（➡P.8-5）。
- 走行中は、8方向のスクロールボタン（矢印）は表示されません。

くるくるボタンで操作ボタンを切り替える

現在地画面でも、くるくるボタンを使用してAVソースのコントロールをすることができます。
現在地画面でくるくるボタンを選択して、現在選択中のソースを操作するボタンに切り替えます。
くるくるボタンを選択するたびに、ナビ→AVソース→OFF（くるくるボタンオフ）の順に操作ボタンが切り替わります。
各ソースの詳しい内容については、下記の表をご覧ください。

くるくるボタン
選択するたびに、下記の表のアイコンに切り替わり、各ソースを操作するボタンが表示されます。

アイコン	内容
TV	チャンネルのアップ／ダウン選局 、音声（主音声／副音声）切替 やシークモードの設定 など、テレビ操作に必要な基本ボタンが表示されます。
DVD	チャプターのアップ／ダウン 、再生／ポーズ や停止 など、操作に必要なボタンが表示されます。
CD	トラック（曲）のアップ／ダウン 、再生／ポーズ や停止 など、操作に必要なボタンが表示されます。
MP3/WMA	フォルダのアップ／ダウン 、ファイルのアップ／ダウン 、再生／ポーズ や停止 など、操作に必要なボタンが表示されます。
iPod	曲のアップ／ダウン 、再生／ポーズ や停止 など、操作に必要なボタンが表示されます。
NAV	縮尺変更ボタン、目的地情報ボタン、自宅ボタンやVICS情報ボタンが表示されます（➡P.1-6、P.1-7）。
STAND BY	AVソースがOFFの状態です。AVソースがOFFのときは、フロントモニターの映像と音声が消去され、ナビの現在地画面が表示されます。

Memo
- ディスクの挿入状態や接続状態などにより、ソースを切り替える順序が異なる場合があります。
- テレビやDVDの映像は、停車中にご覧になることができます。
- 自宅へ帰る ボタンは、くるくるボタンのナビの操作ボタンを表示しているときのみ設定できます（➡P.4-7）。
- スクロール地図画面では、くるくるボタンは表示されません。

ナビメニューについて

ナビ画面で MENU キーを押すとナビメニューが表示されます。

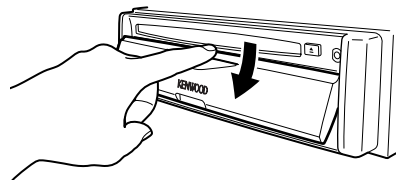
ナビメニュー画面

ナビメニューからできることは次の通りです。詳しい操作方法は、参照ページ先をご覧ください。

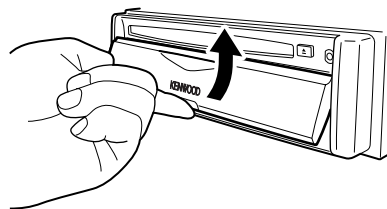
アイコン	機能	参照ページ
探す	行きたい場所を探すときに選択します。いろいろな方法で目的地の場所を探すことができます。	P.2-2
ドライブプラン	目的地までのルート（ドライブプラン）全体を確認するときや目的地までのルートを変更したいときなどに選択します。	P.5-2
渋滞	VICS情報の表示を設定するときなどに選択します。	P.6-5
情報	自宅情報やメモリ地点を編集するときなどに選択します。 また、ゲームで遊ぶこともできます。	P.7-2
ナビ設定	ナビの画面設定や案内設定、機能設定をするときに選択します。	P.8-2

前面パネルの開閉のしかた

前面パネルの開閉のしかたについて説明します。

1

開くときは、前面パネルの中央を押し下げます

ディスクの挿入口が現れます。

2

閉じるときは、前面パネルの中央を押し上げます

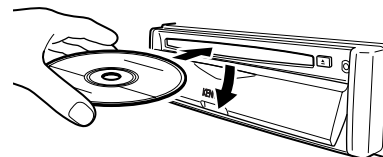
END

重要

●前面パネルの開閉は、中央付近を押して開閉してください。中央付近以外のところを押して開閉すると、故障などの原因になります。

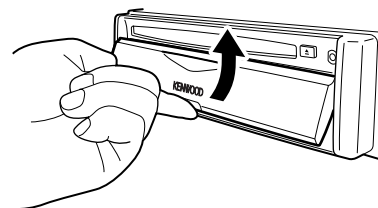
ディスクを挿入する

ディスク（DVD、CD、MP3/WMA）の挿入のしかたについて説明します。

1

正面パネルを開き、レーベル面（文字や絵が印刷された面）を上にしてディスクを挿入します

重要

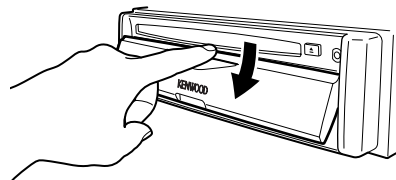
●データの記録面（下側の光沢面）には触れないようにしてください。記録面に触れると、ディスクが傷つく場合があります。
●ディスクは水平に挿入してください。斜めに入れるとディスクを傷つけたり、故障する場合があります。
●ディスクが完全に挿入されるまで前面パネルを閉じないでください。前面パネルを閉じるとディスクが傷つく場合があります。

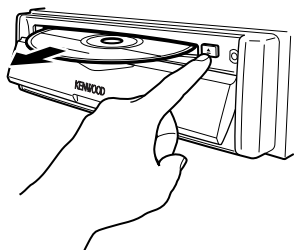
2

前面パネルを閉じます

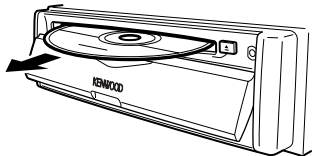
END

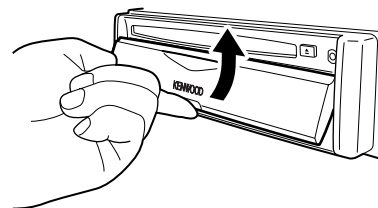
ディスクを取り出す

ディスク（DVD、CD、MP3/WMA）の取り出しかたについて説明します。

1 前面パネルを開きます

2 ⏏キーを押します

ディスクが出てきます。

3 ディスクを取り出します

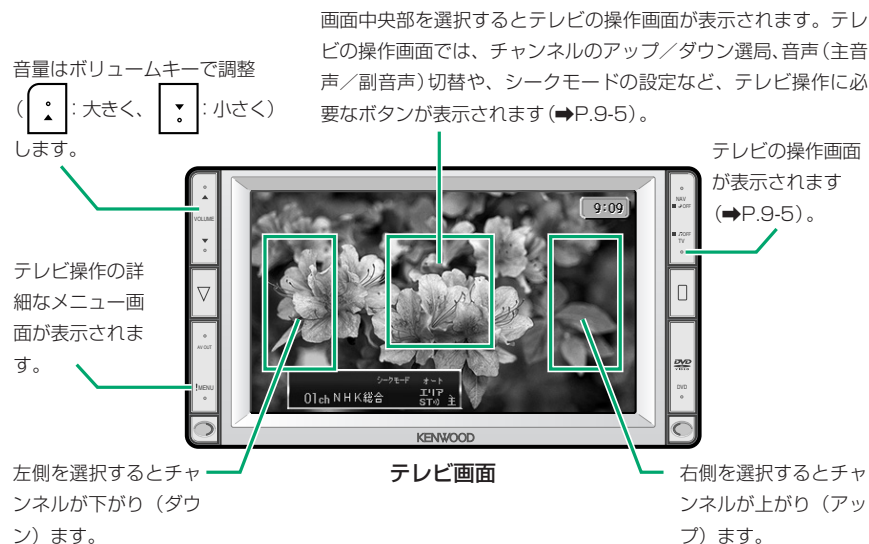
重要

- データの記録面（下側の光沢面）には触れないようにしてください。記録面に触れると、ディスクが傷つく場合があります。
- ディスクが完全に取り出されるまで前面パネルを閉じないでください。前面パネルを閉じるとディスクが傷つく場合があります。

4 前面パネルを閉じます

END

Memo

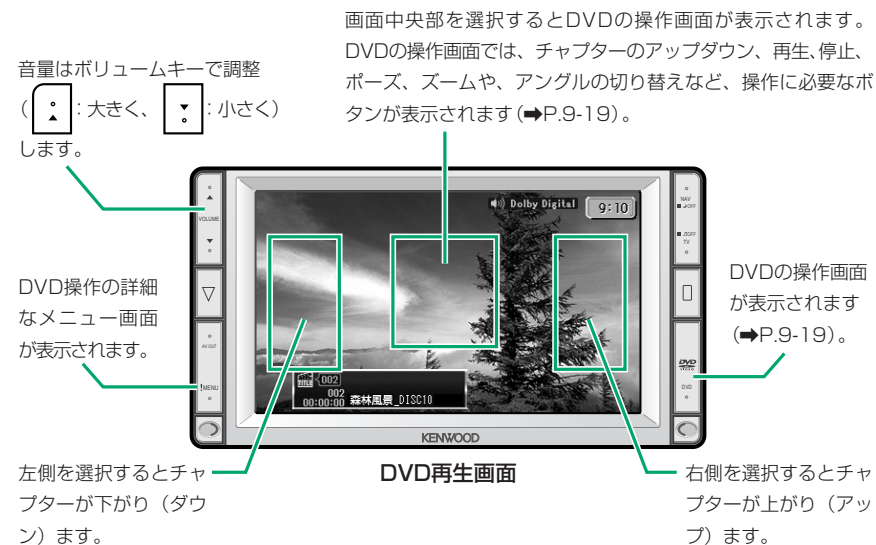
- イグニッションキーを「OFF」にしてからディスクを取り出せる時間は約10分です。10分以上経過している場合は、再度イグニッションキーを「ON」にしてください。

テレビの基本操作

[TV] キーを押すことにより、現在選択されている放送局の映像が表示され、画面の下にはチャンネル情報が表示されます（何も操作をしないとチャンネル情報は消えます）。

テレビ画面

Memo
- テレビの映像は、停車中にご覧になることができます。
- 走行中、フロントモニターにはテレビの映像は表示されません。
- リアモニター（別売品）を接続している場合は、走行中もリアモニターでテレビを見ることができます（➡P.9-62）。
- ナビ画面を表示しながらテレビの音声を聴くこともできます（➡P.1-14）。
- テレビ画面の[ ]枠内を選択すると、操作が行えます（枠は表示されません）。

DVDの基本操作

DVDを挿入するか、 [DVD] キーを押すことにより、DVDの映像が表示され、画面の下にはDVDの情報が表示されます（何も操作をしないと情報は消えます）。
なお、iPodが接続されている場合は、 [DVD] キーを押して [ ] に切り替えることによりDVDの映像が表示されます。

DVD再生画面

Memo
- DVDの映像は、停車中にご覧になることができます。
- 走行中、フロントモニターにはDVDの映像は表示されません。
- リアモニター（別売品）を接続している場合は、走行中もリアモニターでDVD映像を見ることができます（➡P.9-62）。
- ナビ画面を表示しながらDVDの音声を聴くこともできます（➡P.1-14）。
- DVD再生画面の[ ]枠内を選択すると、操作が行えます（枠は表示されません）。

CDの基本操作

キーを押すことにより、CDが再生されCDメニュー画面が表示されます。
なお、iPodが接続されている場合は、キーを押して に切り替えることによりCDが再生されます。
CDメニュー画面では、ランダム再生、リピート再生、スキャン再生や早送り／戻し再生の操作ができます。CDメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、「CDメニューでできること」（➡P.9-34）をご覧ください。

音量はボリュームキーで調整

CDメニュー画面

Memo ●ナビ画面を表示しながらCDを聴くこともできます（➡P.1-14）。

MP3/WMAの基本操作

キーを押すことにより、曲が再生され、MP3/WMAメニュー画面が表示されます。
なお、iPodが接続されている場合は、キーを押して に切り替えることにより曲が再生されます。
MP3/WMAメニュー画面では、ランダム再生、フォルダリピート再生、ファイルリピート再生、スキャン再生や早送り再生の操作ができます。MP3/WMAメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、「MP3/WMAメニューでできること」（➡P.9-42）をご覧ください。

MP3/WMAメニュー画面

Memo ●ナビ画面を表示しながらMP3/WMAの音楽を聴くこともできます（➡P.1-14）。

iPod®の基本操作

iPodを接続するか、DVD キーを押して に切り替えることにより曲が再生され、iPodメニュー画面が表示されます。

iPodメニュー画面では、アルバムランダム再生、曲ランダム再生、リピート再生、スキャン再生や早送り／戻し再生の操作ができます。

iPodメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、「iPodメニューでできること」（➡P.9-52）をご覧ください。

音量はボリュームキーで調整（▲：大きく、▼：小さく）します。

iPodメニュー画面

Memo ●ナビ画面を表示しながらiPodの音楽を聴くこともできます（➡P.1-14）。

2 行きたい場所を探す

ここでは、探すメニューから行きたい場所を探し出すまでの手順を説明します。

■ **探すメニューについて** **P.2-2**
探すメニューを表示する P.2-2

■ **わかることから探す** **P.2-4**
建物（施設）の名称を入力して探す P.2-4
住所を選択して探す P.2-7
電話番号を入力して施設を探す P.2-11
電話番号と名字を入力して個人宅を探す P.2-14
緯度と経度を入力して探す P.2-16

■ **したいことから探す** **P.2-18**
したいことを選択して探す P.2-18

■ **地図から探す** **P.2-22**
地図を表示して探す P.2-22

■ **きおくから探す** **P.2-24**
メモリ地点に登録した場所から探す P.2-24
過去に到着した場所から探す P.2-26

■ **周辺から探す** **P.2-28**
周辺を選択して探す P.2-28

■ **地図上のマークを探す** **P.2-32**
地図上のマークを探す P.2-32

探すメニューを表示する

探すメニューから行きたい場所を探します。

1

NAV キーを押します

2

MENU キーを押します

3

探す を選択します

4

探し出す方法を選択します

行きたい場所を探し出す方法は、次の5種類です。

ボタン	機能	参照ページ
わかることから	建物（施設）名称、住所、電話番号や緯度・経度など、「わかること」を選択して探し出せます。	P.2-4 ～P.2-16
したいことから	お食事をしたい、お買い物をしたい、レジャーを楽しみたいなど、「したいこと」を選択して探し出せます。また、警察署、消防署、病院、ガソリンスタンド、レッカーサービスなど、緊急を要する場所を探し出すこともできます。	P.2-18
地図から	地図の表示から目的地を探し出せます。	P.2-22
きおくから	メモリ地点に登録しておいた場所や、過去に到着した場所を選択して探し出せます。	P.2-24 ～P.2-26
周辺から	現在地、目的地やルート沿いの周辺で「したいこと」を選択して探し出せます。	P.2-28

建物（施設）の名称を入力して探す

建物（施設）の名称を入力して探し出せます。また、名称で検索した結果をさらにエリア、またはジャンルで絞り込むこともできます。

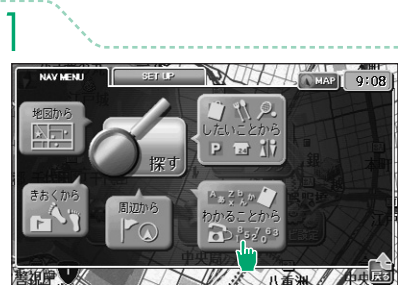
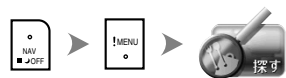
Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

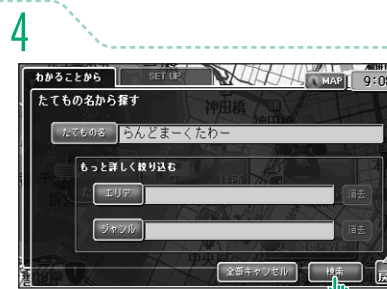
 を選択します

3

建物（施設）の名前を入力し、決定 を選択します

- 最大全角20文字まで入力できます。
- 文字を入力すると絞り込み件数が表示されます（現在の絞り込み件数 7件）。
- 1つの建物に限定されると、文字入力ができなくなります。

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は、消去 を選択します。最後の文字が消去されます。

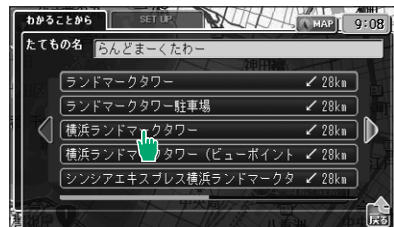
4

検索 を選択します

建物（施設）の名前を変更したい場合は、たてもの名 を選択し、手順3の操作からやり直してください。

Hint

- 建物名称検索を中止する場合は、全部キャンセル を選択します。今までの操作が中止され手順2の画面に戻ります。
- エリア を選択すると住所を絞り込んで探し出せます。「住所を選択して探す」➡P.2-7の手順3以降の操作を行ってエリアを絞り込んでください。エリアを絞り込むと手順4の画面に戻ります。
- ジャンル を選択するとジャンルを絞り込んで探し出せます。「したいことを選択して探す」➡P.2-18の手順2以降の操作を行ってジャンルを絞り込んでください。ジャンルを絞り込むと手順4の画面に戻ります。
- エリアとジャンルの両方を使用して絞り込むこともできます。

NEXT

5

目的の建物（施設）を選択します

- 目的の建物が表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- 検索結果が1件の場合は、手順6の検索結果画面が表示されます。
- 該当する建物がない場合は、メッセージが表示されます。
- ↙28km は、建物（施設）までの方向と距離を示しています。

6

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で 戻る を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo ● 検索結果地点に情報がある場合は、検索結果画面に表示されます。

▼ 次の操作に進む

検索結果地点を登録する

参照 3-2

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

住所を選択して探す

住所を選択して目的地を探し出せます。都道府県（例：東京都）、市区町村（例：八王子）、地名（例：石川町）、番地（丁目、番、号）（例：2967-3）を指定できます。

Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

 を選択します

NEXT

3

市区町村を選択します

目的の市区町村が表示されていない場合は、市区町村の頭文字（あ ～ わ）を選択し、次に目的の市区町村が表示されるまで、◀または▶を選択してください。

Hint

- 最初は現在地の都道府県の市区町村が表示され、画面下部に近隣の都道府県が3つ表示されます。
  表示されている近隣の都道府県を選択すると、選択した都道府県の市区町村が表示されます。
  現在地の都道府県または近隣の都道府県（3つ）以外の都道府県を検索したいときは、他の県 を選択し、目的の都道府県を選択してください。

4

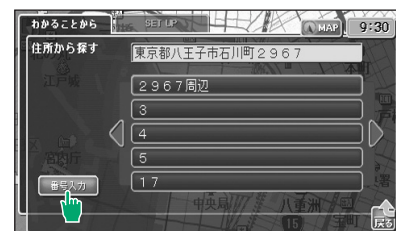
地名を選択します

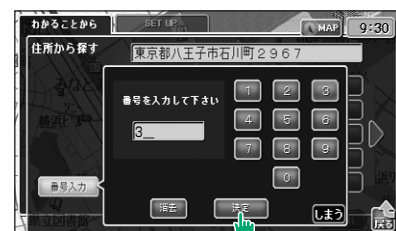
- 目的の地名が表示されていない場合は、地名の頭文字（あ ～ わ）を選択し、次に目的の地名が表示されるまで、◀または▶を選択してください。
- 選択した地名に番地がない場合は、手順8の検索結果画面が表示されます。

5

画面に従って、番地（丁目）を選択します

- 目的の番地（丁目）が表示されていない場合は、表示されるまで◀または▶を選択してください。
- 選択した丁目に番地がない場合は、手順8の検索結果画面が表示されます。
- 番地（丁目）の数字を直接入力する場合は、手順6に進み、番号入力 を選択します。

6

番号入力 を選択します

7

番地（丁目）を入力し、決定 を選択します

地域によっては、戸建番号の指定ができます。戸建番号は、番号を入力して 決定 を選択したあとに入力します。

Hint

- 入力する番号を間違えた場合は、消去 を選択します。最後の文字が消去されます。
- 地域によって指定できる番地が異なります。
- 該当する番地がない場合は、メッセージが表示されます。はい を選択してもう一度番地を入力し直してください。

NEXT

8

検索結果を確認します

●検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
●検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint
●検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo
●［○○主要部］を選択すると、それ以降の指定を省略して探し出せます。この場合、主要施設（都道府県や市町村の役所）または指定されている住所のほぼ中央が探し出されます。
●郡の指定は不要です。都道府県に続けて郡のあとに続く住所を指定してください。
●検索結果画面には、検索結果地点に情報がある場合、その情報を表示します。
●該当する番地がある場合でも、正しい場所を表示しないこともあります。

次の操作に進む

検索結果地点を登録する

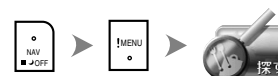
参照 3-2

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

電話番号を入力して施設を探す

電話番号を入力して施設を探し出せます。

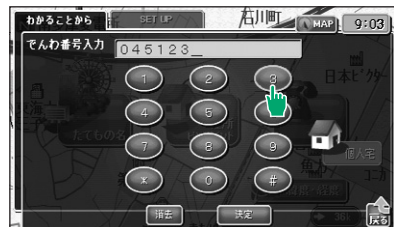
Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

 を選択します

NEXT

3

電話番号を市外局番から6桁以上入力します

電話番号のハイフン（－）を入力する必要はありません。

Hint

- 入力する番号を間違えた場合は、 消去 を選択します。最後の文字が消去されます。
- 市外局番と市内局番を入力するだけで、その局番が使われている地域の場所が探し出されます。
- 電話番号検索は、6桁以上入力してください。

4

決定 を選択します

- 該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。 はい を選択して、もう一度電話番号を入力し直してください。
- 入力した電話番号が代表番号の場合は、リストが表示されます。◀ または ▶ で目的の施設を選択してください。

Hint

- 入力した電話番号の所有者が個人宅の場合、名字を入力してピンポイントで探し出せます（➡P.2-14）。

5

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で 戻る を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo

- 指定した電話番号と一致するデータがない場合は、市外局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号のデータの整備状況によっては、一部のデータを探し出せない場合があります。
- 検索結果画面には、検索結果地点に情報がある場合、その情報を表示します。

▼ 次の操作に進む

検索結果地点を登録する

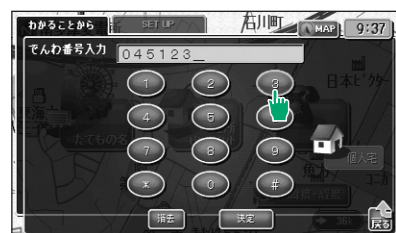
参照

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

電話番号と名字を入力して個人宅を探す

電話番号と名字を入力して個人宅を探し出せます。

この操作までの流れ

1

電話番号を市外局番から（9桁以上）入力します

電話番号のハイフン（－）を入力する必要はありません。

Hint

- 入力する番号を間違えた場合は、消去を選択します。最後の文字が消去されます。
- 電話番号と名字から個人宅を検索する場合は、9桁以上（最大11桁）入力してください。

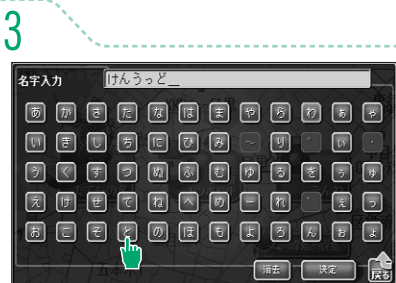
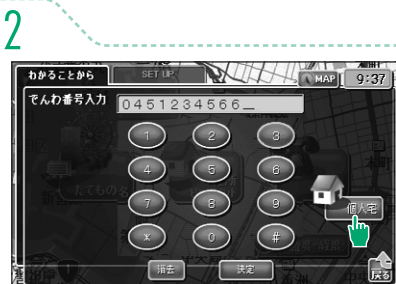
2

を選択します

電話番号が完全に入力されていない場合は、手順3へは進みません。

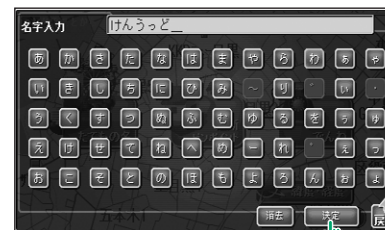
Hint

- 個人宅を検索する場合は、電話番号が完全に入力されていないと個人宅は選択できません。

3

世帯主の名字を入力します

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は、消去を選択します。最後の文字が消去されます。
- 入力できる文字はひらがなです。

4

決定を選択します

該当する個人宅がない場合は、メッセージが表示されます。

5

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

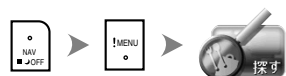
- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で戻るを選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo

- 電話番号がデータに収録されていても、ピンポイントで探し出せない場合があります。
- 指定した電話番号と一致するデータがない場合は、市外局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号のデータの整備状況によっては、一部のデータを検索できない場合があります。
- 検索結果画面に、住所や漢字名などの個人情報は表示されません。

次の操作に進む

検索結果地点を登録する

参照 3-2

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

緯度と経度を入力して探す

緯度と経度を入力して目的地を探し出せます。

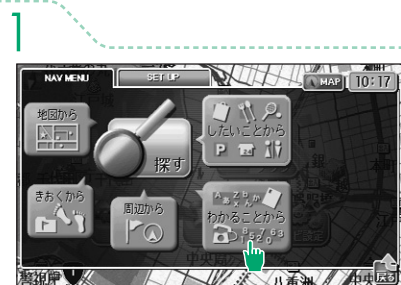
Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

緯度・経度 を選択します

3

緯度 を選択し、緯度を入力します

緯度の入力は、XX 度 XX 分 XX 秒 の順に入力します。

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は 消去 を選択します。最後の数字が消去されます。
- 1桁入力したあとに 分 または 秒 を選択して入力することもできます。
- 緯度は、12度00分00秒～54度39分59秒の範囲で入力できます。

4

経度 を選択し、経度を入力します

経度の入力は、XXX 度 XX 分 XX 秒 の順に入力します。

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は 消去 を選択します。最後の数字が消去されます。
- 1桁入力したあとに 分 または 秒 を選択して入力することもできます。
- 経度は、104度00分00秒～167度59分59秒の範囲で入力できます。

5

決定 を選択します

6

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で 戻る を選択して、目的地選択をやり直してください。

END

Memo

- 検索結果画面には、検索結果地点に情報がある場合、その情報を表示します。
- 本機は日本測地系に対応しています。

次の操作に進む

検索結果地点を登録する 参照 3-2

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

したいことを選択して探す

お食事をしたい、お買い物をしたい、レジャーを楽しみたいなど、「したいこと」を選択して目的地を探し出せます。また、最寄りの警察署、消防署、病院、ガソリンスタンド、レッカーサービスなど、緊急を要する場所を探し出すこともできます。

この操作までの流れ

➤
➤
1

を選択します

したいことの大分類（など）を選択します

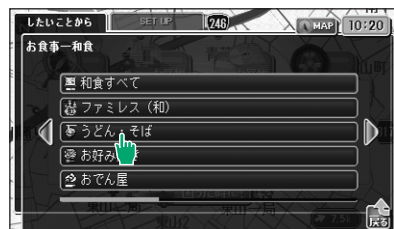
大分類の各項目の内容は、次ページの通りです。

大分類ボタン	内容
	和食／洋食／中華／ラーメン／カレー／焼肉／多国籍料理／ファミレス／ファーストフード／テイクアウトの各項目から検索できます。
	食料品／日用品／子供用品／ドラッグストア／ファッション／デパート／ショッピングモール／コンビニの各項目から検索できます。
	ビデオ＆CD&本／リサイクル＆レンタル／くるま用品／ペット用品／インテリア用品／スポーツ＆アウトドア用品／その他の各項目から検索できます。
	IC・SA・PA／ガソリンスタンド／駐車場／くるま用品／ディーラー／中古車販売／カーレスキュー／レンタカー＆バイク／免許／ケンウッド・サービスの各項目から検索できます。
	美容院／理容店／エステティック／ネイルサロン／ペット美容院の各項目から検索できます。
	カフェ／スウィーツ／その他の各項目から検索できます。
	スポーツ／娯楽／観光／宿泊＆温泉／ドライブの各項目から検索できます。
	病院／公共＆生活／交通機関／金融機関の各項目から検索できます。
	警察署／消防署／病院／ドラッグストア／トイレ／駐車場／ガソリンスタンド／ロードサービス／レッカーサービス／ケンウッド・サービスの各項目で現在地周辺から検索できます。

3

施設の中分類を選択します

NEXT

4

施設の小分類を選択します

- 目的のジャンルが表示されない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- ［○○すべて］を選択すると、選択した小分類すべての内容が探し出されます。
- 検索結果が100件以上ある場合は、メッセージが表示されます。さらに絞り込む場合は はい を選択し、「住所を選択して探す」➡P.2-7の手順3以降の操作を行って目的地を絞り込んでください。絞り込みを中止する場合は いいえ を選択します。

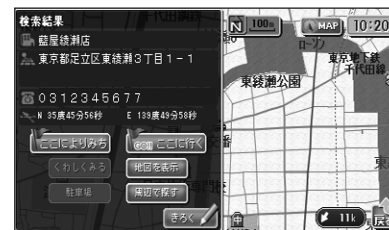
5

表示された施設リストから目的の施設を選択します

- 50音順に施設リストが表示されます。
- 目的の施設が表示されない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- 検索結果が1件の場合は、手順6の検索結果画面が表示されます。
- ↗ 11km は、施設リストまでの方向と距離を示しています。

Hint

- 近い順 を選択すると、現在地から近い順に表示されます。
  50音 を選択すると、50音順に表示されます。
- 住所で絞り込む を選択すると住所を絞り込んで検索できます。「住所を選択して探す」➡P.2-7の手順3以降の操作を行って目的地を絞り込んでください。エリアを絞り込むと手順5の画面に戻ります。
- マッピング を選択するとポジションマップ表示に切り替えることができます（➡P.2-21）。

6

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo
- 検索結果地点に情報がある場合は、検索結果画面に表示されます。
- 該当する施設が1000件以上ある場合は、すべてを施設リストに表示できない場合があります。

▼ 次の操作に進む

検索結果地点を登録する 参照 3-2

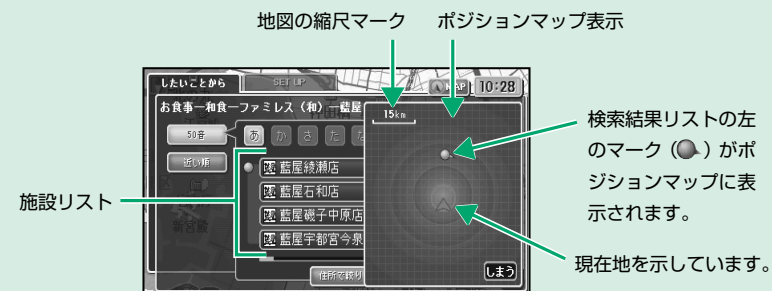
検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

ポジションマップ表示について

マッピング を選択すると、ポジションマップ表示にできます。
ポジションマップ表示とは、今いる場所から半径20kmの範囲で検索結果地点までの距離や方位がひと目で分かるようにレーダーのように表示した地図です。

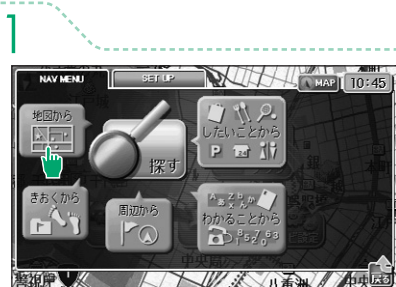
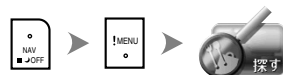
地図の縮尺マーク
ポジションマップ表示

検索結果リストの左のマーク（●）がポジションマップに表示されます。

現在地を示しています。

- ポジションマップ表示の向きは、ヘディングアップです。
- 施設リストの項目を選択すると、検索結果画面が表示されます。
- しまう を選択すると前の画面に戻ります。
- ポジションマップ表示は、画面に表示している地点のみを表示します。
- ポジションマップのマーク ● の先端が地点を指しています。

地図を表示して探す

 メニューで を選択し、地図画面で地図をスクロール（移動）させて目的地を探し出せます。

Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

目的地をカーソル（ ）の中央内に入れます

- 地図上の一点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように画面がスクロール（移動）します。
- 画面に表示されている矢印（スクロールボタン）を選択し続けると、矢印の方向に画面が連続してスクロールします。

Hint

- 目的地が離れている場合は、 で地図を縮小してからスクロールすると、すばやく目的地までスクロールできます。

3

 を選択します

- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo ●検索結果地点に情報がある場合は、検索結果画面に表示されます。

次の操作に進む

検索結果地点を登録する

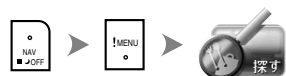
参照 3 2

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

メモリ地点に登録した場所から探す

メモリ地点として登録した場所のリストから、目的地を探し出せます。メモリ地点は100ヵ所まで記憶しておくことができます。

この操作までの流れ

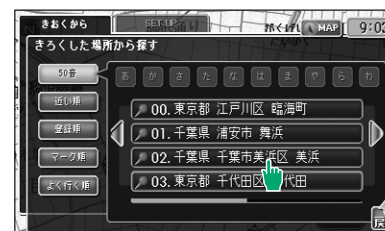
1

 を選択します

Hint

●メモリ地点に登録した場所から目的地を探す場合は、あらかじめメモリ地点の登録が必要です（➡P.3-10）。

2

 を選択します

3

メモリ地点リストから目的地を選択します

●メモリ地点リストが表示されます。

●目的のメモリ地点が表示されていない場合は、

50音 を選択したあとに地点の頭文字（あ～わ）を選択し、目的の地点が表示されるまで、◀または▶を選択します。

Hint

●メモリ地点リスト表示の順番を変えることができます。

50音：読み仮名の登録がされていると、50音順に表示されます（➡P.7-8）。

近い順：現在地から近い順に表示されます。

登録順：メモリ地点を登録した順に表示されます。

マーク順：登録時に設定されたマークごとに表示されます。

よく行く順：行った回数の多い順に表示されます。

4

検索結果を確認します

●検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。

●検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

●検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で 戻る を選択して、目的地検索をやり直してください。

Memo

●メモリ地点が登録されていない場合は、 は選択できません（➡P.3-10）。

●検索結果画面には、検索結果地点に情報がある場合、その情報を表示します。

END

▼ 次の操作に進む

検索結果地点を登録する 参照 3-2

検索された地点を目的地などとして登録します。

過去に到着した場所から探す

過去に到着した場所のリストから探し出せます。過去の到着地点は20ヵ所まで自動的に記憶されます。

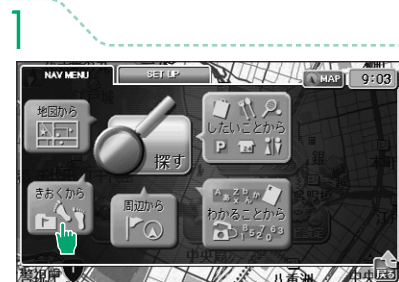
Step この操作までの流れ

1

を選択します

2

を選択します

3

過去の目的地リストから目的地を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、目的の地点が表示されるまで、◀または▶を選択します。

4

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo

- ルート探索して、実際に目的地に到着した場所が過去の目的地として記憶されます。ルート探索しただけでは過去の到着地点として記憶されません。また、過去の到着地点がないときは、 は選択できません。
- 過去に到着した地点は、20ヵ所まで自動的に記憶されます。20件を越えると、一番古い履歴から順に消去されます。良く行く場所はメモリ地点に登録（➡P.3-10）しておくことをお勧めします。

▼ 次の操作に進む

検索結果地点を登録する

参照 3 2

検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

周辺を選択して探す

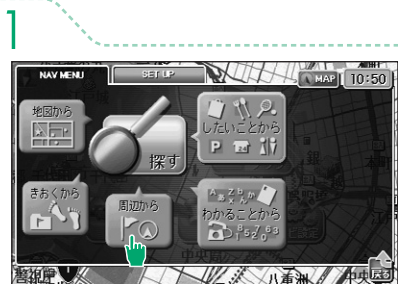
現在地、目的地、またはルート沿いの周辺にある施設リストから探し出せます。

Step この操作までの流れ

 ➤ ➤

1

 を選択します

2

基準となる場所を選択します

基準となる場所は、次の中から選択できます。

：現在地周辺から探し出せます。

：ルート沿いから探し出せます（目的地が設定されていて、ルートがひかれている場合のみ）。

：目的地周辺から探し出せます（目的地が設定されている場合のみ）。

Hint

● 困った時に! を選択して、最寄りの警察署／消防署／病院／ドラッグストア／トイレ／駐車場／ガソリンスタンド／ロードサービス／レッカーサービス／ケンウッドサービスの各項目から絞り込めます。詳しい操作方法は「したいことを選択して探す」(➡P.2-18) をご覧ください。

3

施設のジャンルの大分類（ お食事 お買物 など）を選択します

大分類のジャンルの内容は、「したいことを選択して探す」(➡P.2-18) をご覧ください。

Hint

● お買物 は日常と専門の両方が含まれています。

4

施設の小分類を選択します

- 目的のジャンルが表示されていない場合は、表示されるまで ◁ または ▷ を選択してください。
- 選択したジャンルのアイコンが画面左に表示されます。

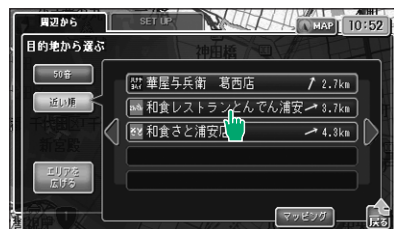
Hint

- ジャンルは5種類まで選択できます。
- 選択したジャンルを消去する場合は、もう一度そのジャンルを選択します。
- すべての選択を消去する場合は、全解除 を選択し、はい を選択します。

5

検索 を選択します

NEXT

6

表示された施設リストから目的の施設を選択します

- 施設リストが表示されます。
- 目的の施設が表示されていない場合は、 50音 を選択したあとに施設の頭文字（ あ ～ わ ）を選択し、次に目的の施設が表示されるまで ◀ または ▶ を選択します。
- 2.7km は、基準となる場所から施設までの方位と距離を示しています。

Hint

- 50音 を選択すると、50音順に表示されます。
  近い順 を選択すると、現在地から近い順に表示されます。
- 手順2で 現在地周辺 または 目的地周辺 を選択した場合は エリアを広げる ボタンが表示されます。 エリアを広げる を選択すると1回目で検索したエリアより少しエリアを広げて再び検索します。最大2回、100件までエリアを広げて探し出せます。
- 手順2で ルート沿い を選択した場合は さらに先も探す ボタンが表示されます。 さらに先も探す を選択すると、さらに先のルートエリアを探し出します。検索件数が合計100件になるまで、または目的地に到達するまで選択できます。
- マッピング を選択するとポジションマップ表示に切り替えることができます（➡P.2-21）。

7

検索結果を確認します

- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で 戻る を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo ●検索結果地点に情報がある場合は、検索結果画面に表示されます。

▼ 次の操作に進む

検索結果地点を登録する

参照

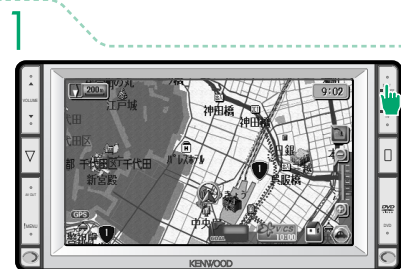
検索された地点を目的地やメモリ地点などとして登録します。

地図上のマークを探す

地図上のマーク（ランドマーク、VICSマーク、メモリ地点マークなど）を探し出して、目的地として設定できます。

1

キーを押します

2

地図を選択します

Hint

- 地図を2画面表示している場合、スクロールできるのは親画面だけです。

3

を選択します

4

または を選択します

マーク（ランドマーク、VICSマーク、メモリ地点マークなど）に があてられ、マークの名称が表示されます。

5

情報 を選択します

6

検索結果を確認します

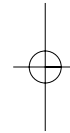
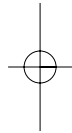
- 検索結果画面が表示され、地点付近の地図が表示されます。
- 検索結果画面から目的地設定、メモリ地点の登録や通過点の設定など、いろいろな設定／登録ができます。詳しい操作方法は「検索結果画面でできること」➡P.3-2をご覧ください。

Hint

- 検索結果が探している場所と異なる場合は、各画面で 戻る を選択して、目的地検索をやり直してください。

END

Memo

- VICS情報マークを選択した場合、検索結果画面で くわしくみる を選択すると、VICS詳細情報画面が表示されます（➡P.6-3）。
- 検索結果画面には、検索結果地点に情報がある場合、その情報を表示します。
- マークが重なっていると、下のマークが見えないことがあります。
- ランドマークが表示されるのは、200m以下のスケールで地図を表示している場合です。

3 検索結果地点を登録する

探すメニューから探し出した地点を、目的地として設定したり、メモリ地点に登録したり、通過点として設定したりできます。ここでは、目的地設定、メモリ地点登録や通過点設定などの手順について説明します。

■ **検索結果画面について** **P.3-2**
検索結果画面でできること P.3-2
目的地として設定する P.3-4
地点の詳細を見る P.3-6
地図から他の地点を探す P.3-7
地点周辺の駐車場や関連施設を探す P.3-8
地点周辺の施設を探す P.3-9

■ **検索結果地点を登録する** **P.3-10**
メモリ地点として登録する P.3-10
通過点として設定する P.3-11

検索結果画面でできること

目的地の検索が終わると、検索結果画面が表示されます。
検索結果画面には、検索結果地点の情報がある場合、名称、住所、電話番号、緯度・経度の表示と、地点付近の地図（住所を指定した場合はそのほぼ中央）が表示されます。
また、検索結果地点を目的地として設定したり、メモリ地点に登録したり、通過点として設定したりできます。検索結果画面でできる内容や、詳しい操作方法、表示内容などについては、下記の表をご覧ください。

検索結果地点の名称、住所、電話番号、緯度・経度の表示が表示されます。

検索結果地点付近の地図が表示されます。

検索結果画面

ボタン	機能	参照ページ
ここに行く	検索結果地点を目的地として設定します。	P.3-4
くわしくみる	検索結果地点に詳細情報がある場合、詳細情報（施設内のテナント情報）を表示します。	P.3-6
地図を表示	検索結果地点周辺の地図を表示します。地図をスクロールすることによって別の地点を指定することもできます。	P.3-7
駐車場	検索結果地点の施設の専用／提携駐車場や、提携施設を探し出します。	P.3-8
周辺で探す	検索結果地点の周辺の施設を探し出します。	P.3-9
きろく	検索結果地点をメモリ地点として登録します。	P.3-10
ここによりみち	検索結果地点を通過点（途中で立ち寄りたい場所や通過したい場所）として設定します。	P.3-11

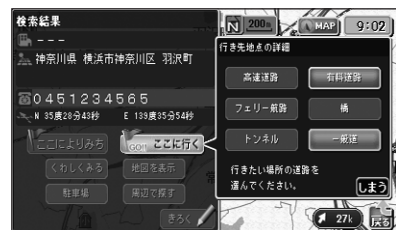
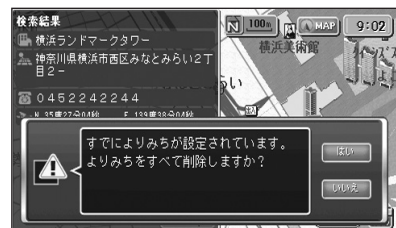
Memo

- 駐車場 は、検索した施設に専用／提携駐車場、または関連施設の情報がある場合だけ選択できます。また、 駐車場 が選択できる場合は、駐車場や関連施設を選択しないと目的地の入口や進入口などに正しく案内できないことがあります。
- くわしくみる は、検索した施設の詳細情報がある場合だけ選択できます。また、地図検索でVICSマークを選択したときも表示されます。
- メモリ地点は最大100ヵ所まで登録できます。すでに100ヵ所登録されている場合は、 きろく は選択できません。先に不要なメモリ地点を消去してください（➡P.7-14）。
- 通過点は最大5ヵ所まで設定できます。すでに5ヵ所設定されている場合は、 ここによりみち は選択できません。設定されている通過点のいずれかを消去してください（➡P.5-10）。

目的地として設定する

検索結果地点や施設を最終目的地として設定します。

1

ここに行く を選択します

目的地が高速道路、トンネル内や橋付近の場合は、行き先地点の詳細を設定する画面が表示されます。行きたい場所の道路の種類を選択してください。

通過済みの通過点が設定されている場合は、確認のメッセージが表示されます。通過点を削除する場合は はい を、削除しない場合は いいえ を選択してください。

プランを選ぶ画面

- 目的地が設定され、プランを選ぶ画面が表示されます。
- プランを選ぶ画面には、探索条件ごとに目的地までの距離、所要時間、有料道路の出入口、有料道路の料金と、現在地、通過点と目的地までのルート全体を示す地図が表示されます。
- プランを選ぶ画面からルート案内開始、探索条件設定ができます。詳しい操作方法は「プランを選ぶ画面でできること」➡P.4-2をご覧ください。

END

Memo
- 目的地として設定できる場所は1ヵ所だけです。すでに目的地が設定されているときにさらに目的地を設定すると、先に設定した目的地は消去され、後から設定した目的地が有効になります。
- 目的地を設定するとルート探索が自動的に開始されるため、通過点と目的地を設定する場合には、通過点を先に設定することをお勧めします（➡P.3-11）。

次の操作に進む

ルート案内を開始する

参照

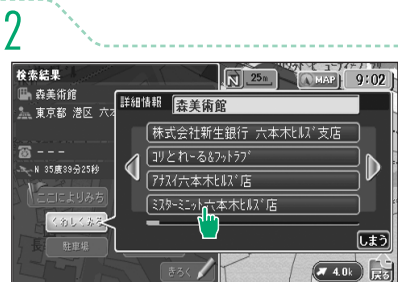
ルート案内の設定を開始します。

地点の詳細を見る

検索結果地点や、施設についての詳細情報（施設内のテナントの情報）を表示できます。

1

くわしくみる を選択します

2

テナントを選択します

- 選択されたテナント情報（テナント名称と電話番号）が検索結果画面に表示されます。
- テナントが1件の場合は、検索結果画面にテナント名称と電話番号が表示されます。
- 地図上のVICSマークを選択した場合は、VICSの詳細情報が表示されます。内容を確認したら しまう を選択します。
- 目的のテナントが表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。

Hint

- テナント設定をやめる場合は、しまう を選択します。手順1の画面に戻ります。

END

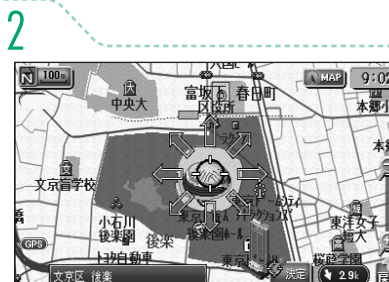
- くわしくみる は、検索した施設の詳細情報がある場合だけ選択できます。また、地図上のVICSマークを選択したときにも表示されます。
- 地図を表示して探し出した場合、地図画面のカーソルの中心が合っていないと、くわしくみる を選択しても詳細情報は表示されません。
- 地図から探した場合、テナントリストを表示できるスケールは、25mまたは10mスケールで表示しているときだけです。

地図から他の地点を探す

地図画面で地図をスクロール（移動）させて、目的地や他の通過点などを探し出せます。

1

地図を表示 を選択します

2

目的地をカーソル（ ⌖ ）の中央に入れます

- 地図上の一点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように画面がスクロール（移動）します。
- 画面に表示されている矢印（スクロールボタン）を選択し続けると、矢印の方向に画面が連続してスクロールします。

Hint

- 目的地が離れている場合は、🔍 で地図を縮小してからスクロールすると、すばやく目的地までスクロールできます。

3

決定 を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

次の操作に進む

目的地として設定する 参照 3-4

検索された地点を目的地として設定します。

メモリ地点として登録する 参照 3-10

検索された地点をメモリ地点として登録します。

通過点として設定する 参照 3-11

検索された地点を通過点として設定します。

地点周辺の駐車場や関連施設を探す

検索結果地点の施設の専用／提携駐車場や、関連施設を探し出せます。

1

駐車場 を選択します

2

目的の駐車場を選択します

●目的の駐車場が表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。

●駐車場リストは、検索結果地点から近い順に表示されます。また、駐車場名の右側にその駐車場までの距離が表示されます。

Hint

●駐車場選択をやめる場合は、 しまう を選択します。手順1の画面に戻ります。

END

Memo

● 駐車場 は、検索した施設に専用／提携駐車場、または関連施設の情報がある場合だけ選択できます。また、 駐車場 が選択できる場合は、駐車場や関連施設を選択しないと目的地の入口や進入口などに正しく案内できないことがあります。

●駐車場を設定すると、検索結果画面に設定した駐車場の情報が表示されます。

▼ 次の操作に進む

目的地として設定する 参照 3-4

検索された地点を目的地として設定します。

メモリ地点として登録する 参照 3-10

検索された地点をメモリ地点として登録します。

通過点として設定する 参照 3-11

検索された地点を通過点として設定します。

地点周辺の施設を探す

検索結果地点周辺の施設を探し出せます。

1

周辺で探す を選択します

2

周辺で探したいことの大分類（ お食事 お買物 など）を選択します

大分類の各項目の詳細については➡P.2-19をご覧ください。

Hint

● お買物 は日常と専門の両方が含まれています。

3

以降の操作は「周辺を選択して探す」➡P.2-28に従って操作してください

END

▼ 次の操作に進む

目的地として設定する 参照 3-4

検索された地点を目的地として設定します。

メモリ地点として登録する 参照 3-10

検索された地点をメモリ地点として登録します。

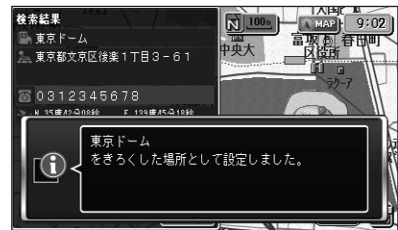
通過点として設定する 参照 3-11

検索された地点を通過点として設定します。

メモリ地点として登録する

検索結果地点をメモリ地点として登録できます。

1

［きろく］を選択します

メモリに登録され検索結果画面に戻ります。

END

- メモリ地点は最大100ヵ所まで登録できます。すでに100ヵ所登録されている場合は、［きろく］は選択できません。先に不要なメモリ地点を消去してください（➡P.7-14）。
- 地図から探し出して登録したメモリ地点には、自動的にその付近の地名が付けられ、その地名が地図に表示されます。
- 登録したメモリ地点を編集（名称変更、電話番号設定、メモリ地点消去など）できます（➡P.7-4）。
- メモリ地点を登録すると、地図画面上にはメモリ地点を示すマーク（ ）が表示されます。また、メモリ地点のマークを変更することもできます（➡P.7-16）。

▼ 次の操作に進む

目的地として設定する 参照 3 4

検索された地点を目的地として設定します。

▼ 次の操作に進む

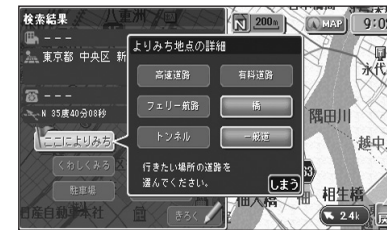
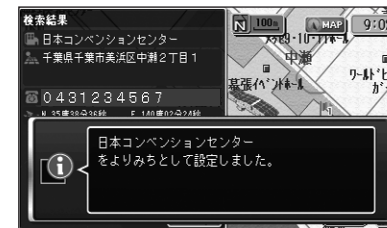
目的地を検索する 参照

さらにメモリ地点を検索する場合は、地点を検索するための方法を選択し、検索を開始します。

通過点として設定する

検索結果地点を通過点として設定できます。

1

［ここによりみち］を選択します

通過点が高速道路、トンネル内や橋付近の場合は、行き先地点の詳細を設定する画面が表示されます。行きたい場所の道路の種類を選択してください。

- 通過点が設定され、地図画面に通過点マークが表示されます。
- 通過点がすでに5箇所設定されている場合は、［ここによりみち］は選択できません。
- すでに目的地が設定されている場合は、プランを選ぶ画面が表示されます。

END

- 複数の通過点を設定したい場合は、続けて通過点にしたい場所を探し出し、ここによりみち を選択します。ただし、目的地が設定されている場合は、探索結果画面に遷移するので、連続して通過点の設定が行えない場合があります。
- 通過点は最大5ヵ所まで設定できます。すでに5ヵ所設定されている場合は、ここによりみち は選択できません。不要な通過点を消去してください（➡P.5-10）。
- 設定した通過点は編集（順番入れ替え、場所変更、通過点消去）できます。（➡P.5-6）。
- ルートを作成するためには、目的地を設定する必要があります（➡P.3-4）。
- 通過点を設定すると、地図画面上には通過点を示すマーク（ ）が表示されます。マーク内の数字は、通過点の順番を示しています。
- 通過点の順番は、変更することができます（➡P.5-8）。

▼ 次の操作に進む

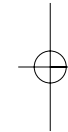
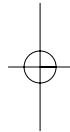
ルート案内を開始する 参照 4 5

ルート案内の設定を開始します。

目的地として設定する 参照 3 4

検索された地点を目的地として設定します。

メモリ地点として登録する 参照 3 10

検索された地点をメモリ地点として登録します。

4 ルート案内を使用する

ここでは、探索された4種類のルートから好みのルートを選択し、最終目的地までのルート案内をする手順について説明します。

■ **プランを選ぶ画面について　P.4-2**

プランを選ぶ画面でできること　P.4-2
ルートを比較する　P.4-4
ルート案内を開始する　P.4-5
自宅へ帰る　P.4-7

■ **案内中の画面表示と音声案内について　P.4-8**

一般道路での案内　P.4-8
　交差点の案内　P.4-8
高速道路での案内　P.4-9
　合流警告　P.4-10
ガイドポイントでの音声案内　P.4-11
ガイドポイント接近時の画面表示　P.4-12
　一般道の交差点　P.4-12
　高速道路のインターチェンジ（IC）とジャンクション（JCT）　P.4-12
　都市高速道の入口　P.4-12
オートリルート　P.4-13
渋滞しているときは　P.4-14

プランを選ぶ画面でできること

検索結果画面で ここに行く を選択すると、プランを選ぶ画面が表示されます。
プランを選ぶ画面には、4つのルートの探索条件ごとに、目的地までの距離、所要時間、有料道路の出入口、有料道路の料金と、現在地、通過点と目的地までのルート全体を示す地図が表示されます。
また、ルート案内開始などの設定ができます。プランを選ぶ画面でできる詳しい操作方法、表示内容などについては、参照ページをご覧ください。

プランを選ぶ画面

ボタン	機能		参照ページ
標準	ルート探索の設定条件	目的地までのお勧めのルートを探索します。	–
距離		目的地までの距離が最短となるルートを探索します。	–
有料		高速道路などの有料道路を、優先的に通るルートを探索します。	–
一般		一般道を優先的に通るルートを探索します。	–
リスト	各探索条件ごとの、距離、所要時間、料金を一覧表示します。		P.4-4
案内開始	ルート案内を開始します。		P.4-5

Memo

- 出発地（現在地）と目的地の位置関係によっては、4種類のルート（標準 距離 有料 一般）が異なるものにならない場合があります。
- 幅員が5.5m未満の道路（細街路）はルートとして探索されませんが、現在地から探索対象道路までと、探索対象道路から目的地までの細街路はルート探索の対象になります。ただし、細街路では交通規制が考慮されていません。このため、探索されたルートでは目的地に到達できない場合があります。細街路を走行時は実際の交通規制に従って運転してください。
- 鉄道や高速道路、河川の近くに、目的地や通過点を設定すると到達できない場合があります。
- 到達できない場所に、目的地や通過点を設定した場合、ルートを探索できないことがあります。近くの別の場所（幹線道路上など）に目的地または通過点を設定しなおしてください。
- 適切な通行料金を表示するためには、車両情報設定（➡P.8-14）で車両の種別を設定しておく必要があります。
- 所要時間は予測です。実際に要する時間は、交通事情等によって変化します。
- 一般 を選択しても、距離が長くなる場合などは、有料道路を通るルートを案内することがあります。
- 有料 を選択しても、有料道路を途中で降りて一般道を通るルートで案内することもあります。
- 距離 は、目的地までの所要距離ができるだけ短いルートを探索しますが、状況によっては最短にはならない場合があります。
- ルートによっては、有料道路の料金を正しく表示できない場合があります。

ルートを比較する

各ルートの目的地までの距離や、所要時間、通行料金を一覧表示して比較できます。

1

リスト を選択します

2

ルート探索の条件（ 標準 距離 など）を選択します

選択した条件のルートが設定され、手順1の画面に戻ります。

Hint

● しまう を選択すると、手順1の画面に戻ります。

END

●所要時間は予測です。実際に要する時間は、交通事情等によって変化します。
●適切な通行料金を表示するためには、車両情報設定（➡P.8-14）で車両の種別を設定しておく必要があります。
●ルートによっては、有料道路の料金を正しく表示できない場合があります。

ルート案内を開始する

ルートの選択が終了したら、ルート案内を開始します。

1

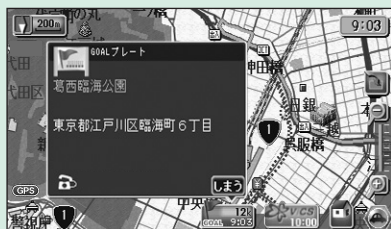
 を選択します

音声ガイドでルートの概要が案内され、ルート案内が開始されます。

END

●ルート案内中の画面表示や音声ガイドの詳しい説明については、「案内中の画面表示と音声案内について」➡P.4-8をご覧ください。
●目的地周辺に近づくと、「目的地周辺です。ルート案内を終了します。」という音声ガイドとGOALプレート（➡P.4-6）が表示され、ルート案内を終了します。
●目的地や通過点が走行してたどり着けない場所に設定されているときは、もっとも近い地点までの案内となります。
●案内を開始したあとに、電源をOFFにしても、探索されたルートは消去されません。電源をONにした時点から再度案内を開始します。
●ルート案内中に案内ルートから外れてしまった場合、ランクメニュー（➡P.1-9）の 再探索 を選択すると、残りの通過点を含めたルート全体を再探索し直します。ただし、探索条件（標準、距離など）を変更して再探索することはできません。
●ガイドポイントの音声案内をもう一度聞きたい場合は、 NAV キーを押すと音声案内をもう一度行います。ただし、ルートから外れている場合は、上記の操作を行っても音声案内をもう一度聞くことはできません。
●ルート案内の口調は秘書風のみとなり変更できません。
●ルート案内中に表示される料金は、地図データベース作成時点でのデータに基づいているため、実際の料金と異なる場合があります。また、ルート案内中に料金が表示される道路は、都市高速、都市間高速とその他本地図データベースに料金情報が収録されている道路だけです。すべての有料道路の料金が表示できるものではありません。
●音声案内は、場所や状況により聞き取りにくくなる場合があります。
●条件によっては、施設の入口まで案内できない場合があります。

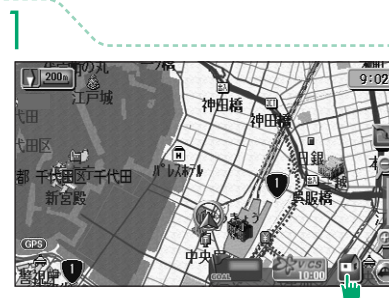
GOALプレートについて

目的地周辺に近づくと、「目的地周辺です。ルート案内を終了します。」という音声ガイドとともにGOALプレートが自動的に表示され、目的地の名称、住所や電話番号を確認できます。

- ルート案内中に［アイコン］を選択して、目的地情報の画面で［GOALプレート］を選択すると、GOALプレートを表示させることもできます（➡P.1-12）。
- ［しまう］を選択すると元の画面に戻ります。
- GOALプレートを自動で表示しないように設定することもできます（➡P.8-11）。
- 目的地に詳細情報がない場合は、目的地の名称や住所、電話番号は表示されません。
  また、情報が表示されても実際の情報とは異なる場合があります。

自宅へ帰る

自宅へ帰るルートを探索し、自宅までのルート案内を開始します。

1

［自宅アイコン］を選択します

- ［自宅アイコン］ボタンが表示されていない場合は、くるくるボタンを選択してナビの操作ボタンを表示してください（➡P.1-14）。
- 自宅が登録されていない場合は、自宅登録の操作画面へ移行します（➡P.7-20）。

2

［案内開始］を選択します

自宅までのルートが探索され、ルート案内が開始されます。

END

Memo
- 自宅へ帰るルートを探索するには、自宅の位置を登録しておく必要があります（➡P.7-20）。
- 自宅へ帰るルートを、４種類のルートから選択することができます（➡P.4-4）。

一般道路での案内

ルート案内中に一般道を走行しているときは、次のような情報が表示されます。

[交差点の案内]

ルート案内中は、次に案内する交差点が近づくと、その情報が表示されます。同時に音声ガイドが流れます。

道路名称
走行中の道路の名称や、注意標識などが表示されます。

次ガイドポイント案内表示
次のガイドポイントまでの距離と、ガイドポイントでの進行方向が表示されます。

交差点案内表示
次の交差点案内や通過交差点案内が表示されます。

レーン案内
次の交差点の走行区分（進行方向）が表示されます。

ガイドルート
ルートが水色で表示されます。

交差点拡大表示
交差点の拡大図が表示されます。拡大図には、交差点までの距離と、交差点での進行方向が表示されます。

目的地情報ボタン
目的地までの距離と到着予定時刻が表示されます。ルート案内中に押すと目的地までの到達度を表示します（➡P.1-12）。

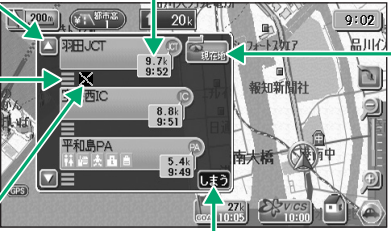
- 画面表示や音声で案内されるルートや進行方向は、実際の道路の状況や交通規制等と異なる場合があります。これは、収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと現在のものとで差異が生じていることによります。走行時には、実際の道路や交通規制などに従って運転してください。
- 細街路（幅員5.5m未満）でのルートは、交通規制は考慮されていません。このため、探索ルートでは目的地に到着できない場合があります。

Memo

- 目的地情報の距離表示は、通常は道のり距離を表示しますが、ルートから外れているときは、直線距離を表示します。
  また、到着予定時刻もルートから外れているときは表示されません。
- 交差点拡大図を3D表示にすることもできます（➡P.8-11）。
  なお、交差点拡大図を2D表示に設定していても、リアル交差点拡大図（実写に近い3D地図データ）の情報のある交差点では3Dで表示されます。
- 走行レーンの案内では、進行方向のレーンには水色、その他のレーンには灰色の矢印が表示されます。
- 交差点拡大図には、目印となる建物などのアイコン（（コンビニエンスストア）、（ファミリーレストラン）など）が表示されます。
- 場所によっては、交差点案内、交差点名称、方面看板、走行レーン案内が表示されないところもあります。
- ルート案内中は、次交差点案内表示をしていても、ガイドポイントに近づくと、ガイドポイントの名称を優先して表示します。
- 細街路を走行中はガイドポイントは表示されません。
- 通過交差点案内、道路名称、次交差点案内、レーン案内は、「表示モードを設定する」（➡P.10-9）で、表示しないようにすることもできます。

高速道路での案内

ルート案内中に高速道路などの有料道路を走行しているときは、次のような情報が表示されます。この案内表示をハイウェイモードと呼びます。

スクロールボタン
施設案内を上下にスクロールします。

次施設案内
進行方向にサービスエリア（SA）や、パーキングエリア（PA）などがある場合は、そこまでの距離、予定通過時刻、各施設の設備などの情報が表示されます。各施設を通過すると次の施設の情報が表示されます。

施設間の渋滞情報表示
赤　　　：渋滞
オレンジ：混雑
緑　　　：渋滞／混雑なし

現在地ボタン
スクロールした次施設案内を現在地の状態に戻します。

規制情報表示
規制情報がある場合は、規制情報のマークが表示されます（➡P.6-3）。（最大4つ）

しまうボタン
表示されているハイウェイモード画面を、通常画面に切り替えます。ハイウェイモード画面に戻すときは、（ハイウェイ復帰アイコン）を選択します。

Memo

- ルート案内をしていない場合でも、高速道路等を走行しているときにはハイウェイモードが表示されます。ただし、道路によっては表示できない場合があります。
- ルート案内中は、高速道路の分岐点が近づくと、分岐点の拡大図が表示されます。
- ルート案内中は、出口ICまでの情報を表示します。
- 施設案内に表示されるアイコンは以下のようなものがあります。施設案内に表示できるアイコンは5種類までです。（表示されているアイコン以外にも施設がある場合があります。）

記号	名称
	FAX
	インフォメーション
	お風呂
	温泉
	銀行
	コインシャワー
	コインランドリー
	コイン洗車機
	コーヒー

記号	名称
	ドラッグ
	ハイウェイ情報ターミナル
	宿泊施設
	郵便局
	郵便ポスト
	レストラン
	休憩所
	軽食
	身障者施設

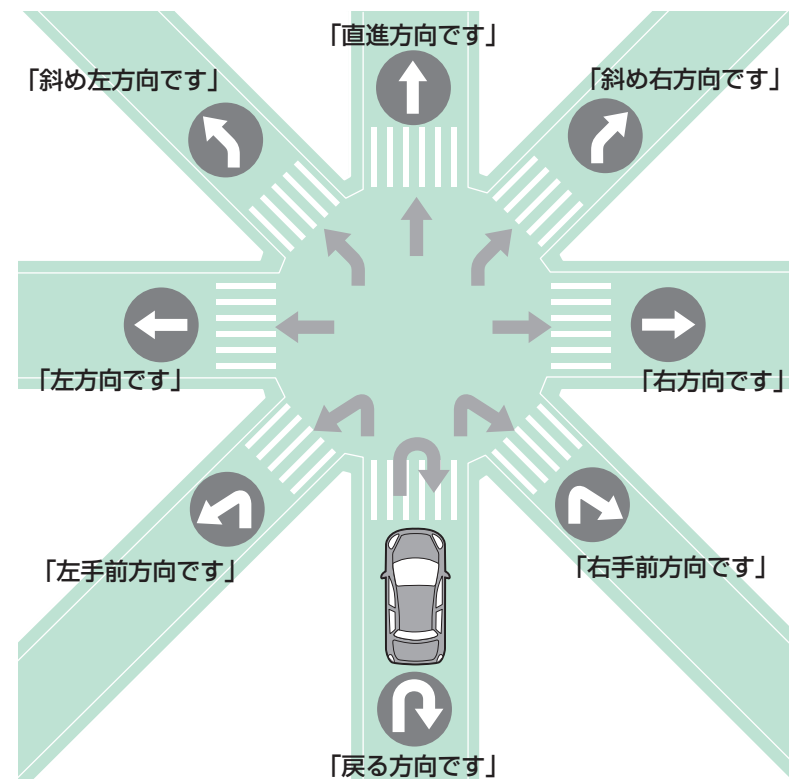
記号	名称
	授乳室
	宝くじ
	名産
	キャッシュコーナー
	トイレ
	公衆電話
	身障者用トイレ

進行方向で道路が合流している場合に音声ガイドが流れます。

合流警告

Memo
- ガイドポイントなどの案内と警告表示の案内が重なった場合は、ガイドポイントなどの案内が優先的に行われます。
- 音声ガイド（運転アドバイス）の音声をオフにすることもできます（➡P.8-11）。

ガイドポイントでの音声案内

ガイドポイントに近づくと、進行方向に応じて音声ガイドが流れます。

Memo
- 本線を直進する場合でも、左（または右）に分岐路がある場合は、「斜め右（または左）方向です」と音声ガイドが流れることがあります。
- 直進をしていても「直進方向です」と案内をする場合があります。
- ガイドポイントの道路形状によっては、音声案内と実際の進行方向とに差異が発生する場合があります。

ガイドポイント接近時の画面表示

ガイドポイントに接近すると、ガイドポイントの種類によって次のような拡大図が表示されます。

[一般道の交差点]

ガイドポイントの約300m手前から、交差点の拡大図が表示されます。

[高速道路のインターチェンジ(IC)とジャンクション(JCT)]

約1km手前から、IC/JCTの拡大図が表示され、進行方法が表示されます。
(サービスエリアの入口や、パーキングエリアの入口に情報がある場合は、拡大図が表示されます。)

[都市高速道の入口]

東京、大阪、名古屋の都市高速道路の入口では、入口付近が3Dで表示されます。

- 拡大図は、ガイドポイントを通過すると自動的に消去されます。通過前に消したいときは、拡大図をタッチすると消去されます。ただし、一度消去した拡大図は再表示できません。
- 交差点拡大図を3Dで表示することもできます（➡P.8-11）。
- 2画面表示中であっても、上記拡大図が表示されます。
- 交差点情報に交差点名がある場合は、交差点名を読み上げます。ただし、状況により、交差点名が聞き取りにくくなる場合があります。
- 交差点によっては、あらかじめ収録された拡大図が表示されます。

オートリルート

案内ルートから外れてしまった場合でも、しばらく走行すると新しいルートを自動的に探索します(オートリルート機能)。

[オートリルート前]

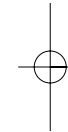
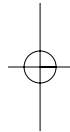
[オートリルート後]

オートリルートされたルート

Memo
- 案内ルートの近くに交通規制がある場合、オートリルート機能が働くことがあります。

渋滞しているときは

VICS情報から通行規制や、渋滞の情報が取得されると、所要時間ができるだけ短くなるルートが探索されます。
ただし、この機能を使用するためには、最適時間考慮（➡P.8-13）をONにしておく必要があります。

Memo
- 渋滞している場所をそのまま進んだほうが早い場合は、渋滞している場所を通るルートで案内することもあります。また、所要時間の短いルートが見つからない場合は、探索されているルートと同じルートになる場合があります。
- この機能を使用するには、VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77（2005年春発売予定）が必要です。

5 ルートを確認、変更する

ここでは、ルート案内を開始した後で、ルートの変更やルート案内の中止を行う場合などの手順について説明します。

■ ドライブプランメニューについて　P.5-2
ドライブプランメニューを表示する　P.5-2

■ 目的地までのルート全体を表示する　P.5-4
ルート全体を地図で表示する　P.5-4
ルート全体をリストで表示する　P.5-5

■ 目的地までのルートを変更・削除する　P.5-6
目的地や通過点を変更する　P.5-6
通過点の順番を変更する　P.5-8
目的地や通過点を削除する　P.5-10
通過点を追加する　P.5-12
ルートを削除する　P.5-14

■ お試し走行をする　P.5-16
お試し走行をする　P.5-16

■ ルート案内を中止する　P.5-18
ルート案内を中止する　P.5-18

ドライブプランメニューを表示する

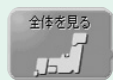
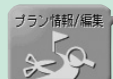
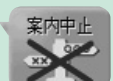
ドライブプランメニューでは、ルート案内中にプラン情報の編集や、ルート全体の確認、お試し走行など、ルート内容の確認やドライブプランの変更をすることができます。

1

NAV/OFF キーを押します

2

MENU キーを押します

3

を選択します

4

ルートの確認／変更方法を選択します

ルートの確認／変更方法は次の通りです。

ボタン	機能	参照ページ
全体を見る	出発地から目的地までのルート全体を、地図上に表示して確認できます。また、目的地や通過点の場所を確認することもできます。	P.5-4〜P.5-5
プラン情報/編集	出発地から目的地までの通過道路や、IC名などのルートの詳細を表示して確認できます。また、通過点の追加、変更、削除、順序変更や、ルートの削除、目的地の変更や削除を行うこともできます。	P.5-6〜P.5-14
お試し走行	現在地から目的地までのルートを模擬走行する、シミュレーション画面を表示します。実際のドライブプランをあらかじめ確認するのに便利です。	P.5-16
案内中止	ルート案内を中止します。	P.5-18

END

Memo
- ルート案内中にルートの変更（ルートの削除や変更）を行うと、ルート案内は中止されます。ルートの変更後に再検索を行ってください。

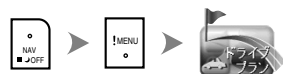
ルート全体を地図で表示する

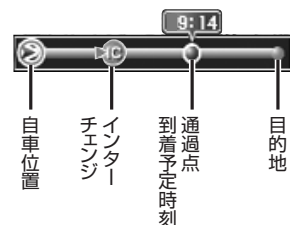
目的地までの通過道路や、IC名などのルート全体を地図画面上で確認できます。

Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

ルート全体を確認します

自車位置から目的地までの情報が表示されます。

Hint

- 確認 を選択すると、ルートの全体がリスト表示されます（➡P.5-5）。
- ルートが探索されていない場合は、手順2の画面は表示されません。
- ICや通過点がない場合は、目的地までの残り時間を表示します。

END

ルート全体をリストで表示する

目的地までの通過道路や、IC名などのルート全体をリスト上で確認できます。

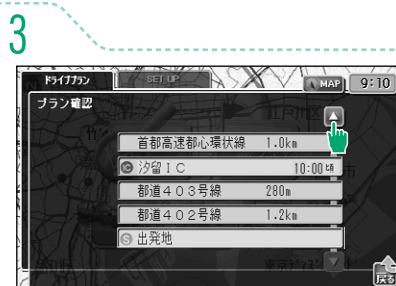
Step この操作までの流れ

1

 を選択します

2

確認 を選択します

3

ルート全体を確認します

▼ または ▲ を選択するとリストがスクロールします。

Hint

- 戻る を選択すると、手順2の画面に戻ります。

END

目的地や通過点を変更する

目的地や通過点の位置を、地図上で変更します。

Step この操作までの流れ

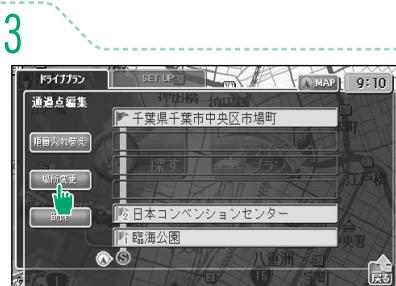
1

 を選択します

2

変更したい目的地または通過点の 編集 を選択します

- 目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、▼ または ▲ を選択してください。
- ルートが探索されていない場合は、 探索 を選択すると、通過点を含めた目的地までのルートが探索されます。

3

場所変更 を選択します

4

変更したい位置にカーソル（ ）をスクロールします

- 地図上の一点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように、画面がスクロール（移動）します。
- 画面に表示されている矢印（スクロールボタン）を選択し続けると、矢印の方向に、画面が連続してスクロールします。

Hint

- 目的地が離れている場合は、 で地図を縮小してからスクロールすると、すばやく目的地までスクロールできます。

5

決定 を選択します

地点が変更され、手順2の画面に戻ります。

END

Memo

- ルートが探索されている場合は、通過点を変更したあとに、手順2の画面に戻って を選択するとルート探索がやり直されます。
- ルート案内中に 編集 を選択すると、案内中止の確認画面が表示されます。 はい を選択すると手順3の画面が表示され、 いいえ を選択すると手順2の画面に戻ります。
- 通過済みの通過点は変更することができません。（削除のみ行えます）

通過点の順番を変更する

設定した通過点の立ち寄る順番を、入れ替えることができます。

 この操作までの流れ

 ➤ ➤

1

 を選択します

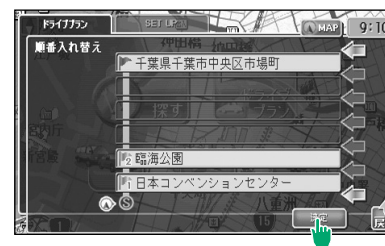
2

順番を入れ替えたい通過点の 編集 を選択します

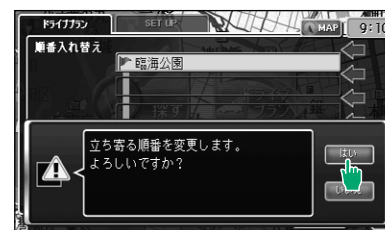
- 目的の通過地点が表示されていない場合は、表示されるまで、▼ または ▲ を選択してください。
- ルートが探索されていない場合は、探索 を選択すると通過点を含めた目的地までのルートが探索されます。

3

順番入れ替え を選択します

4

入れ替えたい場所の ⇐ を選択し、 決定 を選択します

順番が入れ替わります。

5

はい を選択します

順番が変更され、手順2の画面が表示されます。

Hint

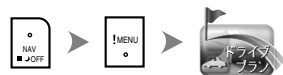
- 順番の入れ替えを中止する場合は いいえ を選択します。手順3の画面に戻ります。

END

Memo

- 目的地や通過点を変更したあとに、手順2の画面に戻って、探索 を選択するとルート探索がやり直されます。
- ルート案内中に 編集 を選択すると、案内中止の確認画面が表示されます。はい を選択すると手順3の画面が表示され、いいえ を選択すると手順2の画面に戻ります。

目的地や通過点を削除する

設定した目的地や通過点を、個別に削除できます。

 この操作までの流れ

1

 を選択します

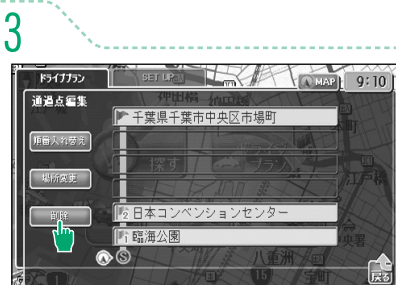
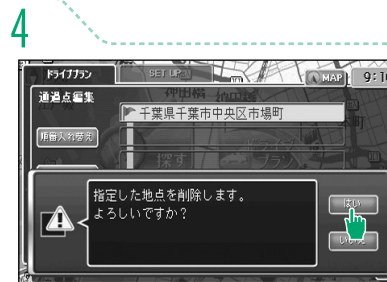
2

削除したい目的地または通過点の 編集 を選択します

- 目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、▼ または ▲ を選択してください。
- ルートが探索されていない場合は、探索 を選択すると通過点を含めた目的地までのルートが探索されます。

3

削除 を選択します

4

はい を選択します

目的地または通過点が削除され、手順2の画面が表示されます。

Hint

- 目的地または通過点の削除を中止する場合は いいえ を選択します。手順3の画面に戻ります。

END

- 一度消去した目的地、または通過点を元に戻すことはできません。慎重に操作してください。

- 目的地や通過点を変更したあとに、手順2の画面に戻って、探索 を選択するとルート探索がやり直されます。
- 目的地を削除した場合は、目的地から一つ前にある通過点が目的地として設定されます。
- ルート案内中に 編集 を選択すると、案内中止の確認画面が表示されます。はい を選択すると手順3の画面が表示され、いいえ を選択すると手順2の画面に戻ります。

通過点を追加する

通過点を追加できます。

1

 を選択します

2

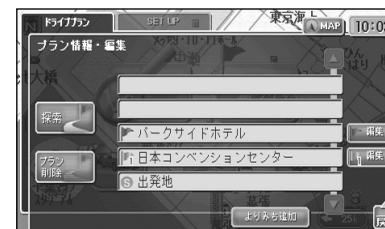
よりみち追加 を選択します

3

追加する通過点を検索します

追加地点の検索方法は、「探すメニューを表示する」（➡P.2-2）をご覧ください。

4

ここによりみち を選択します

通過点が追加され、手順2の画面に戻ります。
探索 を選択するとルート検索を行います。

END

Memo

- ここでは追加した通過点の順番を変更することはできません。「通過点の順番を変更する」（➡P.5-8）で順番を変更してください。
- ルート案内中に よりみち追加 を選択すると、案内中止の確認画面が表示されます。 はい を選択すると手順3の画面が表示され、 いいえ を選択すると手順2の画面に戻ります。

ルートを削除する

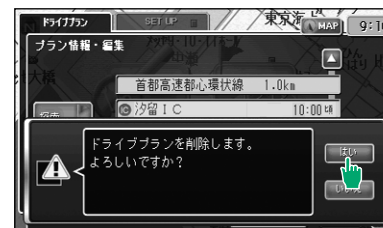
現在案内中のルートをすべて削除します。

1

を選択します

2

を選択します

3

はい を選択します

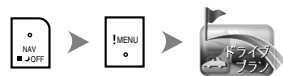
目的地や通過点を含むすべてのルートが削除され、現在地画面に戻ります。

END

- 削除したルートを元に戻すことはできません。慎重に操作してください。
- ルートを削除すると、通過点や目的地も消去されます。このため、案内中止と異なり、地点を設定し直さないとルートを探索し直すことはできません。

お試し走行をする

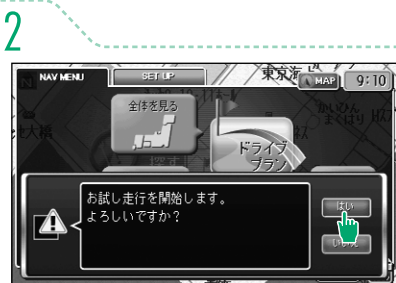
現在のルートに沿ってドライブのシミュレーション画面を表示します。走行時の道のりをあらかじめ確認しておくことができます。

Step この操作までの流れ

Memo

- ルートが探索されていない場合は、お試し走行できません。また、お試し走行には、現在のルートが使用されます。
- お試し走行は、自車が動き出したとき、または 戻る 、MENU キー、NAV キー、OFF TV キー、DVD キーを押したときに停止します。

1

を選択します

2

はい を選択します

Hint

- お試し走行を中止する場合は、いいえ を選択します。

3

お試し走行を確認します

Hint

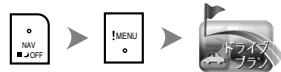
- x1（標準速度：50km/h）、x2（標準速度の2倍）、x3（標準速度の3倍）を選択して、お試し走行の速さを変えることができます。
- お試し走行を中断する場合は、戻る を選択します。

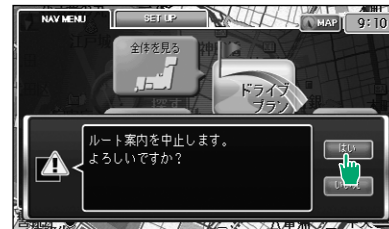
END

ルート案内を中止する

ルート案内中に、ルート案内を中止します。

 この操作までの流れ

1

を選択します

2

はい を選択します

ルート案内が中止され、現在地画面に戻ります。

Hint

● いいえ を選択すると、ルート案内を再開します。

END

Memo

● この操作で案内を中止しても、探索されたルートは消去されますが、目的地と通過点（未通過）は消去されません。プラン情報・編集画面の を選択してルートを探索し直すこともできます。

6 VICSで渋滞情報を表示する

ここでは、VICS情報の表示や機能の設定方法などについて説明します。

■ **VICS情報を表示する** **P.6-2**
VICS情報とは P.6-2
VICS情報の地図画面上の表示 P.6-3

■ **VICSメニューについて** **P.6-5**
VICSメニューを表示する P.6-5

■ **VICSを表示／選局する** **P.6-7**
VICS情報を表示する P.6-7
VICS FM局を自動選局する P.6-8
エリアを指定して選局する P.6-10

■ **VICSビーコン情報を表示する** **P.6-12**
VICSビーコン情報を表示する P.6-12

■ **VICS機能の詳細を設定する** **P.6-13**
VICS機能の詳細を設定する P.6-13

■ **VICSの参考資料** **P.6-15**
VICSサービスの問い合わせ先 P.6-15
VICSリンクの更新について P.6-16
VICS FM情報放送周波数（NHK-FM） P.6-17
VICS情報有料放送サービス契約約款 P.6-18

VICS情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。
VICS情報を受信すると、現在地の地図画面上にVICS情報が自動的に表示されます。
道路交通情報などのVICS情報の表示、受信FM局の選局などの設定はVICSメニュー画面から行います。

●VICS情報（電波ビーコン、光ビーコン）を受信するためには、VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77（2005年春発売予定）が必要です。VICS FM局から送られてくる情報は本機で受信できます。（ただし、本機にiPod接続ケーブルKNA-i77を接続している場合は、VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77は接続できません。）

[VICS情報の内容と種類]

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。
提供されるVICSは次の3つのレベルの種類があります。
レベル1（文字情報）　　：情報が文字で表示されます。
レベル2（簡易図形情報）：道路地図の模式図で情報が表示されます。
レベル3（地図上表示）　：ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

[VICS情報の提供方法]

VICS情報は、FM多重放送（NHK-FM）、電波ビーコン、光ビーコンの3通りの方法で提供されています。

[VICS情報利用上のご注意]

以下の点に注意して利用してください。

FM多重放送

・各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
・サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
・情報は一定周期で更新しています。更新中は情報を蓄積するまで、時間がかかります（情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります）。
・放送時間外は利用できません。

電波ビーコン

・主に高速道路に設置されています。
・高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
・通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くないとき、ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがあるとき、法定速度以上で走行しているときは受信が困難になります。
・低速で走行中は、反対車線のビーコンを受信してしまうことがあります。

光ビーコン

・主に一般道に設置されています。
・大型車両の併走などでビーコン発信器の光が遮られた場合、アンテナ受光面が汚れている場合、直射日光がアンテナ受光面に当たっている場合などは受信困難になることがあります。
・通信エリア外や雨、雪などの影響、大型車並走等で光がとどきにくいとき、ビーコンアンテナ付近に光をさえぎるものがあるとき、アンテナ受光面が汚れているとき、直射日光が当たっているとき、法定速度以上で走行しているときは受信が困難になります。

VICS情報の地図画面上の表示

走行中の地図画面には、受信したVICS情報がリアルタイムで表示されます。

[地図表示型（レベル3）の情報を受信したとき]

現在地地図画面を表示しているときに、地図表示型（レベル3）の情報を受信すると、下図のような画面が表示されます。

駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
緑色：渋滞／混雑なし
灰色：不明

VICS情報受信ボタン
地図に表示されているVICS情報の提供時刻を表示します。
割込情報や緊急情報を受信すると、このボタンを選択することができます。

Memo
●FM多重放送による情報は、電波の受信状態が悪いと表示されないことがあります。
●規制情報、駐車場情報、渋滞情報を表示しないようにすることができます（➡P.6-14）。
●規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは次のとおりです。

イベント	チェーン規制	火災	故障車	工事	作業	事故	車線規制	路上障害	渋滞
出口制限	徐行	進入禁止	速度規制	対面通行	大型通行止め	注意	通行止め/閉鎖	凍結	入り口制限
入り口閉鎖	片側交互通行	駐車場空き	駐車場満車	駐車場不明	駐車場閉鎖	SA/PA空き	SA/PA満車	SA/PA不明	
		背景青色	背景赤色	背景黒色		背景青色	背景赤色	背景黒色	

●車線規制や入口/出口マークの形状は実際の道路と異なります。

[文字表示型（レベル1）、簡易図形表示型（レベル2）の情報を受信したとき]

現在地地図画面を表示しているときに、光ビーコン、電波ビーコン、FM放送で文字表示型（レベル1）または簡易図形表示型（レベル2）またはVICS FMの情報を受信すると、下図のようなVICS割込画面が表示されます。

文字
文字情報を表示します。

図形
簡易図形情報を表示します。

ページ切り替え
受信したVICS情報が複数ページある場合に、表示ページを切り替えることができます。

しまう
割込み前の地図画面に戻ります。

Memo

- 文字情報または簡易図形情報の表示設定を変更することができます（➡P.6-14）。
  ただし、緊急情報を受信すると、上記の設定に関係なく、VICS割込画面が表示されてその情報が表示されます。
- VICS割込画面の表示時間は変更できます（➡P.6-14）。
- メニューや交差点拡大図、IC／JCT拡大図、スクロール地図画面が表示されているときには、VICS割込画面は表示されません。

VICSメニューを表示する

VICSメニューでは、VICS情報表示の各種設定、VICS FM局の設定、道路交通情報（ビーコン）などのVICS情報表示など、VICSに関連した操作や設定を行うことができます。

1 NAVキーを押します

2 MENUキーを押します

3 渋滞を選択します

NEXT

4

VICSの操作／設定を選択します

VICSの操作／設定方法は次の通りです。

ボタン	機能	参照ページ
VICS FM	VICS FM局から送られてくる道路交通情報などの文字や、図形情報を表示します。また、VICS FM放送局の選局設定を行います。	P.6-7～P.6-10
VICS ビーコン	ビーコンから送られてくる、道路交通情報などの文字や図形を表示します。	P.6-12
VICS 設定	VICS機能の設定を行います。	P.6-13

END

Memo
●VICSビーコン情報を受信するには、VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77（2005年春発売予定）が必要です。

VICS情報を表示する

VICS（FM）情報のデータがある場合は、VICS（FM）情報を表示して、その内容を見ることができます。

Step この操作までの流れ

1

を選択します

2

VICS情報を確認します

- 文字 を選択すると、メニュー項目が表示されます。表示したい項目を選択するか、表示したい項目の番号をテンキー（0～9）で選択すると対応する文字情報が表示されます。
- VICS情報が複数ページある場合は、＜ または ＞ を選択してページを切り替えます。
- 図形 を選択すると、図形情報が表示されます。
- TOP を選択すると、最初の番組の文字情報が表示されます。

Hint

- 選局 を選択すると、VICS FM局を選局できます（➡P.6-8）。
- 戻る を選択すると、手順1の画面に戻ります。

END

Memo
●受信状況により、VICS情報が更新されない場合があります。
また、最新のデータおよび正しい情報を表示できない場合があります。

VICS FM局を自動選局する

現在地で適切なVICS FM局を自動的に選局します。

 この操作までの流れ

 ➤ ➤

1

 を選択します

2

選局 を選択します

3

自動 を選択します

現在地で適切なVICS FM局が自動的に選局され、周波数が表示されます。

Hint

- 選局が終わったら、しまう を選択します。VICS表示画面に戻ります。
- この設定にしておくと、現在地に合わせて適切なFM局が自動的に選局されます。

END

Memo

- 自動選局は、現在地で適切なVICS FM局を自動的に受信します。自動で選局したくない場合は、エリアを指定して選局することもできます（➡P.6-10）。

エリアを指定して選局する

VICS FM局を指定したエリアの放送局に固定します。

1

を選択します

2

選局 を選択します

3

エリア固定 を選択します

4

エリアを選択します

- 目的のエリアが表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- 指定したエリアの放送局が選局されます。

Hint

- 選局が終わったら、しまう を選択します。VICS表示画面に戻ります。

END

Memo

- エリア固定にすると、設定したエリアから外れた場所では、情報を受信できなくなる場合があります。エリアから外れた場合はエリアを再設定するか、自動選局（➡P.6-8）に設定してください。

VICSビーコン情報を表示する

VICSビーコン情報を表示して、その内容を見ることができます。

 この操作までの流れ

 ➤ ➤

1

を選択します

- 文字情報と図形情報が混在しているデータを受信した場合は、図形 または 文字 を選択すると図形情報または文字情報が表示されます。
- VICS情報が複数ページある場合は、◁ または ▷ を選択してページを切り替えます。

Hint

- 戻る を選択すると、元の画面に戻ります。
- VICSビーコン情報では、選局の操作は行えません。

 END

Memo
- VICSビーコン情報を受信するには、VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77（2005年春発売予定）が必要です。

VICS機能の詳細を設定する

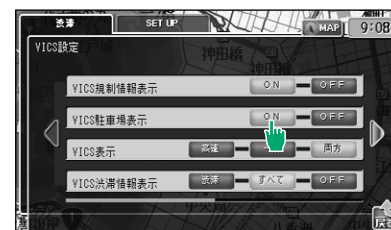
VICS機能の詳細設定ができます。

Step この操作までの流れ

 ➤ ➤

1

を選択します

2

設定したい内容を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
- 目的の項目が表示されていない場合は、表示されるまで ◁ または ▷ を選択してください。
- VICSの設定項目の内容は次ページの通りです。

NEXT

項目	選択肢	内容
VICS規制情報表示	ON	交通規制情報を地図上に表示します。
	OFF	表示しません。
VICS駐車場表示	ON	駐車場の位置と状態を地図上に表示します。
	OFF	表示しません。
VICS表示	高速	高速道路のVICS情報だけを地図上に表示します。
	一般	一般道のVICS情報だけを地図上に表示します。
	両方	両方表示します。
VICS渋滞情報表示	渋滞	VICSの渋滞情報（渋滞、混雑のみ）を地図上に表示します。
	すべて	VICSのすべての渋滞情報（渋滞、混雑、渋滞・混雑なし、不明）を地図上に表示します。
	OFF	VICSのすべての渋滞情報（渋滞、混雑、渋滞・混雑なし、不明）を地図上に表示しません。
VICS文字割込（VF-M77※接続時）	ON	VICSの文字情報（レベル1）を割り込み表示します。
	OFF	割り込み表示しません。
VICS図形割込（VF-M77※接続時）	ON	VICSの簡易図形情報（レベル2）を割り込み表示します。
	OFF	割り込み表示しません。
VICS割込表示時間（VF-M77※接続時）	10秒	VICS情報を割り込み表示する時間（秒）を設定します。
	15秒	
	20秒	

はお買い上げ時の設定状態です。

※ VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77は、2005年春発売予定です。

3

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

VICSサービスの問い合わせ先

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

・VICSの仕組みやサービスエリアなどについて
・文字情報（レベル1）、簡易図形情報（レベル2）の情報表示について

＜問い合わせ先＞

（財）VICSセンター（東京センター）

電話受付時間　9:30〜17:45　（但し土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）
電話番号　0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
PHSから
（東京）　03-3592-2033
（大阪）　06-6209-2033
FAX受付時間　24時間
FAX番号（全国）　03-3592-5494

・VICS関連商品の機能や使用方法について
・サービスエリア内の受信可否について
・地図表示（レベル3）の情報表示について

＜問い合わせ先＞

（株）ケンウッド・カスタマーサポートセンター

電話受付時間　9:00〜18:00　（土曜、日曜、祝祭日および当社休日は除く）
電話番号　045-933-5212
（大阪）06-6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます。）
FAX番号　045-933-5553

・VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネットURL http://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、（株）ケンウッド・カスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

●VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはケンウッド・カスタマーサポートセンター（➡P.6-15）やお買い上げの販売店にご相談ください。

VICS FM情報放送周波数（NHK-FM）

放送局の周波数を合わせるときは、地域によって次の周波数を使用してください。

地域名	局名	周波数	地域名	局名	周波数
札幌地区	VICS札幌	85.2 MHz	三重県	VICS津	81.8 MHz
旭川地区	VICS旭川	85.8 MHz	滋賀県	VICS大津	84.0 MHz
函館地区	VICS函館	87.0 MHz	福井県	VICS福井	83.4 MHz
北見地区	VICS北見	86.0 MHz	京都府	VICS京都	82.8 MHz
釧路地区	VICS釧路	88.5 MHz	大阪府	VICS大阪	88.1 MHz
青森県	VICS青森	86.0 MHz	兵庫県	VICS神戸	86.5 MHz
秋田県	VICS秋田	86.7 MHz	奈良県	VICS奈良	87.4 MHz
岩手県	VICS盛岡	83.1 MHz	和歌山県	VICS和歌山	84.7 MHz
山形県	VICS山形	82.1 MHz	鳥取県	VICS鳥取	85.8 MHz
宮城県	VICS仙台	82.5 MHz	岡山県	VICS岡山	88.7 MHz
福島県	VICS福島	85.3 MHz	島根県	VICS松江	84.5 MHz
茨城県	VICS水戸	83.2 MHz	広島県	VICS広島	88.3 MHz
栃木県	VICS宇都宮	80.3 MHz	山口県	VICS山口	85.3 MHz
群馬県	VICS前橋	81.6 MHz	香川県	VICS高松	86.0 MHz
埼玉県	VICSさいたま	85.1 MHz	愛媛県	VICS松山	87.7 MHz
千葉県	VICS千葉	80.7 MHz	徳島県	VICS徳島	83.4 MHz
東京都	VICS東京	82.5 MHz	高知県	VICS高知	87.5 MHz
神奈川県	VICS横浜	81.9 MHz	福岡県	VICS福岡	84.8 MHz
新潟県	VICS新潟	82.3 MHz	佐賀県	VICS佐賀	81.6 MHz
石川県	VICS金沢	82.2 MHz	長崎県	VICS長崎	84.5 MHz
富山県	VICS富山	81.5 MHz	熊本県	VICS熊本	85.4 MHz
山梨県	VICS甲府	85.6 MHz	大分県	VICS大分	88.9 MHz
長野県	VICS長野	84.0 MHz	宮崎県	VICS宮崎	86.2 MHz
岐阜県	VICS岐阜	83.6 MHz	鹿児島県	VICS鹿児島	85.6 MHz
静岡県	VICS静岡	88.8 MHz	沖縄県	VICS沖縄	88.1 MHz
愛知県	VICS名古屋	82.5 MHz			

（2005年1月現在）

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、 放送法 （昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、 このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、 これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。 この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）　VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）　VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）　加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）　VICSデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、 VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、別表1のとおりとします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、 VICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　ＶＩＣＳサービスは、ＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機） を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、 以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応ＦＭ受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）　加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）　加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、 VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、 本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、 当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、 契約単位ごとに加入時に別表2に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、 適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、 VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、 あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、 VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、 VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、 本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、 加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。 当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、 VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表1］　「サービスの提供区域」

東京都
23区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、 国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、八王子市、 羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、 三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県
厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、 茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

埼玉県
上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、 川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、 さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、 所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、 日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、吉川市、和光市、蕨市

千葉県
我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、 白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、 松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

愛知県
安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、 春日井市、蒲郡市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、 知立

市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、 西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市

大阪府
池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、交野市、門真市、 河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、 富田林市、寝屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

京都府
綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、 宮津市、向日市、八幡市

長野県
飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、 須坂市、諏訪市、茅野市、中野市、長野市、松本市

兵庫県
相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、 三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

福岡県
飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、 田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

広島県
因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

宮城県
石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、仙台市、多賀城市、名取市、古川市

北海道（札幌地区）
赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、 札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、 室蘭市、夕張市

静岡県
熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、 浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

群馬県
安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

福島県
会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

岡山県
井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

沖縄県
糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、名護市、那覇市

宮崎県
小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

岐阜県
恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

三重県
伊勢市、尾鷲市、亀山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

山口県
岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、長門市、萩市、光市、防府市、美祢市、柳井市、山口市、周南市

茨城県
石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、 下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

北海道（旭川地区）
旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市

和歌山県
有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

滋賀県
大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

奈良県
生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

栃木県
足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、 黒磯市、佐野市、栃木市、日光市、真岡市、矢板市

山梨県
塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

新潟県
小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、 栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新津市、見附市、村上市、両津市

石川県
金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市

北海道（函館地区）
函館市

熊本県
荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

大分県
宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、日田市、別府市

香川県
坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県
今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、 新居浜市、松山市、八幡浜市

佐賀県
伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県
諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

鹿児島県
阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、 川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

徳島県
阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県
安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福井県
大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

富山県
魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

山形県
上山市、寒河江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県
秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

青森県
青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

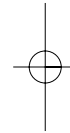
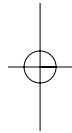
島根県
出雲市、江津市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市

鳥取県
倉吉市、境港市、鳥取市、米子市

岩手県
一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市

北海道（釧路地区）
釧路市、根室市、帯広市

北海道（北見地区）
網走市、北見市、紋別市

[別表2]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
　ただし、車載機購入価格に含まれております。

7 記録した情報を編集する

ここでは、メモリ地点の編集や過去に到着した場所の編集のしかたについて説明します。また、タッチゲームの操作方法についてもここで説明します。

■ 情報メニューについて P.7-2
情報メニューを表示する P.7-2

■ 記録した場所を編集する P.7-4
メモリ地点の名称を変更する P.7-4
メモリ地点の読み仮名を変更する P.7-8
メモリ地点の電話番号を設定する P.7-10
メモリ地点の位置を確認する P.7-12
メモリ地点を消去する P.7-14
メモリ地点のマークを変更する P.7-16
メモリ地点にサウンドを設定する P.7-18

■ 自宅の位置を登録・編集する P.7-20
自宅の位置を登録する P.7-20
自宅の位置を変更する P.7-22
自宅のマークを変更する P.7-23
自宅情報を消去する P.7-24

■ 過去に到着した場所を編集する P.7-26
過去に到着した場所をメモリ地点に登録する P.7-26
過去に到着した場所を消去する P.7-28

■ タッチゲームで遊ぶ P.7-30
タッチゲームで遊ぶ P.7-30

情報メニューを表示する

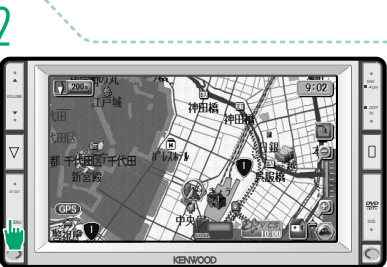
情報メニューでは、自宅登録の編集、メモリ地点の編集、過去に到着した場所の編集など、本機に登録してある内容を編集できます。また、タッチゲームで遊ぶこともできます。

1

NAV OFF キーを押します

2

MENU キーを押します

3

情報 を選択します

4

編集したい項目を選択します

編集したい各項目の内容は次の通りです。

ボタン	機能	参照ページ
きろくした場所編集	メモリ地点の名称や、読み仮名、位置確認、マーク、電話番号、近づいたときのサウンドを設定できます。また、メモリ地点を消去することもできます。	P.7-4～ P.7-18
自宅編集	登録した自宅の場所や、地図上に表示するマークを変更することができます。	P.7-20～ P.7-24
あしあと編集	過去に到着した場所の削除や、その場所をメモリ地点として登録できます。	P.7-26～ P.7-28
タッチゲーム	タッチゲームをして遊ぶことができます。	P.7-30

END

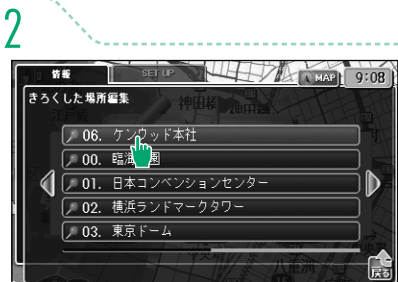
メモリ地点の名称を変更する

登録したメモリ地点の名称を変更できます。
例：「ケンウッド本社」を「ケンウッド八王子」に変更する場合

この操作までの流れ

1

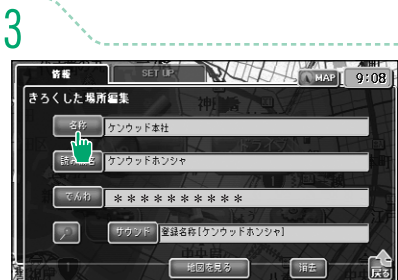
を選択します

2

名称を変更したいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

3

を選択します

4

消去 を選択し、不要な文字を消去します

名称の一部を消去したい場合は、< で消去したい文字の上にカーソルを移動して 消去 を選択します。

5

あ/ア/A/1 を選択してカタカナ入力モードにし、「ケ」「ン」「ウ」「ッ」「ト」「゛」を選択します

Hint

- あ/ア/A/1 を選択するごとに、カタカナ→英字→数字・記号→ひらがなの順に入力モードが切り替わります。
- 入力する文字を間違えた場合は、消去 を選択します。カーソル上の文字、または最後の文字が1文字消去されます。

6

あ/ア/A/1 を選択してひらがなモードにし、「は」「ち」「お」「う」「し」「゛」を選択します

Hint

- あ/ア/A/1 を選択するごとに、カタカナ→英字→数字・記号→ひらがなの順に入力モードが切り替わります。
- 入力する文字を間違えた場合は、消去 を選択します。カーソル上の文字、または最後の文字が1文字消去されます。
- スペース を選択すると、1文字分の空白が入力されます。

NEXT

7

変換 を選択します

Hint

- 無変換 を選択すると入力した文字がそのまま確定されます。

8

変換候補の中から「八王子」を選択します

- 文字が確定され、手順4の画面に戻ります。
  文字表示エリアには変換対象の文字が緑色で表示されます。
- 目的の変換候補が表示されていない場合は、表示されるまで、◁または▷を選択してください。

Hint

- 変換する範囲を変えたい場合は、変換範囲の < または > で範囲を指定します。指定した範囲の変換候補が表示されます。
- 全確定 を選択すると、文字表示エリアに表示されている文字がすべて確定され、手順5の画面に戻ります。

9

決定 を選択します

名称変更が終了し、手順3の画面に戻ります。手順3の画面に設定した名称と読み仮名が表示されます。

END

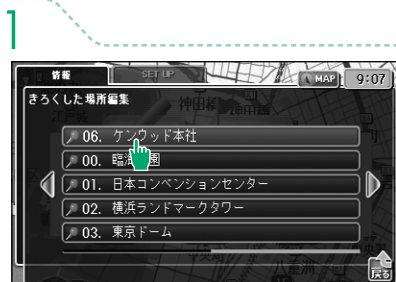
Memo

- 名称を変更するときは、元の名称をすべて消去してから入力してください。名称を変更するときは、読み仮名も変更することをお勧めします。
- 名称は全角文字で最大20文字まで入力できます。
- メモリ地点の名称を地図上に表示させないこともできます（➡P.8-5）。
- メモリ地点の名称変更が終了したら、手順9で必ず 決定 を選択してください。
  決定 を選択しないと、メモリ地点の名称の変更は無効になります。

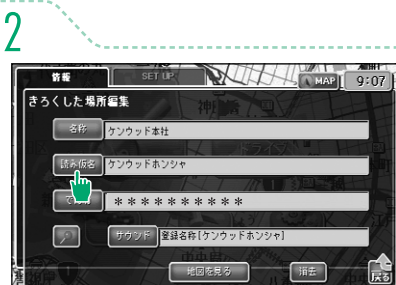
メモリ地点の読み仮名を変更する

メモリ地点の名称変更時に、自動設定された読み仮名を変更できます。

Step この操作までの流れ

1

読み仮名を変更したいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

2

読み仮名 を選択します

3

読み仮名を変更します

- すべての読みを変更したい場合は、すべての文字が消去されるまで 消去 を選択してから読み仮名を入力してください。
- 読みの一部を変更したい場合は、＜ または ＞ で変更したい文字の上にカーソルを移動して 消去 を選択しカーソル上の文字を消去してから読み仮名を入力してください。

Hint

- スペース を選択すると、1文字分の空白が入力されます。
- 入力する文字を間違えた場合は 消去 を選択します。カーソル上の文字または最後の文字が1文字消去されます。

4

決定 を選択します

読み仮名の変更が終了し、手順2の画面に戻ります。手順2の画面に設定した読み仮名が表示されます。

END

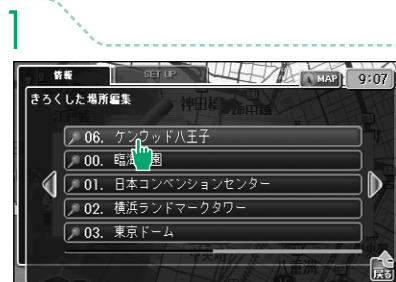
Memo

- 読み仮名は、全角文字で最大20文字まで入力できます。
- メモリ地点リストを50音順に表示したときは、読み仮名の順になります。
- メモリ地点の読み仮名変更が終了したら、手順4で必ず 決定 を選択してください。決定 を選択しないと、メモリ地点の読み仮名変更は無効になります。

メモリ地点の電話番号を設定する

メモリ地点の電話番号を設定できます。

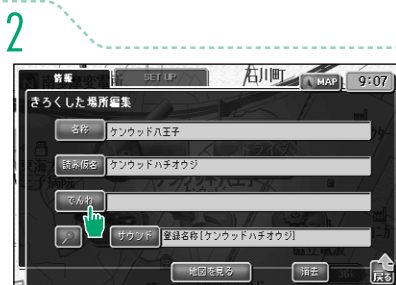
Step この操作までの流れ

1

電話番号設定したいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◁または▷を選択してください。

2

でんわ を選択します

3

電話番号を入力します

Hint

- 入力する番号を間違えた場合は、消去を選択します。最後の文字が消去されます。
- 電話番号の－（ハイフン）を入力する必要はありません。番号をそのまま続けて入力してください。

4

決定 を選択します

電話番号の変更が終了し、手順2の画面に戻ります。手順2の画面に設定した電話番号が表示されます。

END

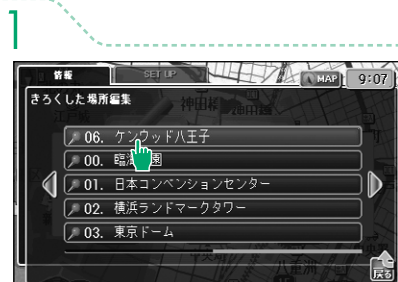
Memo

- 登録できる電話番号は11桁までです。
- メモリ地点の電話番号設定が終了したら、手順4で必ず 決定 を選択してください。決定 を選択しないと、メモリ地点の電話番号設定は無効になります。
- メモリ地点に電話番号を設定しても、電話番号による検索の対象にはなりません。

メモリ地点の位置を確認する

メモリ地点の位置を地図上で確認できます。

Step この操作までの流れ

1

位置を確認したいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

2

地図を見る を選択します

3

位置を確認します

- 確認画面ではスクロールもできます。
- 地図上の一点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように画面がスクロール（移動）します。
- 画面に表示されている矢印（スクロールボタン）を選択し続けると、矢印の方向に画面が連続してスクロールします。

4

位置の確認が終わったら 決定 または 戻る を選択します

手順2の画面に戻ります。

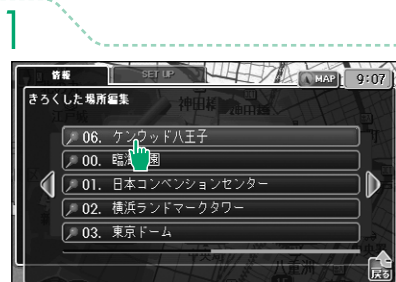
END

Memo ● メモリ地点の位置は変更できません。

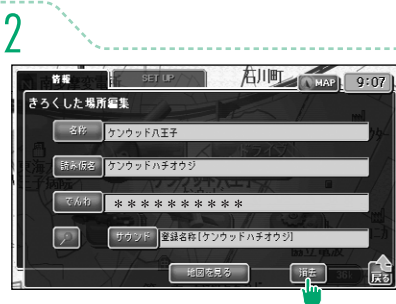
メモリ地点を消去する

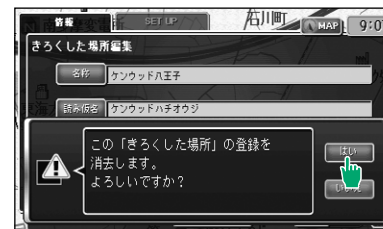
メモリ地点を消去できます。

Step この操作までの流れ

1

消去したいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

2

消去 を選択します

3

はい を選択します

メモリ地点が消去され、手順1の画面に戻ります。なお、メモリ登録件数が1件の場合は、情報メニュー画面に戻ります。

Hint

● メモリ地点の消去を中止する場合は、 いいえ を選択します。

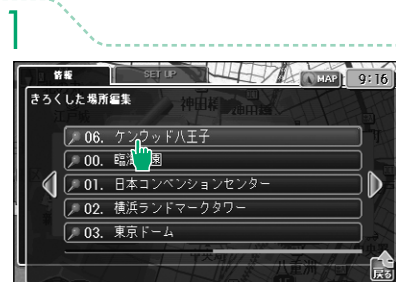
END

重要 ● 消去したメモリ地点は元に戻せません。消去する場合は慎重に操作してください。

メモリ地点のマークを変更する

地図上に表示されるメモリ地点のマークを変更できます。

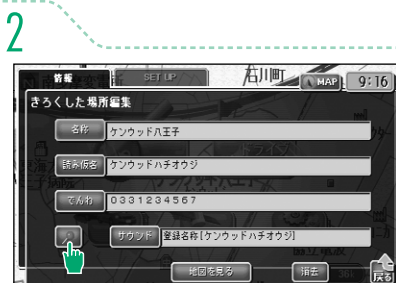
Step この操作までの流れ

1

マークを変更したいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

2

を選択します

3

変更したいマークを選択します

4

決定 を選択します

マークの変更が終了し、手順2の画面に戻ります。

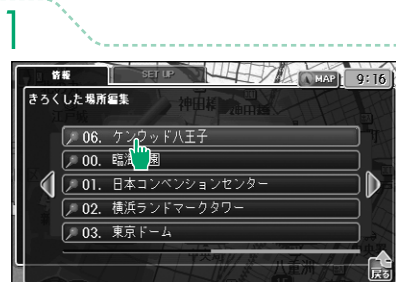
END

Memo ●メモリ地点のマークは、最初 に設定されています。

メモリ地点にサウンドを設定する

メモリ地点に近づいたときに、サウンドを鳴らすことができます。

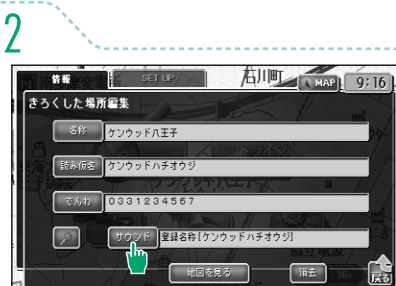
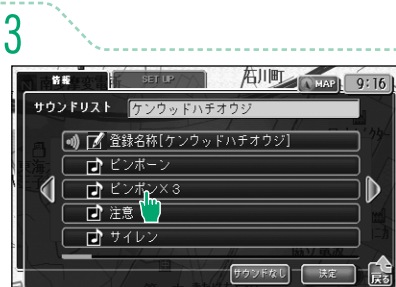
Step この操作までの流れ

1

サウンドを鳴らしたいメモリ地点を選択します

目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

2

サウンド を選択します

3

設定したいサウンドを選択します

目的のサウンドが表示されるまで、◀または▶を選択してください。

Hint

- サウンドを鳴らしたくない場合は、サウンドなし を選択します。

4

決定 を選択します

サウンドの設定が終了し、手順2の画面に戻ります。

Hint

- [登録名称]は読み仮名を変更する（➡P.7-8）で設定した読み仮名が登録されます。
  読み仮名が登録されていないと、読み上げは行われません。
- サウンドなし を選択すると、サウンドが鳴らなくなります。

END

Memo

- 設定したサウンドは、メモリ地点の約500m以内に近づいたときに鳴ります。
- 設定したサウンドは、音声案内の口調（➡P.10-28）を設定しても変わりません。

自宅の位置を登録する

自宅の位置を登録します。

Step この操作までの流れ

 ➤ ➤

1

 を選択します

2

現在地 または 探す を選択します

- 現在地が自宅の場合は、 現在地 を選択します。現在地が自宅の位置に登録されます。
- 現在地が自宅以外の場合は、 探す を選択し、手順3へ進みます。

Hint

- すでに自宅が登録されている場合は、自宅情報が表示されます。
- 自宅情報消去 を選択すると、自宅情報を消去できます（➡P.7-24）。

3

探し出す方法を選択します

- 地図から探す場合は、 地図 を選択します。詳しい操作方法は、「地図を表示して探す」➡P.2-22をご覧ください。
- 住所から探す場合は、 住所ピンポイント を選択します。詳しい操作方法は、「住所を選択して探す」➡P.2-7をご覧ください。
- 電話番号から探す場合は、 でんわ を選択します。詳しい操作方法は、「電話番号を入力して施設を探す」➡P.2-11をご覧ください。
- 緯度・経度から探す場合は、 緯度・経度 を選択します。詳しい操作方法は、「緯度と経度を入力して探す」➡P.2-16をご覧ください。

4

表示された地図で自宅の位置を確認し、 決定 を選択します

自宅の位置が登録され、手順2の画面に戻ります。
画面の表示エリアには住所が表示されます。

END

自宅の位置を変更する

自宅地点の位置を変更できます。

この操作までの流れ

1

 を選択します

2

現在地 または 探す を選択します

- 現在地が自宅の場合は、現在地 を選択します。
- 現在地が自宅以外の場合は、探す を選択し、「自宅の位置を登録する」➡P.7-20の手順3以降の操作を行います。

Hint

- 自宅情報消去 を選択すると自宅情報を消去できます（➡P.7-24）。

3

はい を選択します

自宅の位置が変更され、手順2の画面に戻ります。
画面の表示エリアには住所が表示されます。

Hint

- 自宅の変更を中止する場合は、いいえ を選択します。手順2の画面に戻ります。
- 地図 を選択すると、地図から自宅の位置を探し出せます。

END

自宅のマークを変更する

地図上に表示される自宅地点のマークを変更できます。

この操作までの流れ

1

 を選択します

変更したいマークを選択します

選択したマークが設定されます。

END

- 自宅マークは、5種類の中から選択できます。また、自宅に到着したときはここで設定したマークに対応したサウンドが鳴ります。
- 自宅に到着したときに鳴るサウンドは消せません。

自宅情報を消去する

自宅地点の情報を消去できます。

Step この操作までの流れ

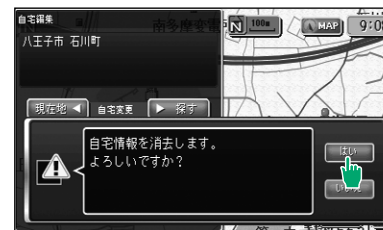
1

 を選択します

2

自宅情報消去 を選択します

自宅登録が済んでいない場合は、 自宅情報消去 を選択できません。

3

はい を選択します

自宅地点が消去され、手順2の画面に戻ります。

Hint

●自宅地点の消去を中止する場合は いいえ を選択します。

END

重要 ●消した自宅地点は元に戻せません。消去する場合は慎重に操作してください。

Memo ●自宅情報を消去すると、自宅へ帰るときに を選択しても、自宅を登録する画面が表示され自宅までのルートを探索できません。自宅情報を消去した場合は、新しい自宅を登録(➡P.7-20)することをお勧めします。

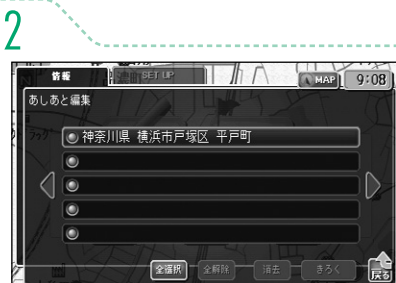
過去に到着した場所をメモリ地点に登録する

過去に到着した場所をメモリ地点に登録できます。

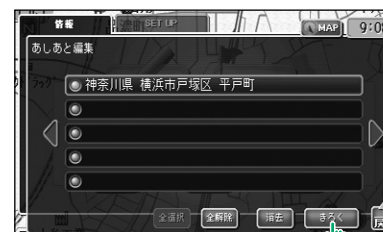
この操作までの流れ

1

を選択します

2

メモリ地点に登録したい地点を選択します

- （オレンジ）は選択を、（グレー）は非選択を表しています。
- 目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、または を選択してください。

3

きろく を選択します

4

選択した場所の位置を確認し、決定 を選択します

メモリ登録が終了し、手順2の画面に戻ります。

END

Memo

- 過去に到達した複数の場所を、同時にメモリ地点に登録することはできません。
- 過去に到着した場所の名称は、「記録した場所を編集する」（➡P.7-4）で変更することができます。

過去に到着した場所を消去する

過去に到着した場所を消去できます。

Step この操作までの流れ

1

あしあと編集 を選択します

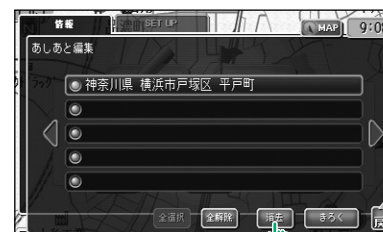
2

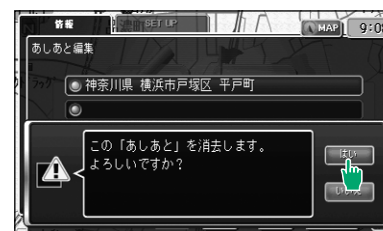
消去したい地点を選択します

- （オレンジ）は選択を、（グレー）は非選択を表しています。
- 目的の地点が表示されていない場合は、表示されるまで、◀または▶を選択してください。

Hint

- 全選択 を選択すると、すべての項目が選択されます。
- 全解除 を選択すると、すべての項目が解除されます。

3

消去 を選択します

4

はい を選択します

選択された地点が消去され、手順2の画面に戻ります。過去に到着した場所をすべて消去した場合は、手順1の画面に戻ります。

Hint

- 消去を中止する場合は、いいえ を選択します。

END

Memo

- 過去に到着した場所は、最大20件まで記憶されます。20件を越えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 消去した地点は元には戻せません。慎重に操作してください。

タッチゲームで遊ぶ

タッチゲーム（リバーシブル／神経衰弱）で遊ぶことができます。

この操作までの流れ

1

を選択します

2

遊びたいゲームを選択します

3

ゲームをプレイします

END

8 お好みのナビに設定する

ここでは、ナビ機能の詳細な設定を行うための操作方法について説明します。

■ ナビ設定メニューについて P.8-2
ナビ設定メニューを表示する P.8-2

■ 地図画面の表示を設定する P.8-4
地図画面の表示を設定する P.8-4
地図画面の色調を設定する P.8-6
地図画面の角度を設定する P.8-7
ランドマーク表示を設定する P.8-8

■ ルート案内時の動作を設定する P.8-10
ルート案内時の動作を設定する P.8-10

■ナビ機能を設定する P.8-12
ナビ機能を設定する P.8-12
車両の情報を設定する P.8-14
本体の動作状態を確認する P.8-15
パルス情報をリセットする P.8-17
現在地を補正する P.8-18

ナビ設定メニューを表示する

ナビ設定メニューでは、案内中の各種動作、地図画面の表示設定、ランドマーク表示の設定や、その他のナビ機能などを設定できます。

1

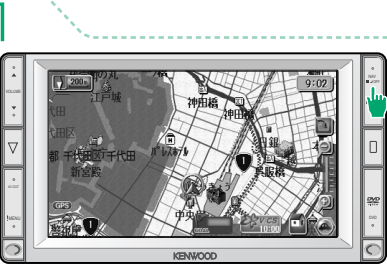
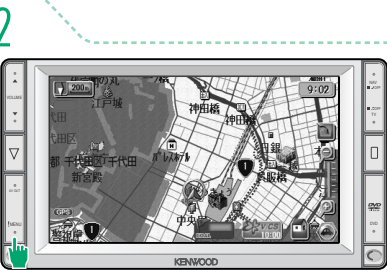
NAV キーを押します

2

MENU キーを押します

3

ナビ設定 を選択します

4

設定したい項目を選択します

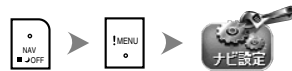
各項目の内容は次の通りです。

ボタン	機能	参照ページ
地図表示設定	地図画面の表示、地図の角度調整やランドマーク表示など、地図表示の設定ができます。	P.8-4～ P.8-8
案内設定	案内中の運転アドバイスの設定、交差点案内表示の設定やGOALプレート表示設定など、案内中の動作の設定ができます。	P.8-10
機能設定	自車の車両情報の登録や、車速パルスの設定など、ナビの設定ができます。	P.8-12～ P.8-18

END

地図画面の表示を設定する

地図画面の表示、地図の角度調整やランドマーク表示など、地図表示の設定ができます。

Step この操作までの流れ

1

を選択します

2

設定したい内容を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
- 目的の項目が表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- 次回地図表示設定を行う場合は、前回設定した項目の画面が表示されます。
- 地図画面表示の設定項目の内容は次ページの通りです。なお、「地図角度」の角度調整と「ランドマーク表示」設定の詳しい操作方法は、参照ページをご覧ください。

Hint

- 案内設定 を選択すると、ルート案内の動作設定画面（➡P.8-10）を表示します。
- 機能設定 を選択すると、ナビ機能の設定画面（➡P.8-12）を表示します。

項目	選択肢	内容	備考
地図の見え方	1画面	地図画面を1画面で表示します。	ランクメニューのショートカットボタンを選択して切り替えることもできます（➡P.1-9）。
	2画面	地図画面を2画面に分割して表示します。	
地図色	自動	ライトの点灯に連動して、昼画面と夜画面が自動的に切り替わります。	—
	昼固定	常に昼画面が表示されます。	
	色調設定	地図の色調を3つのパターンから選べます（➡P.8-6）。	
地図角度	2D	地図画面が2Dで表示されます。	ランクメニューのショートカットボタンを選択して切り替えることもできます（➡P.1-9）。
	3D	地図画面が3Dで表示されます。	
	角度調整	地図画面を3Dに設定した場合、地図画面の角度を調整できます（➡P.8-7）。	
地図の向き	進行方向上	「進行方向」を常に画面の上方向にして表示します。	—
	北上	「北」を常に画面の上方向にして表示します。	
地図スクロール	自動	スクロール地図画面を現在地画面と同じ表示方法で表示します。	—
	2D	スクロール地図画面を常に2Dで表示します。	
きろくした場所名表示	ON	メモリ地点の名称を地図画面上に表示します。	—
	OFF	表示しません。	
3Dランドマーク	ON	3Dランドマークを地図画面上に表示します。	—
	OFF	表示しません。	
ランドマーク表示	—	地図画面上に表示させるランドマークの種類（コンビニやガソリンスタンドなど）を設定できます（➡P.8-8）。	

■ はお買い上げ時の設定状態です。

3

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

地図画面の色調を設定する

地図表示の色調を「うららか」「さわやか」「すずしげ」の3種類の中から設定できます。お買い上げ時は「すずしげ」に設定されています。

Step この操作までの流れ

1

「地図色」の 色調設定 を選択します

2

お好みの色調を選択します

Hint

●昼画面の設定時は、画面下に 夜の色を設定 ボタンが表示されます。夜の色を設定 を選択すると、夜画面の色調を設定できます。
●夜画面の設定時は、画面下に 昼の色を設定 ボタンが表示されます。昼の色を設定 を選択すると、昼画面の色調を設定できます。

3

戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

Memo ●地図画面の色調は、昼と夜で別々に設定できます。なお、地図表示設定（➡P.8-5）で、地図色を「昼固定」に設定すると、夜の地図は表示されません。

地図画面の角度を設定する

地図角度を「3D」に設定した場合、角度を「ライト」、「ミドル」、「ディープ」の3種類の中から設定できます。お買い上げ時は「ミドル」に設定されています。

Step この操作までの流れ

1

「地図の角度」の 3D を選択し、続けて 角度調整 を選択します

2

お好みの角度を選択します

● ライト を選択すると、上空から見下ろした角度で表示されます。
● ミドル を選択すると、標準的な位置から見下ろした角度で表示されます。
● ディープ を選択すると、低空から見下ろした角度で表示されます。

3

戻る を選択します

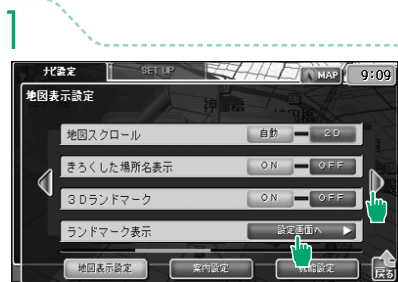
手順1の画面に戻ります。

END

ランドマーク表示を設定する

地図画面上に表示するランドマークを設定できます。

この操作までの流れ

1

▶を選択し、「ランドマーク表示」の 設定画面へ ▶ を選択します

2

施設のジャンルの大分類（食、買など）を選択します

3

施設ジャンルを選択します

- 選択したジャンルのマークが表示されます。（オレンジ）は選択を、（グレー）は非選択を表しています。
- 目的のジャンルが表示されていない場合は、表示されるまで◀または▶を選択してください。
- 複数のジャンルを選択する場合は、手順2と3を繰り返してください。最大5種類まで選択できます。

Hint

- 選択を解除する場合は、解除したいジャンルをもう一度選択します。
- すべての設定を解除する場合は、

全解除 を選択したあとに、続けて はい を選択します。

4

を選択します

ランドマーク表示が設定され、手順1の画面に戻ります。

END

Memo

- ここで設定したランドマークを「地図上のマークを探す」（➡P.2-32）で検索することができます。
- ランドマークが表示されるのは、200m以下のスケールで地図を表示している場合です。
- ランドマークがたくさん表示されている場合は、スクロールの速度が遅くなることや、地図が見づらくなることがあります。

ルート案内時の動作を設定する

案内中の運転アドバイスの設定、交差点案内表示の設定や、GOALプレート表示設定など、案内中の各種動作の設定ができます。

Step この操作までの流れ

1

を選択します

2

設定したい内容を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
- 案内の設定項目の内容は次ページの通りです。

Hint

- 地図表示設定 を選択すると、地図画面の表示設定画面（➡P.8-4）を表示します。
- 機能設定 を選択すると、ナビ機能の設定画面（➡P.8-12）を表示します。

項目	選択肢	内容
交差点拡大図	3D	交差点拡大図を3Dで表示します。
	2D	交差点拡大図を2Dで表示します。
方面看板	ON	方面看板を表示します。
	OFF	表示しません。
運転アドバイスの音声	ON	運転アドバイスを音声案内します。運転アドバイスは、警告地点が近づくと音声と画面表示にて案内する機能です。
	OFF	音声案内しません。
GOALプレート	ON	ルート案内中に、目的地に近づいたとき、自動でGOALプレートを表示します。
	OFF	手動でGOALプレートを表示します。

 はお買い上げ時の設定状態です。

3

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

Memo

- 交差点拡大図を2Dに設定している場合でも、リアル3Dデータ（実写に近い3D地図データ）がある場合はリアル3Dで表示されます。
- GOALプレート表示は、ルート案内中に目的地付近に近づいたときに表示されます（➡P.4-6）。

ナビ機能を設定する

自車の車両情報の登録や、車速パルスの設定など、ナビの設定ができます。

Step この操作までの流れ

1

を選択します

2

設定したい項目を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
- 機能の設定項目の内容は、次ページの通りです。なお、「車両情報」、「接続確認」設定の詳しい操作方法は、参照ページをご覧ください。

Hint

- 案内設定 を選択すると、ルート案内の動作設定画面（➡P.8-10）を表示します。
- 地図表示設定 を選択すると、地図画面の表示設定画面（➡P.8-4）を表示します。

項目	選択肢	内容
車両情報	−	車両の情報を設定できます（➡P.8-14）。
最適時間考慮（VF-M77※接続時）	ON	VICSから送信される旅行時間を考慮して、ルートを探索します。
	OFF	考慮されません。
車速パルス	オート	車速パルスを自動で検出し、検出した車速パルスを使用します。
	アナログ	アナログの車速パルスを使用します。
	デジタル	デジタルの車速パルスを使用します。
接続確認	−	本機の各コードや、別売品の接続状況を確認できます（➡P.8-15）。

■ はお買い上げ時の設定状態です。
※VICS光／電波ビーコンユニットVF-M77は、2005年春発売予定です。

3

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

Memo
- 車速パルスの設定を変更すると、学習内容が初期化されます。
- 車速パルスの設定は、通常オートに設定してください。

車両の情報を設定する

通行料金の算出に使用するための車両情報を設定できます。

この操作までの流れ

1

「車両情報」の 設定画面へ を選択します

2

車両の種別を選択します

1　：大型車
3　：普通乗用車
5･7：小型乗用車
軽　：軽自動車

3

戻る を選択します

車両情報が設定され、手順1の画面に戻ります。

END

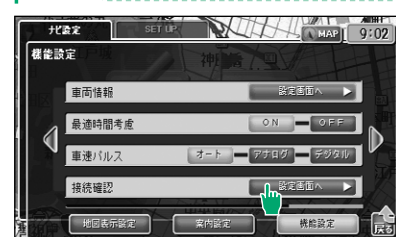
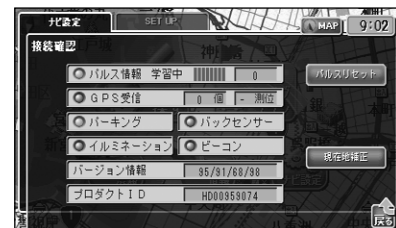
Memo ●ここで設定した車両情報を元に、高速道路などの通行料金が表示されます。

本体の動作状態を確認する

本体への車速パルス、GPSなどの信号の入力状態を確認できます。

この操作までの流れ

1

「接続確認」の 設定画面へ を選択します

2

動作状態を確認します

- （オレンジ）は動作中を、（グレー）は非動作を表しています。
- パルス情報　学習中　0 には車速パルス数（➡P.11-32）と学習状態（学習中または最適学習）が表示されます。
- GPS受信　0 個　- 測位 の個数は測位に利用している受信中のGPS衛星の数です。右側には測位状態（2D（2次元測位）または3D（3次元測位））が表示されます。
- その他、パーキングブレーキ／バックセンサー／イルミネーション／ビーコン接続の状態や、地図ソフトバージョン／製品番号（プロダクトID）の状態を確認できます。

Hint

- タイヤ交換をした場合は、パルスリセット を選択して学習状態をリセットしてください（➡P.8-17）。
- 現在地補正 を選択すると、自車マークの位置を補正できます（➡P8-18）。
- 走行すると車速パルス数は増えていきます。
- パルス情報が増えないときは、走行強制が解除（パーキングブレーキを引いている状態と同じ）された状態になります。

NEXT

3

[戻る] を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

Memo
- 車速パルスの設定（➡P.8-13）を変更すると、車速パルスの学習状態がリセットされます。

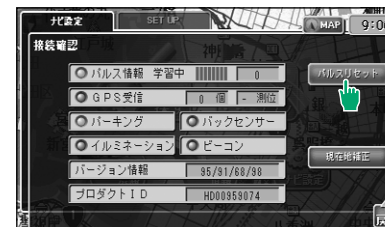
パルス情報をリセットする

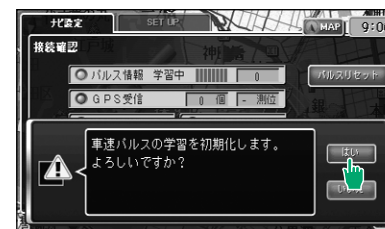
タイヤを交換した場合は、車速パルスの学習状態をリセットして新しいタイヤで学習し直します。

1

[パルスリセット] を選択します

2

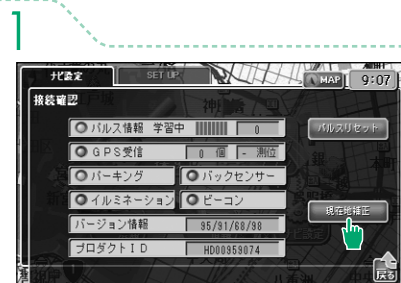
車速パルスの学習を初期化します。
よろしいですか？

[はい] を選択します

車速パルスの学習状態がリセットされ、手順1の画面に戻ります。

END

Memo
- 通常は車速パルスの学習状態をリセットする必要はありません。タイヤ交換を行ったときなどに行ってください。
- 本機では、現在装着されているタイヤでの車速パルス数と、距離の関係が学習され最適化されます。
- 車速パルスの学習状態をリセットすると、自車位置がずれることがあります。車速パルスの学習状態をリセットしたときは、しばらく走行すると新しい車速パルスが学習されます。
- 車速パルスの設定（➡P.8-13）を変更すると、車速パルスの学習状態がリセットされます。

現在地を補正する

GPS衛星の電波を受信できない場合に、地図上の自車マークの位置を指定の位置に合わせることができます。

Step この操作までの流れ

「接続確認」 設定画面へ

1

現在地補正 を選択します

2

探し出す方法を選択します

- 地図から探す場合は、 地図 を選択します。詳しい操作方法は、「地図を表示して探す」➡P.2-22をご覧ください。
- 住所から探す場合は、 住所ピンポイント を選択します。詳しい操作方法は、「住所を選択して探す」➡P.2-7をご覧ください。
- 電話番号から探す場合は、 でんわ を選択します。詳しい操作方法は、「電話番号を入力して施設を探す」➡P.2-11をご覧ください。
- 緯度・経度から探す場合は、 緯度・経度 を選択します。詳しい操作方法は、「緯度と経度を入力して探す」➡P.2-16をご覧ください。

3

現在地をカーソル(⌖)の中央内に入れます

- 地図上の一点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように画面がスクロール(移動)します。
- 画面に表示されている矢印(スクロールボタン)を選択し続けると、矢印の方向に画面が連続してスクロールします。

4

 を選択します

5

矢印を選択して車両の向きを設定します

選択した矢印の方向へ、自車マークが回転します。

NEXT

6

決定 を選択します

現在地補正が設定され、手順１の画面に戻ります。

END

Memo

- GPS衛星の電波を受信して測位が可能になると、補正した現在地は無効になり、GPS衛星のデータを使って算出された位置が現在地となります。
- 現在地を補正しても、マップマッチング（近くの道路上に戻る動作）で位置が変わることがあります。

9 AV機能を使用する

ここでは、本機に装備されたAV（テレビ／オーディオ／ビジュアル）機能の使いかたについて説明します。

■ **AVソースを切り替える　P.9-2**
ハードキーでAVソースを切り替える　P.9-2

■ **テレビを見る　P.9-3**
テレビを見る　P.9-3
テレビの操作画面でできること　P.9-5
選局ボタンの動作モード（シークモード）を設定する　P.9-6
音声多重放送を切り替える　P.9-7
テレビメニューでできること　P.9-8
放送局を登録する（オートプリセット）　P.9-9
現在地エリアの放送局を表示する（エリアモード）　P.9-11
お好みの放送局をプリセットチャンネルに記憶する（マニュアルメモリー）　P.9-13
アナログ放送からデジタル放送への移行について　P.9-15

■ **DVDを見る　P.9-17**
DVDを見る　P.9-17
DVDの操作画面でできること　P.9-19
映像をズームする　P.9-20
ディスクメニューを表示して再生する　P.9-21
早送り／早戻しする　P.9-23
スロー再生する　P.9-24
コマ送り／戻しで再生する　P.9-25
DVD VIDEOメニューでできること　P.9-26
リピート再生をする　P.9-28
音声言語／字幕言語を切り替える　P.9-29
タイトルをサーチして再生する　P.9-30
ダイナミックレンジを切り替える　P.9-31

■**CDを聴く　P.9-32**
CDを再生する　P.9-32
CDメニューでできること　P.9-34
トラックリストから選曲する　P.9-35
ランダムに曲を再生する　P.9-36
リピート再生する　P.9-37
スキャン再生する　P.9-38
早送り／早戻しする　P.9-39

■ **MP3/WMAディスクを再生する　P.9-40**
MP3/WMAを再生する　P.9-40
MP3/WMAメニューでできること　P.9-42
フォルダ／ファイルリストから選曲する　P.9-44
ランダムに曲を再生する　P.9-46
リピート再生する　P.9-47
スキャン再生する　P.9-48
早送りする　P.9-49

■ **iPodの曲を再生する　P.9-50**
iPodの曲を再生する　P.9-50
iPodメニューでできること　P.9-52
トップカテゴリから選曲する　P.9-54
リスト表示から選曲する　P.9-57
リピート再生する　P.9-58
スキャン再生する　P.9-59
ランダムに曲を再生する　P.9-60
早送り／早戻しする　P.9-61

■ **リアモニター（別売品）で映像を見る　P.9-62**
リアモニターに映像を映す　P.9-62

■ **外部ビデオ／外付け装置の映像を表示する　P.9-63**
外部ビデオの映像を表示する　P.9-63
外部オーディオの音声を出力する　P.9-64
リアビューカメラの映像を表示する　P.9-65

ハードキーでAVソースを切り替える

AVソースの切り替えは、[■♬OFF TV]キーと[DVD]キーで行います。また、リアモニター（別売品）のソースの切り替えは[AV OUT]キーで行います。

各キーの詳しい内容については、下記の表をご覧ください。

キー名	内容		参照ページ
[■♬OFF TV]	フロントモニターにテレビの映像が表示されます。		P.9-3
	[■♬OFF TV]キーを2秒以上押すと、AVソースをOFFにします。AVソースがOFFになると、フロントモニターの映像と音声が消去され、ナビの現在地画面が表示されます。もう一度[■♬OFF TV]キーを押すとテレビの画面が表示されます。		－
[DVD]	挿入されているディスク（DVD、CD、MP3/WMA）やiPodの曲が再生されます。	DVD	P.9-17
		CD	P.9-32
		MP3/WMA	P.9-40
		iPod	P.9-50
[AV OUT]	リアモニターに映像を映します。 また、押すごとにリアモニターのソース（テレビ、AV機能など）が切り替わります。		P.9-62

Memo ● [NAV ■♪OFF]キーを押すと、現在地画面が表示されます。また、[NAV ■♪OFF]キーを約2秒以上押すと映像のみOFFになります。もう一度[NAV ■♪OFF]キーを押すとナビの画面が表示されます。

テレビを見る

[■♬OFF TV]キーを押すことにより、テレビを見ることができます。

テレビの映像は、停車中にご覧になることができます。

1

[■♬OFF TV]キーを押します

現在選択されている放送局の映像画面が表示されます。

- 現在選択されている放送局の映像が表示され、画面の下にはチャンネルの情報が数秒間表示されます。チャンネルの情報には、選択されているプリセット番号、チャンネル番号、放送局名、ステレオ放送受信状態、音声（主／副）状態、シークモード状態やエリア設定状態が表示されます。
- 画面の右側を選択するとチャンネルがアップし、左側を選択するとチャンネルがダウンします。何も操作をしないとチャンネル情報が消去され、選択されているチャンネルの映像のみが表示されます。

Hint

- 画面中央部を選択すると、テレビの操作画面が表示されます。テレビの操作画面ではチャンネル番号のアップ／ダウン選局、音声（主音声／副音声）切替やシークモードの設定など、テレビ操作に必要なボタンなどが表示されます。詳しい操作方法は、「テレビの操作画面でできること」➡P.9-5をご覧ください。

END

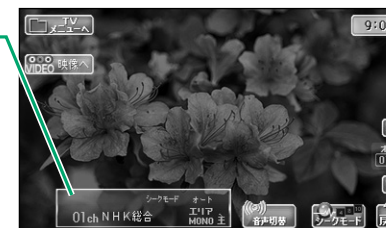
- 走行中の安全を保つため、走行中は以下の画面が表示されます。

走行中は
音声のみをお楽しみください。

- 音量はボリュームキーで調整（ ：大きく、 ：小さく）します。
- キーを押すと、現在地画面が表示されます。現在地画面で が表示されるまでくるくるボタンを選択すると、現在地画面を表示しながらテレビの操作が行えます（➡P.1-14）。
- 映りが悪い場合は、シークモードを「オート」に設定（➡P.9-6）してください。受信可能な放送局を自動で選局することができます。
- リアモニター（別売品）を接続しているときは、走行中もリアモニターでテレビを見ることができます（➡P.9-62）。
- 現在地画面に戻る場合は キーを、AV機能（DVD、CD、MP3/WMA、iPod）を再生する場合は キーを押します。
- テレビの画質を設定する場合は、テレビの映像画面で キーを押し、 を選択してSET UPメニューで設定してください（➡P.10-4）。

テレビの操作画面でできること

テレビ画面で画面中央部を選択すると、テレビの操作画面が表示されます。
テレビの操作画面では、チャンネル番号のアップ／ダウン選局、音声（主音声／副音声）切替、シークモードの設定など、テレビ操作に必要なボタンが表示されます。
テレビの操作画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、下記の表をご覧ください。

テレビの情報表示
選択されているプリセット番号、チャンネル番号、放送局名、ステレオ放送受信状態、音声（主／副）状態、シークモード状態やエリア設定状態が表示されます。

チャンネル番号 シークモード表示
設定されているシークモードと、選択されているチャンネル番号が表示されます。

テレビの操作画面

アイコン	ボタン名	内容	参照ページ
	チャンネル選局ボタン(アップ)	放送局の選局をするボタンです。シークモードの設定（➡P.9-6）により動作が異なります。	–
	チャンネル選局ボタン(ダウン)	**プリセット時：** 登録されている放送局のプリセット番号をアップ／ダウンして選局します。 **オート 時：** 受信可能な放送局が自動的に選局されます。 **マニュアル 時：** あらかじめ決められているチャンネル（ch1～ch62）を1チャンネルずつアップ／ダウンして選局します。 または を選択し続けると連続してチャンネルがアップ／ダウンします。	
	シークモードボタン	放送局選局ボタン（ ）の動作を設定できます。 を選択するたびに、オート→プリセット→マニュアルの順に切り替わります。	P.9-6
	音声切替ボタン	音声多重放送の主音声／副音声を切り替えます。 を選択するたびに、主音声と副音声に切り替わります。	P.9-7
	TVメニューボタン	テレビメニュー画面が表示されます。テレビメニュー画面では、プリセット番号などの設定ができます。	P.9-8
	VIDEO（AUX)映像へボタン	外部装置（ビデオ、AUX）の映像に切り替わります。	P.9-63

選局ボタンの動作モード（シークモード）を設定する

放送局選局ボタン（▲ ▼）の動作を設定できます。

Step この操作までの流れ

TV ▶ 画面中央部

1

シークモード を選択します

シークモード を選択するたびに、オート→プリセット→マニュアルの順に切り替わり、情報表示画面とシークモード表示画面に設定されたモードが表示されます。

Hint

● 戻る を選択するとテレビ画面に戻ります。

END

Memo

● シークモードによる放送局選局ボタン（▲ ▼）の動作は、次の通りです。

モード	動作
オート	放送局が分からない場合は「オート」に設定してください。 ▲ または ▼ を選択するたびに、受信可能な放送局が自動的に選局されます。
プリセット	あらかじめ登録した（オートプリセットまたはマニュアルメモリー）放送局をご覧になる場合は、「プリセット」に設定し、エリアモードを選択して ●（グレー）にしてください。▲ または ▼ を選択すると、登録されている放送局を順に選局します。 また、あらかじめ市区町村ごとに登録された放送局から選局する場合は、エリアモードを選択 ●（オレンジ）にしてください（➡P.9-11）。
マニュアル	お好みの放送局を１チャンネルずつ確認しながら選局したい場合は、「マニュアル」に設定してください。▲ または ▼ を選択すると、チャンネル（ch1〜ch62）を、１チャンネルずつ選局します。

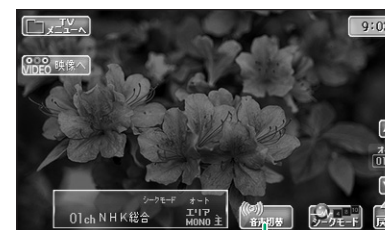
● お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

音声多重放送を切り替える

音声多重放送の主音声／副音声を切り替えます。

Step この操作までの流れ

TV ▶ 画面中央部

1

音声切替 を選択します

音声切替 を選択するたびに、主音声と副音声が切り替わり、情報表示画面に設定された音声が表示されます。

Hint

● 戻る を選択するとテレビ画面に戻ります。

END

Memo

● 音声多重放送を受信していないときは、副音声に切り替えても主音声と同じ音声になります。

テレビメニューでできること

テレビの操作画面で、［TVメニューへ］を選択すると、テレビメニュー画面が表示されます。
テレビメニュー画面では、オートプリセット、エリアモードやマニュアルメモリーなどの設定ができます。
テレビメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、下記の表をご覧ください。

選択されているプリセット番号、チャンネル番号や放送局名が表示されます。

プリセットチャンネル表示

テレビメニュー画面

ボタン	ボタン名	内容	参照ページ
［オートプリセット］	オートプリセットボタン	受信可能な放送局を、最大8局までプリセットに登録します。	P.9-9
［エリアモード］（オレンジ）	エリアモードボタン	現在地のエリアで受信できる放送局を、市区町村ごとに登録されている放送局から選局することができます。	P.9-11
［▲］	放送局選局ボタン（アップ）	放送局の選局をするボタンです。シークモードの設定（➡P.9-6）により動作が異なります。	–
［▼］	放送局選局ボタン（ダウン）		
［シークモード］	シークモードボタン	放送局選局ボタン（▲ ▼）の動作を設定できます。［シークモード］を選択するたびに、オート→プリセット→マニュアルの順に切り替わります。	P.9-6
［音声切替］	音声切替ボタン	音声多重放送の主音声／副音声を切り替えます。［音声切替］を選択するたびに、主音声と副音声に切り替わります。	P.9-7
［VIDEO 映像へ］	映像へボタン	外部装置（ビデオ、AUXやリアビューカメラ）の映像へ切り替わります。	P.9-63

Memo

- ［TV］キーを押したあとに［MENU］キーを押して、テレビメニュー画面を表示することもできます。
- 地上デジタルテレビ放送が開始されている地域は、表示されている放送局の名称と実際に受信した放送局が異なる場合があります。そのような場合はシークモードをマニュアルにして放送局を合わせてください。
- エリアモードが（グレー）を選択中は、あらかじめ登録されている放送局から選局することができます。（オートプリセットやマニュアルメモリーで変更ができます）

放送局を登録する（オートプリセット）

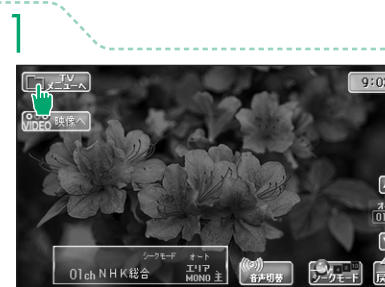
受信可能な放送局を、最大8局までプリセットに登録します。

この操作までの流れ

画面中央部

1

［TVメニューへ］を選択します

2

プリセットチャンネル表示

［オートプリセット］を選択します

- 受信可能なチャンネルが自動で切り替わり、受信できたチャンネルが8局までプリセット番号に登録されます。プリセットチャンネルには、登録された放送局のチャンネル番号、放送局名とプリセット番号が表示されます。
- プリセットチャンネルのボタンを選択すると、選択したボタンのプリセット番号、チャンネル番号と放送局名が画面上部に表示されます［❶ 1ch NHK総合］。
- お買い上げ時に記録されているプリセットチャンネルは次の通りです。

プリセット番号	1	2	3	4	5	6	7	8
放送局のチャンネル番号	1	4	6	8	9	10	12	62

NEXT

Hint

- プリセットチャンネルのボタンを選択し、TVキーを押すと選択されている放送局の映像が表示されます。
- 現在地エリアであらかじめ登録されている放送局を表示する場合（エリアモード（➡P.9-11））は、エリアモードを選択（（オレンジ））します。
- を選択すると、テレビの映像画面に戻ります。

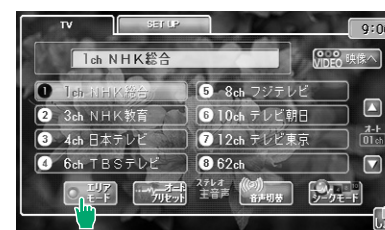
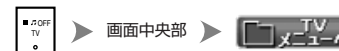
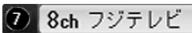
Memo

- エリアによっては8局プリセットされないこともあります。
- オートプリセットはエリアモードを選択中（（オレンジ））は選択できません（➡P.9-11）。
- エリアモードを選択して、現在地エリアであらかじめ登録されている放送局をプリセットチャンネルに表示することもできます（➡P.9-11）。
- お好みの放送局をプリセットチャンネルに記憶させることもできます（➡P.9-13）。
- プリセットチャンネルに表示できるテレビ局の数は、エリアモードの8局と、オートプリセットまたはマニュアルメモリーの8局です。
- オートプリセットを行うと、それまで登録した放送局はなくなります。
- オートプリセットが終了するまで、時間がかかることがあります。
- TVキーを押したあとにMENUキーを押して、手順2の画面を表示することもできます。
- 現在地によっては異なった放送局が表示されたり、放送局名が表示されないことがあります。

END

現在地エリアの放送局を表示する（エリアモード）

現在地エリアであらかじめ市区町村ごとに登録されている放送局を最大8局まで表示します。

1

プリセットチャンネル表示

エリアモードを選択します

- （オレンジ）にすると、エリアモード中となり、現在地エリアで登録されている放送局が、最大8局まで、プリセットチャンネルに表示されます。

- プリセットチャンネルには、放送局のチャンネル番号、放送局名とプリセット番号が表示されます。
- プリセットチャンネルのボタンを選択すると、選択したボタンのプリセット番号、チャンネル番号と放送局名が画面上部に表示されます 7 8ch フジテレビ 。

Hint

- プリセットチャンネルのボタンを選択し、TVキーを押すと選択されている放送局の映像が表示されます。
- オートプリセットやマニュアルメモリーで登録した放送局を表示する場合は、エリアモードを選択（グレー）します。
- を選択すると、テレビの映像画面に戻ります。

END

Memo
- 受信状態によっては8局表示されないこともあります。
- プリセットチャンネルに表示できるテレビ局の数は、エリアモードの8局と、オートプリセットまたはマニュアルメモリーの8局の合計16局です。
- TV キーを押したあとに MENU キーを押して、手順1の画面を表示することもできます。
- 現在地によっては異なった放送局が表示されたり、放送局名が表示されないことがあります。
- 地上デジタルテレビ放送が開始されている地域では、一部の地域では従来のアナログテレビ放送のチャンネルが変更され、メモリで選局したチャンネルを受信できなくなることがあります。この場合、オートプリセットまたはマニュアルメモリーでメモリし直してください。また、放送局名が正しく表示されなくなることもあります。
- オートプリセットの収録放送局は、2004年9月時点での情報に基づいて収録されています。テレビ放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

お好みの放送局をプリセットチャンネルに記憶する（マニュアルメモリー）

お好みの放送局を、プリセットチャンネルに記憶させることもできます。

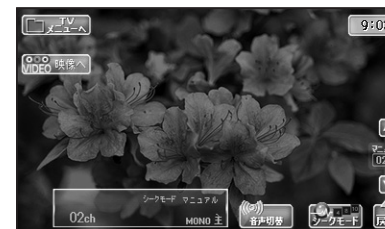
Step この操作までの流れ

 画面中央部

1 お好みの放送局を選局します

2 TVメニューへ を選択します

NEXT

3

記憶させたいプリセットチャンネルのボタンを2秒以上選択します

選択したプリセットチャンネルボタンに登録されます。

Hint

- プリセットチャンネルのボタンを選択すると、放送局の映像が表示されます。
- [しまう] を選択すると、テレビの映像画面に戻ります。

END

Memo

- 以前に記憶されていたプリセットボタンの放送局は消去されます。
- 記憶したプリセットチャンネルを呼び出す場合は、手順3でプリセットチャンネルのボタンを選択します。
- [TV] キーを押したあとに [MENU] キーを押して、手順3の画面を表示することもできます。
- 現在地によっては異なった放送局が表示されたり、放送局名が表示されないことがあります。
- 地上デジタルテレビ放送が開始されている地域では、一部の地域では従来のアナログテレビ放送のチャンネルが変更され、メモリで選局したチャンネルを受信できなくなることがあります。この場合、オートプリセットまたはマニュアルメモリーでメモリし直してください。また、放送局名が正しく表示されなくなることもあります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
また、地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

[地上デジタルテレビジョン放送開始に伴うアナログテレビ放送のチャンネル変更に関するお願い]

2003年末から順次、地上デジタルテレビジョン放送が開始されており、それに伴いアナログテレビジョン放送のチャンネル変更が2003年2月9日より一部地域で順次、実施されております。このため、車載用テレビチューナに予めプリセットされているエリア別プリセットチャンネルがチャンネル変更されていた場合に、「エリアモードチャンネルを選択しても受信できない」「放送局名が正しく表示されない」などの現象が起こります。
「エリア別プリセットチャンネルを選択しても受信できない」場合は、マニュアルメモリー（➡P.9-13）をご覧のうえご希望のチャンネルを再設定してください。

地上デジタルテレビジョン放送とアナログテレビジョン放送のチャンネル変更詳細につきましては、下記の総務省関連ホームページ等をご参照ください。（アナログテレビジョン放送のチャンネル変更については各地域受信センターにお問い合わせください。）地上デジタルテレビジョン放送は、本機では受信できません。

＜総務省関連サイト＞
【地上デジタルテレビジョン放送】
http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html
【関東総合通信局（放送部放送課）】
http://www.kanto-bt.go.jp/
【東海総合通信局（放送部放送課）】
http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/
【近畿総合通信局（放送部放送課）】
http://www.ktab.go.jp/
【報道資料アナログ周波数変更の受信対策の開始について】
http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html

＜電波産業会サイト＞
http://www.arib.or.jp/

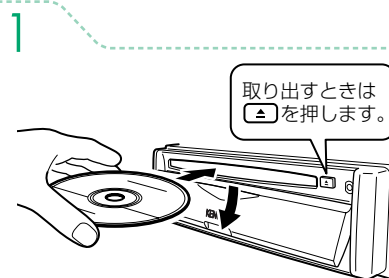
＜JEITA関連サイト＞
http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm

<アナログテレビチャンネル変更対策各地域受信対策センター>

名称	コールセンター	住所	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL :0120-771797 FAX :0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:029-835-8267	〒300-0037 茨城県土浦市桜町 1-16-12 住友生命ビル7F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
栃木地域受信対策センター	TEL :0120-401293 FAX :0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒329-2162 矢板市末広町4-8	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
群馬地域受信対策センター	TEL :0120-357488 FAX :0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:027-210-9381	〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-41-9 尾瀬林業ビル3F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
埼玉地域受信対策センター	TEL :0120-401035 FAX :0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒350-1122 川越市脇田町18-6 川越小川ビル4F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
千葉地域受信対策センター	TEL :0120-401398 FAX :0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒260-0028 千葉市中央区新町 22番地1 新町55ビル4F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL :0120-401350 FAX :0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 1-1-1 新百合ヶ丘シティビルディング4F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
岐阜地域受信対策センター	TEL :0120-124820 FAX :0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:052-968-7300	〒500-8812 岐阜市美江寺町2-3	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
愛知・三重地域受信対策センター	TEL :0120-124826 FAX :0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:052-968-7370	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-6-41 リブビル 5F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL :0120-252639 FAX :0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:075-602-1826	〒612-8386 京都市伏見下鳥羽澱女町13番地 イクタ電気通信3F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL :0120-623522 FAX :0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:06-6920-9276	〒530-0037 大阪市北区松が枝町 3番11号	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
兵庫地域受信対策センター	TEL :0120-540700 FAX :0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:06-6966-7180	〒651-0083 神戸市中央区浜辺通 2-1-30 三宮国際ビル7F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
和歌山地域受信対策センター	TEL :0120-815108 FAX :0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:06-6966-7184	〒648-0073 和歌山県橋本市市脇 1-1-6 紀北川上農業協同組合内	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00
香川地域受信対策センター	TEL :0120-112064 FAX :0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:087-851-7880	〒760-0036 高松市城東町1-6-26 蓮井ビル3F	平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00

DVDを見る

DVDを再生します。
DVDの映像は、停車中にご覧になることができます。

1

レーベル面を上にしてDVDを挿入します

- すでにディスクが挿入されているときに、別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。
- すでにDVDが挿入されている場合は、この操作は不要です。

DVDが再生されます

- DVDの映像が表示され、画面の下にはDVDの情報が表示されます。DVDの情報には、ディスク名称、タイトル番号、チャプター番号、タイムコード、再生状態や再生モードが表示されます。
- 画面の右側を選択すると、チャプターがアップし、左側を選択するとチャプターがダウンします。
- 何も操作をしないと、DVDの映像のみ表示されます。

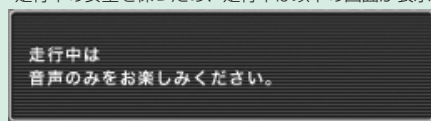
NEXT

Hint

iPod/DISC
切り替え画面

- すでにディスクが挿入されている場合は、テレビ、またはナビ画面を表示中に [DVD] を選択すると、DVDが再生されます。
なお、iPodが接続されている場合は、[DVD] を選択するとiPod／DISC切り替え画面が表示されます。[DVD] で (DISC) に切り替えることによりDVDが再生されます。[DVD] を選択するたびにiPod→DISCの順に切り替わります。
- DVD再生画面の中央部を選択すると、DVDの操作画面が表示されます。DVDの操作画面では、チャプター番号のアップ／ダウン、再生、停止、ポーズ、ズームやアングルの切り替えなど、DVD操作に必要な基本ボタンが表示されます。詳しい操作方法は「DVDの操作画面でできること」➡P.9-19をご覧ください。

END

Memo
- 走行中の安全を保つため、走行中は以下の画面が表示され、映像は表示されません。

走行中は
音声のみをお楽しみください。

- 音量はボリュームキーで調整（[▲]：大きく、[▼]：小さく）します。
- [NAV] キーを押すと、現在地画面が表示されます。現在地画面で (DVD) が表示されるまでくるくるボタンを選択すると、ナビ画面を表示しながらDVDの操作が行えます（➡P.1-14）。
- リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDは再生できません。
- 「視聴制限のレベルを設定する」（➡P.10-23）で設定したレベルより厳しいレベルのディスクを再生しようとすると、パスワードの入力を要求する画面が表示される場合があります。再生する場合はパスワードを入力してください。
- 別売品のリアモニターを接続している場合は、走行中もリアモニターでDVD映像を見ることができます（➡P.9-62）。
- 現在地画面に戻る場合は [NAV] キーを、テレビを見る場合は [TV] キーを押します。
- DVDの画質を設定する場合は、DVDの映像画面で [MENU] キーを押し、[SET UP] を選択してSET UPメニューで設定してください（➡P.10-4）。

DVDの操作画面でできること

DVD画面で画面中央部を選択すると、DVDの操作画面が表示されます。
DVDの操作画面では、チャプターのアップ／ダウン、再生、停止、ポーズ、ズームやアングルの切り替えなど、DVD操作に必要なボタンが表示されます。
DVDの操作画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、下記の表をご覧ください。

DVDの操作画面

ボタン	ボタン名	内容	参照ページ
アングル	アングルボタン	アングルの切り替えが可能な画面で、画面中央部を選択すると表示されます。このときに選択すると、画面表示のアングルが切り替わります。	−
ズーム	ズームボタン	ズームコントロール画面が表示されます。ズームコントロール画面では、DVD映像のズームや移動の設定ができます。	P.9-20
⏮	チャプターダウンボタン	チャプターをダウンします。	−
▶Ⅱ	プレイ／ポーズボタン	DVDを再生します。また再生中は一時停止（ポーズ）します。	−
■	ストップボタン	DVDの再生を停止します。停止中に選択すると、次回再生時はディスクの最初から再生します。	−
⏭	チャプターアップボタン	チャプターをアップします。	−
コントロール	コントロールボタン	メニューコントロール画面が表示されます。メニューコントロール画面では、ディスクのメニューを表示して、見たいところから映像を再生できます。	P.9-21
DVD VIDEO メニューへ	DVD VIDEOメニューへボタン	DVD VIDEOメニュー画面が表示されます。DVD VIDEOメニュー画面では、タイトル／チャプターリピート、字幕／音声切替、再生の早送り／早戻し、チャプター／タイトルの頭出しなどの操作ができます。	P.9-26
もっと	もっとボタン	拡張ボタン画面が表示されます。拡張ボタン画面では、DVDの操作画面で操作できるボタンに加えて、早送り／早戻し再生(➡P.9-23)、スロー再生(➡P.9-24)やコマ送り／戻し再生(➡P.9-25)のボタンを追加表示します。	P.9-23 ～ P.9-25

Memo
- アングルが切り替え可能な画面のときに、アングルマークを表示させることができます（➡P.10-17）。
- アングルの切り替えは、アングルの切り替えが可能なDVDならびにシーンでのみ行えます。

映像をズームする

DVDの操作画面で を選択すると、ズームコントロール画面が表示されます。ズームコントロール画面では、DVD映像をズームして、画面をスクロールすることができます。

Step この操作までの流れ

DVD ▶ 画面中央部

1

ズーム を選択して倍率を選択します

ズーム を選択するたびに、×2→×3→×4→OFFの順に切り替わり、倍率が表示されます。

2

▲ ▼ ◀ ▶ を選択して画面を上下左右にスクロールします

- 選択したボタンの方向に、画面がスクロールします。
- OFFに設定すると、画面スクロールはできません。

Hint

- を選択すると、手順1の画面に戻ります。

END

Memo ●ズームコントロールは、ズームコントロールが可能なシーンでのみ切り替えられます。

ディスクメニューを表示して再生する

DVDの操作画面で コントロール を選択すると、メニューコントロール画面が表示されます。メニューコントロール画面では、ディスクのメニューを表示して、見たいところから映像を再生できます。

Step この操作までの流れ

DVD ▶ 画面中央部

1

コントロール を選択します

2

メニュー（ トップメニュー または メニュー ）を選択します

選択したメニューのメニュー画面が表示されます。

Hint

- 上下左右（ ▲ ▼ ◀ ▶ ）ボタンで、メニューの項目を選び、決定 で選択することができます。
- を選択すると、手順1の画面に戻ります。

END

Memo ●ディスクメニューがない場合は行えません。

Memo ●画面のボタンがメニューと重なって選択しづらい場合は、手順2で を選択するとボタンの配置が変わります。 を選択すると前の配置に戻ります。

早送り／早戻しする

早送り／早戻しできます。

Step この操作までの流れ

DVD ➤ 画面中央部

1

を選択します

拡張ボタン（早送り／早戻し再生ボタン、スロー再生ボタン、コマ送り／戻し再生ボタン）画面が表示されます。

2

または を選択します

- を選択すると、映像が逆方向に早戻しされます。また を選択すると、映像が順方向に早送りされます。
- または を選択するたびに早戻し、または早送りの速度が速くなります（3段階切替）。
- 通常の再生に戻す場合は、 を選択します。

Hint

- を選択すると早戻し／送り、スロー再生、コマ送り再生ボタンは消去されDVDの操作画面に戻ります。
- を選択すると、DVDの映像画面に戻ります。

END

スロー再生する

スロー再生ができます。

Step この操作までの流れ

DVD ▶ 画面中央部

1

を選択します

拡張ボタン（早送り／早戻し再生ボタン、スロー再生ボタン、コマ送り／戻し再生ボタン）画面が表示されます。

2

または を選択します

- を選択すると、映像が逆方向にスロー再生されます。また を選択すると、映像が順方向にスロー再生されます。
- または を選択するたびに、スロー再生の速度が遅くなります（3段階切替）。
- スロー再生を解除する場合は、 を選択します。

Hint

- を選択すると早戻し／送り、スロー再生、コマ送り再生ボタンは消去されDVDの操作画面に戻ります。
- を選択すると、DVDの映像画面に戻ります。

END

コマ送り／戻しで再生する

コマ送り／戻し再生ができます。

Step この操作までの流れ

DVD ▶ 画面中央部

1

を選択します

拡張ボタン（早送り／早戻し再生ボタン、スロー再生ボタン、コマ送り／戻し再生ボタン）画面が表示されます。

2

または を選択します

- を選択するたびに、映像が逆方向にコマ戻し再生されます。また を選択するたびに、映像が順方向にコマ送り再生されます。
- コマ送り／戻しを解除する場合は、 を選択します。

Hint

- を選択すると早戻し／送り、スロー再生、コマ送り再生ボタンは消去されDVDの操作画面に戻ります。
- を選択すると、DVDの映像画面に戻ります。

END

DVD VIDEOメニューでできること

DVDの操作画面で DVD VIDEOメニューへ を選択すると、DVD VIDEOメニュー画面が表示されます。
DVD VIDEOメニュー画面では、タイトル／チャプターリピート、字幕／音声切替、再生の早送り／早戻し、チャプター／タイトルの頭出しなどの操作ができます。
DVD VIDEOメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、次ページの表をご覧ください。

ディスク名称、タイトル番号やチャプター番号が表示されます。
名称が長くてすべての名称が表示されていない場合は、 を選択すると隠れている名称が表示されます。

現在選択されている音声情報が表示されます。

現在選択されている字幕情報が表示されます。

再生状態や再生モードが表示されます。

早送り／早戻しの倍率が表示されます。

DVD VIDEOメニュー画面

ボタン	ボタン名	内容	参照ページ
タイトルリピート	タイトルリピートボタン	タイトルをリピート再生します。	P.9-28
チャプターリピート	チャプターリピートボタン	チャプターをリピート再生します。	P.9-28
音声	音声切替ボタン	複数言語の音声が記録されているときに、音声の言語が切り替わります。	P.9-29
字幕	字幕切替ボタン	複数言語の字幕が記録されているときに、再生字幕の言語が切り替わります。	P.9-29
タイトルサーチ	タイトルサーチボタン	タイトルサーチ画面が表示されます。タイトルサーチ画面では、タイトル番号を選択して選択したタイトルから映像を再生できます。	P.9-30
ダイナミックレンジ	ダイナミックレンジボタン	ダイナミックレンジ画面が表示されます。ダイナミックレンジ画面では、ダイナミックレンジ（最大音声と最小音声の差）の圧縮の有無を設定できます。	P.9-31
	早戻しボタン	逆方向に早戻し再生します。	P.9-23
	早送りボタン	順方向に早送り再生します。	P.9-23
	チャプターダウンボタン	チャプターをダウンします。	–
	プレイ／ポーズボタン	DVDを再生します。また再生中は一時停止（ポーズ）します。	–
	ストップボタン	DVDの再生を停止します。停止中にもう一度選択すると、次回再生時はディスクの最初から再生します。	–
	チャプターアップボタン	チャプターをアップします。	–

リピート再生をする

ディスクのタイトルや、チャプターをリピート再生します。

Step この操作までの流れ

1

タイトルリピート または チャプターリピート を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、現在のタイトルまたは、チャプターを繰り返し（リピート）再生します。
- もう一度 タイトルリピート または、チャプターリピート を選択すると、マーク（グレー）が表示され、リピート再生が解除されます。

Hint

- を選択すると、DVDの映像画面に戻ります。

END

Memo

- 「タイトル」とは、DVDビデオディスクに保存されている映像や、曲を区切る最も大きな単位のことです。また、「チャプター」とは、タイトルの内容を場面や、曲ごとにさらに小さく区切った単位のことです。
- ディスクによっては、リピート再生ができない場合があります。
- DVD キーを押したあとに MENU キーを押して、DVD VIDEOメニュー画面を表示することもできます。ただし、DVDが挿入されていないと、DVD VIDEOメニュー画面は表示されません。

音声言語／字幕言語を切り替える

音声言語や字幕言語を切り替えることができます。

Step この操作までの流れ

DVD ➤ 画面中央部 ➤ DVD VIDEOメニューへ

1

音声または字幕を選択します

音声 を選択するたびに、選択可能な音声が切り替わります。

字幕 を選択するたびに、選択可能な字幕の言語が切り替わります。また、字幕を表示させなくすることもできます。

Hint

- を選択すると、DVDの映像画面に戻ります。

END

タイトルをサーチして再生する

DVD VIDEOメニュー画面で タイトルサーチ を選択すると、タイトルサーチ画面が表示されます。タイトルサーチ画面では、タイトル番号を選択して選択したタイトルから映像を再生できます。

Step この操作までの流れ

1

タイトルサーチ を選択します

2

サーチしたいタイトルを検索します

- +1 または -1 を選択すると、タイトル番号が1つアップ／ダウンします。また、 +10 または -10 を選択すると、タイトル番号が10アップ／ダウンします。
- 選択したタイトル番号が表示されます タイトルNo. 01 。

3

決定 を選択します

再生画面に戻ります。

Hint

- しまう を選択すると、タイトルサーチを中止してDVD VIDEOメニュー画面に戻ります。

END

ダイナミックレンジを切り替える

ドルビーデジタル対応のディスクを再生しているときに、ダイナミックレンジ（最大音声と最小音声の差）を狭くすることができます。
ダイナミックレンジを圧縮すると、小さな音が聞きやすくなります。

Step この操作までの流れ

1

ダイナミックレンジ を選択します

2

設定したいレンジを選択します

各レンジの内容は次の通りです。

WIDE ：ダイナミックレンジを圧縮しないで再生します。
NORMAL ：ダイナミックレンジを圧縮して再生します。
NARROW ：ダイナミックレンジをさらに圧縮して再生します。

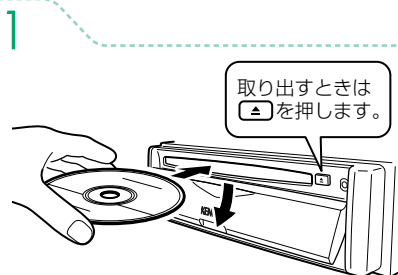
Hint

- しまう を選択すると、ダイナミックレンジが設定されDVD VIDEOメニュー画面に戻ります。
- お買い上げ時は、「WIDE」に設定されています。

END

CDを再生する

CDを再生します。

1

レーベル面を上にしてCDを挿入します

- すでにディスクが挿入されているときに、別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。
- すでにCDが挿入されている場合はこの操作は不要です。

CDメニュー画面

CDが再生されます

CDメニュー画面では、ランダム再生、リピート再生、スキャン再生や早送り／戻し再生の操作ができます。詳しい操作方法は「CDメニューでできること」(➡P.9-34）をご覧ください。

Hint

iPod/DISC
切り替え画面

- すでにディスクが挿入されている場合は、テレビ、またはナビ画面を表示中に [DVD] を選択すると、CDが再生されます。
  なお、iPodが接続されている場合は、[DVD] を選択するとiPod／DISC切り替え画面が表示されます。[DVD] で [DISC] に切り替えることによりCDが再生され、CDメニュー画面が表示されます。
  [DVD] を選択するたびにiPod→DISCの順に切り替わります。

END

Memo

- 音量はボリュームキーで調整（[▲]：大きく、[▼]：小さく）します。
- [NAV] キーを押すと、現在地画面が表示されます。現在地画面で [♪] が表示されるまでくるくるボタンを選択すると、ナビ画面を表示しながらCDの操作を行えます（➡P.1-14）。
- 現在地画面に戻る場合は [NAV] キーを、テレビを見る場合は [TV] キーを押します。

CDメニューでできること

CDが挿入されているときに MENU を押すと、CDメニュー画面が表示されます。

CDメニュー画面では、ランダム再生、リピート再生、スキャン再生や早送り／早戻し再生の操作ができます。
CDメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、下記の表をご覧ください。

トラック名称、トラック番号が表示されます。トラック名称が長くてすべての名称が表示されていない場合は、 を選択すると隠れている名称が表示されます。

再生状態や再生モードが表示されます。

CDメニュー画面

ボタン	ボタン名	内容	参照ページ
ランダム	ランダムボタン	ディスク内の曲をランダムに再生します。	P.9-36
トラックリピート	トラックリピートボタン	再生中の曲を繰り返し（リピート）再生します。	P.9-37
スキャン	スキャンボタン	曲の先頭部分を約10秒間だけ順番に再生（スキャン再生）し、お好みの曲を探せます。	P.9-38
	早戻しボタン	逆方向に早戻しします。	P.9-39
	早送りボタン	順方向に早送りします。	P.9-39
	トラックダウンボタン	トラックをダウンします。	–
	プレイ／ポーズボタン	CDを再生します。また再生中は一時停止（ポーズ）します。	–
	ストップボタン	CDの再生を停止します。停止中にもう一度選択すると、次回再生時はディスクの最初から再生します。	–
	トラックアップボタン	トラックをアップします。	–
リストを見る	リストを見るボタン	リスト表示画面が表示されます。リスト表示画面では、ディスクに記録されているトラックリストを選択して再生することができます。	P.9-35

トラックリストから選曲する

トラック（曲）のリストを表示して、お好みの曲を再生できます。

Step この操作までの流れ

1

リストを見る を選択します

2

選曲したい項目を選択します

- 選択した項目が再生され、リストの左に マークが表示されます。
  目的の項目が表示されていない場合は、表示されるまで または を選択してください。
- 選択した項目の名称とトラック番号が表示エリア に、再生状態、タイムコードと再生モードが、状態表示エリア に表示されます。

Hint

- 戻る を選択すると、手順１の画面に戻ります。

END

Memo

- 選択した曲の再生が終了すると、次の曲の再生が始まります。選択した曲を繰り返し再生したい場合は、リピート再生（➡P.9-37）を設定してください。
- ランダム再生中およびスキャン再生中は、トラックリストからの選曲はできません。

ランダムに曲を再生する

ディスク内の曲をランダムに再生します。

1

ランダム を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、ディスク内の曲がランダムに再生されます。
- もう一度 ランダム を選択すると、 マーク（グレー）が表示され、ランダム再生が解除されます。

END

Memo ●ランダム再生中は、トラックリストからの選曲はできません。

リピート再生する

再生中の曲を繰り返し再生します。

1

トラックリピート を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、再生中の曲をリピート再生します。
- もう一度 トラックリピート を選択すると、 マーク（グレー）が表示され、リピート再生が解除されます。

Hint

- トラックリストから選曲する場合は、 リストを見る を選択します（➡P.9-35）。

END

スキャン再生する

曲の先頭部分を約10秒間ずつ順番に再生します。聴きたい曲を探すのに便利です。

Step この操作までの流れ

DVD ➤ MENU

1

スキャン を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、スキャン再生を開始します。
- もう一度 スキャン を選択すると、 マーク（グレー）が表示され、スキャン再生が解除されます。

END

Memo
- すべての曲のスキャン再生が終了すると、スキャンは解除され最初にスキャン再生した曲を再生します。
- スキャン再生中は、トラックリストからの選曲はできません。

早送り／早戻しする

早送り／早戻しができます。

Step この操作までの流れ

DVD ➤ MENU

1

◀◀ または ▶▶ を選択します

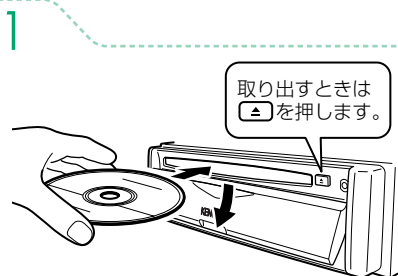
- ◀◀ を選択すると逆方向に早戻しされます。また、 ▶▶ を選択すると順方向に早送りされます。
- 通常の再生に戻す場合は、 ▶II を選択します。

END

Memo
- 早送り/早戻し中は音声は出力されません。

MP3/WMAを再生する

MP3およびWMA形式の音楽ファイルを、記録したディスクを再生するときは、次の操作で再生します。

1

MP3/WMAメニュー画面

レーベル面を上にしてディスクを挿入します

重要

- すでにディスクが挿入されているときに、別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。
- すでにディスクが挿入されている場合はこの操作は不要です。

MP3/WMAが再生されます

MP3/WMAメニュー画面では、ランダム再生、フォルダリピート再生、ファイルリピート再生、スキャン再生や早送り再生の操作ができます。詳しい操作方法は「MP3/WMAメニューでできること」(➡P.9-42)をご覧ください。

Hint

iPod/DISC
切り替え画面

- すでにディスクが挿入されている場合は、テレビ、またはナビ画面を表示中に DVD を選択すると、MP3/WMAが再生されます。
  なお、iPodが接続されている場合は、 DVD を選択するとiPod／DISC切り替え画面が表示されます。
  DVD で に切り替えることによりMP3/WMAが再生され、MP3/WMAメニュー画面が表示されます。 DVD を選択するたびにiPod→DISCの順に切り替わります。

END

Memo

- 音量はボリュームキーで調整（ ：大きく、 ：小さく）します。
- NAV キーを押すと、現在地画面が表示されます。現在地画面で が表示されるまでくるくるボタンを選択すると、ナビ画面を表示しながらMP3/WMAの操作が行えます(➡P.1-14)。

MP3/WMAメニューでできること

MP3/WMAディスクが挿入されているときに MENU を押すと、MP3/WMAメニュー画面が表示されます。

MP3/WMAメニュー画面では、ランダム再生、フォルダリピート再生、ファイルリピート再生、スキャン再生や早送り再生の操作ができます。

MP3/WMAメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、次ページの表をご覧ください。

フォルダ名称、タイトル名称、アーティスト名称やアルバム名称が表示されます。
名称が長くてすべての名称が表示されていない場合は、を選択すると隠れている名称が表示されます。

再生状態や再生モードが表示されます。

MP3/WMAメニュー画面

ボタン	ボタン名	内容	参照ページ
ランダム	ランダムボタン	フォルダ内の曲をランダムに再生します。	P.9-46
ファイルリピート	ファイルリピートボタン	再生中のファイルを繰り返し再生します。	P.9-47
フォルダリピート	フォルダリピートボタン	再生中のフォルダ内を繰り返し再生します。	P.9-47
スキャン	スキャンボタン	音楽ファイルの先頭部分を約10秒間ずつ順番に再生し、お好みの曲を探すことができます。	P.9-48
	早送りボタン	早送り再生ができます。	P.9-49
	フォルダダウンボタン	フォルダをダウンします。	–
	フォルダアップボタン	フォルダをアップします。	–
	ファイルダウンボタン	ファイルをダウンします。	–
	プレイ／ポーズボタン	MP3/WMAを再生します。また再生中は一時停止（ポーズ）します。	–
	ストップボタン	MP3/WMA の再生を停止します。停止中にもう一度選択すると、次回再生時はディスクの最初から再生します。	–
	ファイルアップボタン	ファイルをアップします。	–
リストを見る	リストを見るボタン	リスト表示画面が表示されます。リスト表示画面では、ディスクに記録されているフォルダ／ファイルリストを選択して再生することができます。	P.9-44

フォルダ／ファイルリストから選曲する

フォルダ／ファイルのリストを表示して、お好みの曲を再生できます。

1

リストを見る を選択します

2

選択 を選択します

フォルダが1つしかない場合は、 選択 は選択できません。

3

再生したいファイルがあるフォルダを選択します

再生したいフォルダが表示されていない場合は、表示されるまで ◁ または ▷ を選択してください。

4

フォルダ再生 を選択します

選択していたフォルダの最初のファイルが再生されます。

Hint

- を選択すると、ルートフォルダへ移動します。
- を選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。
- を選択すると、再生中のフォルダリスト画面に移動します。

アイコンの説明

- ：再生可能ファイルなし 下の階層にフォルダなし
- ：再生可能ファイルあり 下の階層にフォルダなし
- ：再生可能ファイルなし 下の階層にフォルダあり
- ：再生可能ファイルあり 下の階層にフォルダあり

5

再生したいファイルを選択します

- 再生したいファイルが再生され、リストの左に ♪ マークが表示されます。
- 目的のファイルが表示されていない場合は、表示されるまで ◁ または ▷ を選択してください。
- 選択したファイル／タイトル名称、フォルダ番号とファイル番号がファイル表示エリア に、フォルダ名称がフォルダ表示エリア に、再生状態、タイムコードと再生モードが状態表示エリア（ ）に表示されます。

Hint

- を選択すると、再生中のファイルのリスト画面に移動します。
- を選択すると、手順1の画面に戻ります。

END

Memo ●ランダム再生中およびスキャン再生中は、ファイルリストの選曲はできません。

ランダムに曲を再生する

フォルダ内のすべての曲をランダムに再生します。

1

ランダム を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、フォルダ内の曲がランダムに再生されます。
- もう一度 ランダム を選択すると、 マーク（グレー）が表示され、ランダム再生が解除されます。

END

- 再生中のフォルダ内のすべてのファイルを再生し終わると、次のフォルダのランダム再生をします。
- ランダム再生中は、ファイルリストからの選曲はできません。

リピート再生する

再生中のファイルまたは、フォルダを繰り返し再生します。

1

ファイルリピート または フォルダリピート を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、再生中のファイルまたは、再生中のフォルダ内のファイルを繰り返し再生します。
- もう一度 ファイルリピート または フォルダリピート を選択すると、 マーク（グレー）が表示され、リピート再生が解除されます。

END

スキャン再生する

フォルダ内のMP3/WMAファイルの先頭部分を、約10秒間ずつ順番に再生します。聴きたい曲を探すのに便利です。

Step この操作までの流れ

1

スキャン を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、スキャン再生を開始します。
- もう一度 スキャン を選択すると、 マーク（グレー）が表示され、スキャン再生が解除されます。

END

Memo
- 再生中のフォルダ内のファイルのみスキャン再生します。
- フォルダ内のすべてのMP3/WMAファイルのスキャン再生が終了すると、スキャンは解除され最初にスキャン再生した曲を再生します。
- スキャン再生中は、ファイルリストからの選曲はできません。

早送りする

早送りできます。

1

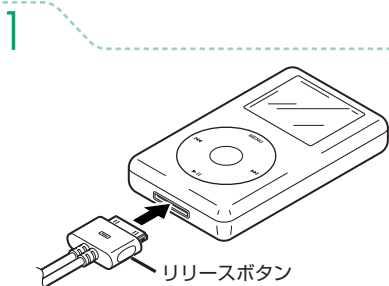
を選択します

- を選択すると順方向に早送りされます。
- 通常の再生に戻す場合は、 を選択します。

END

iPodの曲を再生する

iPod（市販品）の曲を再生するときは、次の操作で再生します。

1

iPod接続ケーブルKNA-i77（別売品）のコネクタをiPodに接続します

- 接続確認音（「ピッピッ」）が鳴ります。確認音が鳴らない場合は、正しく接続されていない可能性があります。もう一度接続し直してください。
- iPodをKNA-i77に接続している間や取り外した直後など、iPodに「KENWOOD」と表示されている間は、iPodの操作ができません。
- iPodをKNA-i77から取り外すときは、iPodのディスプレイに接続解除可能のメッセージが表示されていることを確認してから、外してください。（接続解除のメッセージは、iPodの言語設定により異なります）

- iPodを取り外すときは、iPod Dockコネクタ両端のリリースボタンを押しながら取り外してください。無理に取り外そうとすると、iPodのコネクタとiPod Dockコネクタが損傷する場合があります。

iPodメニュー画面

iPodメニューが表示され、iPodの曲が再生されます

iPodメニュー画面では、アルバムランダム再生や曲ランダム再生、リピート再生、スキャン再生の操作ができます。詳しい操作方法は「iPodメニューでできること」（➡P.9-52）をご覧ください。

Hint

iPod/DISC
切り替え画面

- すでにiPodが接続されている場合は、テレビ、またはナビ画面を表示中に DVD を選択すると、iPodの曲が再生されます。
  なお、本機にDVD、CD、またはMP3/WMAのディスクが挿入されている場合は、DVD を選択するとiPod／DISC切り替え画面が表示されます。DVD で iPod に切り替えることによりiPodが再生され、iPodメニュー画面が表示されます。DVD を選択するたびにiPod→DISCの順に切り替わります。

END

Memo

- 音量はボリュームキーで調整（▲：大きく、▼：小さく）します。
- NAV キーを押すと、現在地画面が表示されます。現在地画面で が表示されるまでくるくるボタンを選択すると、ナビ画面を表示しながらiPodの操作が行えます（➡P.1-14）。
- iPod接続ケーブルKNA-i77（別売品）の詳細は、KNA-i77に付属の取付説明書をご覧ください。
- iPodのバッテリー残量がまったく無いと、本機でiPodの認識ができません。（この状態では、本機からiPodの充電もできません）

iPodメニューでできること

iPodが接続されているときに、 MENU を押すと、iPodメニューが表示されます。

iPodメニュー画面では、アルバムランダム再生、曲ランダム再生、リピート再生、スキャン再生や早送り／早戻し再生の操作ができます。
iPodメニュー画面でできる操作や、設定内容の詳しい操作方法については、次ページの表をご覧ください。

iPodメニュー画面

ボタン	ボタン名	内容	参照ページ
1曲リピート	1曲リピートボタン	再生中の曲を繰り返し再生（リピート）します。	P.9-58
スキャン	スキャンボタン	曲の先頭部分を約10秒間だけ順番に再生（スキャン再生）し、お好みの曲を探せます。	P.9-59
曲ランダム	曲ランダムボタン	カテゴリ内の曲をランダムに再生します。	P.9-60
アルバムランダム	アルバムランダムボタン	アルバムをランダムに再生します。	P.9-60
	早戻しボタン	逆方向に早戻しします。	P.9-61
	早送りボタン	順方向に早送りします。	P.9-61
	曲ダウンボタン	前の曲を再生します。	–
	プレイ／ポーズボタン	iPodの曲を再生します。また再生中は一時停止（ポーズ）します。	–
	ストップボタン	iPodの曲の再生を停止します。	–
	曲アップボタン	次の曲を再生します。	–
リストを見る	リストを見るボタン	リスト表示画面が表示されます。リスト表示画面から、リストを選択して再生することができます。	P.9-57
トップカテゴリ	トップカテゴリボタン	トップカテゴリ画面が表示されます。トップカテゴリ画面では、「プレイリスト」「アーティスト」「アルバム」「曲」「ジャンル」「作曲者」の各カテゴリから再生したい曲を選択することができます。	P.9-54

Memo
- iPodを接続して最初に リストを見る を選択すると、トップカテゴリ画面が表示されます。
  2 回目以降は、最後に表示したリスト表示画面が表示されます。

トップカテゴリから選曲する

トップカテゴリ画面を表示して、お好みの曲を再生できます。

この操作までの流れ

1

トップカテゴリ を選択します

再生したいトップカテゴリを選択します

例）アーティストから選曲する場合

再生したいアーティストを選択します

再生したいカテゴリが表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。

Hint

- 再生 を選択すると、カテゴリの全ての曲を再生します。
- TOP を選択すると、手順2の画面が表示されます。
- UP を選択すると一つ前の画面に戻ります。
- を選択すると再生中の曲がある曲リスト画面が表示されます。
- ランダム再生中は、曲リストの先頭ページが表示されます。
- をタッチしてページ送りができます(➡P.9-56)。

4

再生したいアルバムを選択します

再生したいアルバムが表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。

Hint

- 再生 を選択すると、アルバムの全ての曲を再生します。
- TOP を選択すると、手順2の画面が表示されます。
- UP を選択すると一つ前の画面に戻ります。
- を選択すると再生中の曲がある曲リスト画面が表示されます。
- ランダム再生中は、曲リストの先頭ページが表示されます。
- をタッチしてページ送りができます（➡P.9-56）。

5

再生したい曲を選択します

- 選択された曲が再生され、リストの左に マークが表示されます。
- 再生したい曲が表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- 選択した曲名がタイトル表示エリア

に表示されます。

Hint

- 戻る を選択すると手順１の画面に戻ります。
- TOP を選択すると、手順２の画面が表示されます。
- UP を選択すると一つ前の画面に戻ります。
- をタッチしてページ送りができます（➡P.9-56）。

END

スクロールバーについて

リストの項目が7件以上上ある場合は、画面下にスクロールバーが表示されます。
スクロールバーをタッチすると、タッチした場所のリストが表示されます（ページ送り）。
あらかじめ再生したい曲などの場所が分っている場合は、スクロールバーをタッチしてすばやく探し出すことができます。

例：アーティスト選択画面

リスト表示から選曲する

リスト表示画面を表示して、お好みの曲を再生できます。

1

リストを見る を選択します

2

再生したい曲を探します

最後に表示したリスト表示画面が表示されます。

END

Memo
- iPodを接続して最初に リストを見る を選択すると、トップカテゴリ画面が表示されます。
  2 回目以降は、最後に表示したリスト表示画面が表示されます。

リピート再生する

再生中の曲を繰り返し再生します。

この操作までの流れ

1

1曲リピート を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、再生中の曲を繰り返し再生します。
- もう一度 1曲リピート を選択すると、マーク（グレー）が表示され、リピート再生が解除されます。

END

スキャン再生する

曲の先頭部分を、約10秒間ずつ順番に再生します。聴きたい曲を探すのに便利です。

この操作までの流れ

1

スキャン を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、スキャン再生を開始します。
- もう一度 スキャン を選択すると、マーク（グレー）が表示され、スキャン再生が解除されます。

END

Memo

- すべての曲のスキャン再生が終了すると、スキャンは解除され最初にスキャン再生した曲を再生します。
- スキャン再生中に、カテゴリを変更すると、スキャンは解除されます。

ランダムに曲を再生する

カテゴリ内の曲、またはアルバムをランダムに再生します。

1

曲ランダム または アルバムランダム を選択します

- マーク（オレンジ）が表示され、カテゴリ内の曲または、カテゴリ内のアルバムがランダムに再生されます。
- もう一度 曲ランダム または アルバムランダム を選択すると、マーク（グレー）が表示され、ランダム再生が解除されます。

END

早送り／早戻しする

早送り／早戻しができます。

1

または を選択します

- を選択すると逆方向に早戻しされます。また、 を選択すると順方向に早送りされます。
- 通常の再生に戻す場合は、 を選択します。

END

リアモニターに映像を映す

別売品のリアモニターを接続した場合、走行中でもリアモニターでテレビやDVDの映像を見ることができます。

1

[AV OUT] を選択します

- 映像がリアモニターに表示されます。
- リアモニターのソース選択画面が表示されます。

2

リアモニターのソースを選択します

[AV OUT] を選択するたびに、リアモニターのソースがテレビ→挿入されているディスク（DVD、CD、MP3/WMA、iPod）→外部装置（VIDEO、AUX）→OFFの順に切り替わります。

END

Memo
- 音声をカーオーディオから出力させることもできます（➡P.10-12）。
- リアモニターのソースとしてCDまたはMP3/WMA、iPod、AUXを選択した場合は、リアモニターに映像は表示されません。
- リアモニターにはナビ画面は表示できません。

外部ビデオの映像を表示する

外部ビデオの映像を表示します。

1

テレビの操作画面（➡P.9-5）で [VIDEO 映像へ] を選択します

外部ビデオの映像画面が表示されます

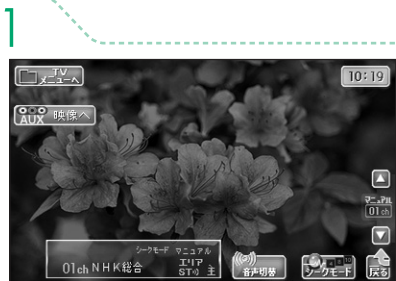
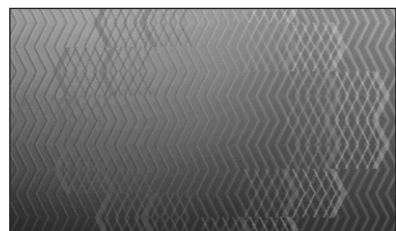
画面中央部を選択すると、外部ビデオの操作画面が表示されます。外部ビデオの操作画面で [TV 映像へ] を選択すると、テレビ映像を表示することができます。外部ビデオの操作画面で [戻る] を選択すると、映像画面に戻ります。

END

Memo
- 音量はボリュームキーで調整（[▲]：大きく、[▼]：小さく）します。
- 接続したビデオ機器によっては、映像が表示できない場合があります。
- ビデオの画質を設定する場合は、外部ビデオの映像画面で [MENU] キーを押し、[SET UP] を選択してSET UPメニューで設定してください（➡P.10-4）。
- 外部ビデオの映像を表示する場合は、「外部入力選択」で「VIDEO」に設定する必要があります（➡P.10-12）。

外部オーディオの音声を出力する

外部オーディオの音声を表示します。

1

テレビの操作画面（➡P.9-5）で AUX 映像へ を選択します

外部オーディオの音声が出力されます

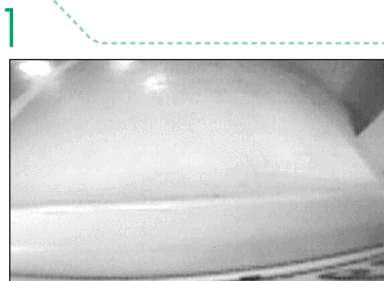
画面中央部を選択すると、外部オーディオの操作画面が表示されます。外部オーディオの操作画面で TV 映像へ を選択すると、テレビ映像を表示することができます。外部オーディオの操作画面で 戻る を選択すると、映像画面に戻ります。

END

Memo
- 音量はボリュームキーで調整（▲：大きく、▼：小さく）します。
- 外部オーディオの音声を出力するには、「外部入力選択」で「AUX」または「リアビューカメラ＋AUX」に設定する必要があります。（➡P.10-12）。

リアビューカメラの映像を表示する

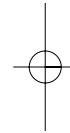
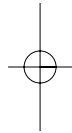
リアビューカメラの映像は、シフトノブをリバースに入れると、自動的に表示されます。

1

シフトノブをリバースにする

リアビューカメラの映像が表示されます。

END

Memo
- 画面が表示されない場合は、バックセンサーの接続を確認してください。
- リアビューカメラの映像は、後方確認の補助として使用し、実際の運転操作は直接後方を確認しながら行ってください。
- シフトノブをリバースにすると、ナビ音声とAV音声の音量が小さくなります。また、音量を小さくしなくすることもできます（➡P.10-12）。
- リアビューカメラの映像を表示する場合は、「外部入力選択」で「リアビューカメラ＋AUX」に設定する必要があります（➡P.10-12）。

10 システムを設定・調整する

ここでは、フロントモニターの画質設定、タッチ位置の認識補正設定、表示モード設定、システム設定やDVD設定などの操作方法について説明します。

■ **SET UPメニューについて** **P.10-2**
SET UPメニューを表示する P.10-2

■ **画質を調整する** **P.10-4**
画質を調整する P.10-4
画面モードを設定する P.10-6

■ **タッチ位置の認識を補正する** **P.10-8**
タッチ位置の認識を補正する P.10-8

■ **表示モードを設定する** **P.10-9**
表示モードを設定する P.10-9

■ **画面の位置を調整する** **P.10-10**
画面の位置を調整する P.10-10

■ **システムの詳細を設定する** **P.10-11**
システムの詳細を設定する P.10-11
個別に設定する P.10-13

■ **DVD機能を設定する** **P.10-16**
DVD機能を設定する P.10-16
音声言語を設定する P.10-18
字幕言語を設定する P.10-21
メニュー言語を設定する P.10-22
視聴制限のレベルを設定する P.10-23
視聴制限のレベルを変更する P.10-25
視聴制限設定時に使用するパスワードを変更する P.10-26

■ **音声案内の口調や読み上げる早さを設定する** **P.10-28**
音声案内の口調や読み上げる早さを設定する P.10-28

SET UPメニューを表示する

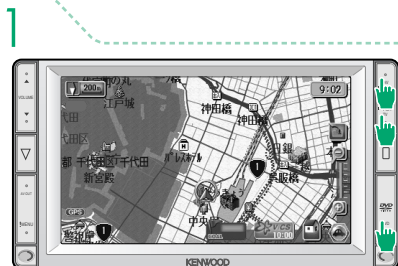
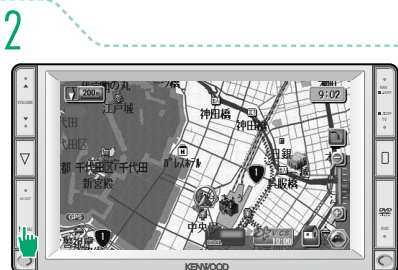
SET UPメニューでは、フロントモニターの画質設定、タッチ位置の認識補正、表示モード設定、システム設定やDVD設定など、本機のシステムのいろいろな設定を行うことができます。

1

NAV キー、TV キーまたは DVD キーを押します

2

MENU キーを押します

3

SET UP を選択します

4

設定したい項目を選択します

各項目の内容は次の通りです。

	アイコン	機能	参照ページ
見え方を調整する	画質	モニターの画質を調整できます。	P.10-4
	タッチパネル	タッチ位置の認識を補正できます。	P.10-8
	表示モード	交差点案内などの表示の有無を設定できます。	P.10-9
	画面位置	画面の左右位置を調整できます。	P.10-10
機能を設定する	システム	ナビのいろいろな機能を設定できます。	P.10-11
	DVD	DVD再生時の音声言語や、字幕言語など、DVDの機能を設定できます。	P.10-16
	音声サポート	ナビの音声案内の口調や、読み上げる早さを設定できます。	P.10-28

END

Memo

- 「画質」の設定は、テレビやDVD、外部ビデオの画質設定と、ナビ画面などの画質設定とで設定内容が異なります。テレビやDVD、外部ビデオの画質を設定する場合は、これらの映像画面で MENU キーを押したあと、SET UP を選択して設定してください。
また、ナビ画面の画質を設定する場合は、ナビ画面で MENU キーを押したあと、SET UP を選択して設定してください。
- AV機能を使用中は、DVD設定はできません。

画質を調整する

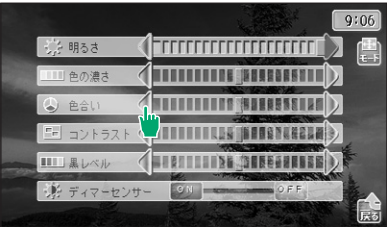
モニターの画質を調整できます。テレビやDVD、外部ビデオの画質を設定する場合は、これらの映像画面で キーを押したあと、SET UP を選択して以下の操作を行ってください。また、ナビ画面の画質を設定する場合は、ナビ画面で MENU キーを押したあと、SET UP を選択して以下の操作を行ってください。

Step この操作までの流れ

MENU ➤ SET UP

1

を選択します

2

◁または▷を選択して画質を調整します

調整項目の内容は、次ページの通りです。

・テレビ、DVD、外部ビデオ映像の場合

・ナビの場合

調整項目	選択肢	内容	調整範囲	備考
明るさ	◁	暗くなります。	0~20	
	▷	明るくなります。		
色の濃さ	◁	淡くなります。	−10~+10	テレビ、DVD、外部ビデオのみ
	▷	濃くなります。		
色合い	◁	緑色が強くなります。	−10~+10	テレビ、DVD、外部ビデオのみ
	▷	赤色が強くなります。		
コントラスト	◁	コントラストが低くなります。	−10~+10	
	▷	コントラストが高くなります。		
黒レベル	◁	濃くなります。	−10~+10	
	▷	薄くなります。		
ディマーセンサー	ON	車内の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に調整されます。	—	
	OFF	変化しません。		

- ▭ はお買い上げ時の設定状態です。
- ディマーセンサー調整以外の各項目ともテレビ映像、DVD映像、外部ビデオ映像、ナビ画面ごとに個別に設定できます。
- ナビ画面の文字などが見づらい場合は、コントラストや黒レベルを調整すると見やすくなります。

Hint

- モード を選択すると画面モード（フル、ジャスト、ズーム、ノーマル）を設定できます（➡P.10-6）。
- 戻る を選択すると、画質が設定され手順1の画面に戻ります。

END

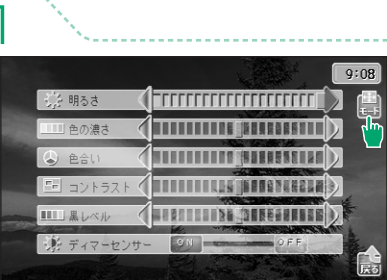
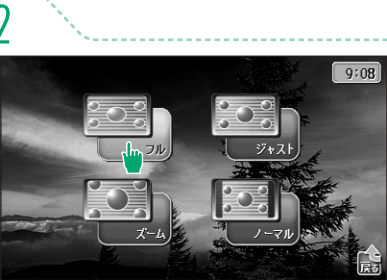
画面モードを設定する

テレビ、DVDや外部ビデオの画面モードを設定できます。

Step この操作までの流れ

1

を選択します

2

設定したい画面モードを選択します

選択できる画面モードの詳細は、次ページの通りです。

項目	アイコン	内容
フル	フル	画面の表示を横方向に延ばして、ピッタリ収まるように表示します。 元のソースによっては、横長に見えることがあります。
ジャスト	ジャスト	画面の表示を中心から徐々に拡大率を上げて、横方向がピッタリ収まるように表示します。 元のソースによっては、左右に不自然に伸びて見えることがあります。
ズーム	ズーム	画面の表示を全体的に拡大して、横方向がピッタリ収まるように表示します。 元のソースによっては、画面上下が切れることがあります。
ノーマル	ノーマル	画面の表示を、上下方向がピッタリ収まるように調整して表示します。元のソースによっては、画面左右に空白ができることがあります。

- お買い上げ時やメニュー画面を表示中は、「フル」に設定されています。
  テレビ、DVD、外部ビデオの映像ごとに個別に設定できます。
- ナビ画面の画面モードは、フルモード画面で固定されています。
- 画面モードを設定すると、元のソース画面に戻ります。

Hint

- を選択すると、設定項目画面に戻ります。

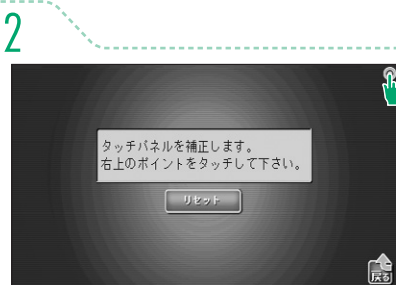
END

タッチ位置の認識を補正する

タッチパネルのタッチ位置の認識を補正できます。

Step この操作までの流れ

 ➤ SET UP

1

を選択します

2

画面に表示されるメッセージに従って、右上と左下の ◎ を順に選択します

［リセット］を選択すると、お買い上げ時の設定になります。

Hint

- タッチパネルの、タッチ位置の認識補正を中止する場合は、［戻る］を選択します。手順1の画面に戻ります。

END

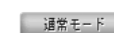
Memo

- 画面をタッチしたときに、ボタンの位置がずれていると感じたときに、タッチ位置の認識補正をしてください。
- 正確な補正をするために、できるだけ ◎ の中心を選択してください。
- 地図を表示中は、［MENU］キーを約2秒間以上押し続けても、タッチ位置の補正が行えます。

表示モードを設定する

ナビ画面に表示される、交差点案内などを表示しないように設定できます。

Step この操作までの流れ

 ➤ SET UP

1

を選択します

2

表示モードを選択します

［すっきりモード］：通過交差点案内、道路種別、次交差点案内、レーン案内を表示したくないときに選択します。

［通常モード］：各種案内表示を表示したいときに選択します。

END

画面の位置を調整する

画面の水平位置を調整できます。

Step この操作までの流れ

 ➤ SET UP

1

 を選択します

2

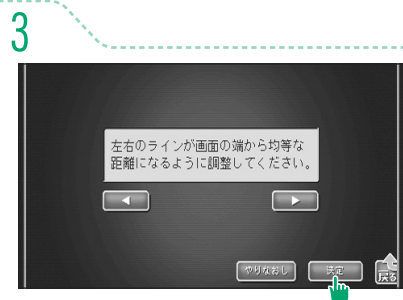
ライン

ライン

◀ または ▶ で左右のラインが画面の端から均等な距離になるように調整します

Hint

- やりなおし を選択すると、もう一度調整をやり直すことができます。

3

決定 を選択します

画面の位置調整が設定され、タッチ位置の補正画面が表示されます（➡P.10-8）。

Hint

- やりなおし を選択すると、調整前の状態に戻ります。
- 戻る を選択すると、位置調整を中止して手順1の画面に戻ります。

END

システムの詳細を設定する

ナビ動作時の音声設定や、ナビ音声の出力先設定など、ナビのいろいろな機能を設定できます。

Step この操作までの流れ

 ➤ SET UP

1

 を選択します

2

設定したい項目を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
  設定したい項目が表示されていない場合は、表示されるまで ◀ または ▶ を選択してください。
- システム設定項目の内容は、次ページの通りです。
- 「個別に設定する」の詳しい操作方法については、➡P.10-13をご覧ください。

NEXT

項目	選択肢	内容
ボイスアドバイザ	ON	各メニューや機能画面などに切り替わったときに、各画面で行う操作を音声で案内します。
	OFF	案内しません。
BEEP音	ON	操作確認音（"ピッ"音）を鳴らします。
	OFF	確認音は鳴りません。
ナビ音量 お買い上げ時：3	←	ナビの音量を小さくします。
	→	ナビの音量を大きくします。
リバース時 自動音量ダウン	ON	車のシフトノブをリバースにすると、オーディオの音声とナビの音声を一時的に小さくします。
	OFF	音量を下げません。
オーディオ画面へのナビ表示割込	交差点案内 ＋ビーコン	オーディオ画面表示中に、交差点案内画面またはVICSビーコン情報画面を割込み表示します。
	交差点案内のみ	オーディオ画面表示中に、交差点案内画面を割込み表示します。
	割込なし	割込み表示しません。
セキュリティ インジケータ	ON	イグニッションキーがオフのときにナビ本体のLEDが点滅します。LEDが点滅することにより盗難を抑制します（➡P.1-3）。
	OFF	LEDが点滅しません。
外部入力選択	リアビューカメラ＋AUX	リアビューカメラを接続しているときに選択します。
	VIDEO	ビデオ機器を接続しているときに選択します。
	AUX	オーディオ機器を接続しているときに選択します。
フロント/リア ソース同時切替	ON	フロントソースを切り替えると、リアソースもフロントソースと同じソースに自動的に切り替わります。
	OFF	フロントソースとリアソースを別々に切り替えることができます。
オーディオ 接続設定	設定A	本機とカーオーディオを組み合わせていて、TVやディスクの音声をFM-トランスミッタで聞く場合に使用します。
	設定B	本機とRCA入力端子付きのカーオーディオを接続している場合に使用します。
	設定C	本機とナビ割り込み機能付きのケンウッド製カーオーディオを接続している場合に使用します。
個別に設定する	―	オーディオ接続設定のナビ音声割込み、ナビ音声出力選択やナビ音声時オーディオ音量ダウン設定などを、個別に設定することができます（➡P.10-13）。

 はお買い上げ時の設定状態です。

3

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

END

個別に設定する

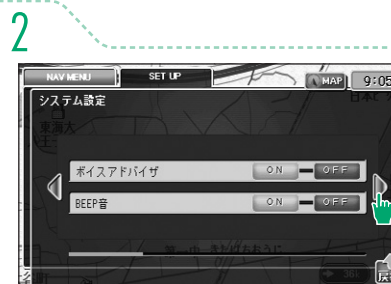
ナビ音声割込み、ナビ音声出力選択や、ナビ音声時オーディオ音量ダウン設定など、ナビの個別設定ができます。

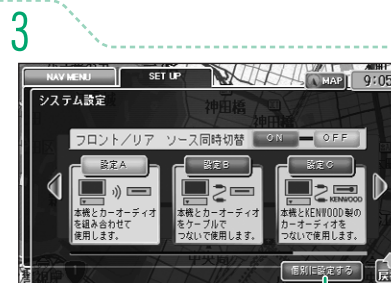
この操作までの流れ

 ▶ SET UP

1

を選択します

2

個別に設定する が表示されるまで ◀または▶を選択します

3

個別に設定する を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
  設定したい項目が表示されていない場合は、表示されるまで◀または▶を選択してください。
- 個別設定項目の内容は、次ページの通りです。

NEXT

項目	選択肢	内容
ナビ音声割込	ON	オーディオ再生中、ガイドポイントに近づくと自動的にナビの音声を割り込みさせます。
	OFF	割り込みしません。
ナビ音声時オーディオ音量ダウン	ON	ミュート端子があるケンウッド製オーディオと本機のミュートコードを接続している場合、ナビ音声中は、オーディオの音声を小さくします。
	OFF	ミュート端子があるケンウッド製オーディオと本機のミュートコードを接続している場合、ナビ音声中もオーディオの音声は小さくなりません。
ナビ音声出力選択*1	左右	カーオーディオの左右スピーカーから、ナビの音声が出力されます。
	左のみ	カーオーディオの左スピーカーから、ナビの音声が出力されます。
	右のみ	カーオーディオの右スピーカーから、ナビの音声が出力されます。
	OFF	カーオーディオのスピーカーからナビの音声は出力しません。
モニタースピーカー音声	ナビ固定	モニターのスピーカーからはナビの音声のみ出力されます。
	オーディオ優先	モニターのスピーカーからは、ナビの音声とオーディオの音声が出力されます。
FM-トランスミッタ*2	ON	ナビの音声やオーディオの音声が電波で飛ばされ、カーオーディオのFMラジオで聴くときに選択します。
	OFF	FM-トランスミッタは使用しません。
FM-トランスミッタ周波数 お買い上げ時：76.3MHz	＋	FM-トランスミッタの周波数が76.3〜78.8MHzまでの範囲で、0.1MHzずつ高くなります。
	−	FM-トランスミッタの周波数が76.3〜78.8MHzまでの範囲で、0.1MHzずつ低くなります。
CD読み込みモード*3	READ1	音楽CDとMP3/WMAディスクが自動認識されます。（通常はREAD1でお使いください。）
	READ2	CDが音楽CDとして強制的に再生されます。
デジタルアウト出力設定*4	ON	デジタルアウトの出力が利用可能になります。
	OFF	デジタルアウトの出力が利用できません。（通常はOFFでお使いください。）

（色付きの欄）はお買い上げ時の設定状態です。

*1：ナビ音声出力選択は、RCA端子で接続されている場合やFMトランスミッタ使用時に有効です。
*2：FMトランスミッタとは、ナビゲーションの音声やオーディオの音声をＦＭ電波にして、FMラジオ付のカーオーディオで聞くことができるようにする機能です。FMトランスミッタを「ON」に設定した場合、FMトランスミッタ周波数を設定し、お使いのオーディオを同じ周波数に設定する必要があります。

*3：特殊なフォーマットのCDを再生した時に、正常に再生できない場合はREAD2を選択してください。通常はREAD1でお使いください。また、READ2を選択して再生した場合、次回使用するときは設定を確認してください。
*4：デジタルアウト出力設定をONにすると、モニタースピーカーおよびRCA端子（音声出力端子）からオーディオ音声が出力されなくなります。
接続する外部機器により、「ナビ音声時オーディオ音量ダウン」、「FM-トランスミッタ」、「デジタルアウト出力設定」の設定を変更する必要があることがあります。

4

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順3の画面に戻ります。

END

DVD機能を設定する

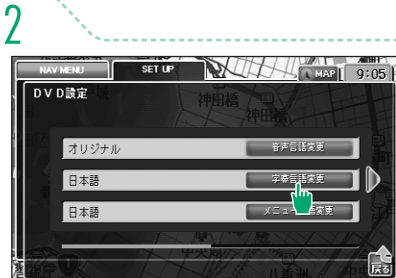
DVD再生時の音声言語や字幕言語など、DVDの機能を設定できます。

Step この操作までの流れ

 ➤ SET UP

1

DVDを選択します

2

設定したい項目を選択します

- 選択肢（ ON ／ OFF など）を選択することにより設定されます。
  設定したい項目が表示されていない場合は、◀または▶を選択してください。
  選択肢がない項目は、ボタンを選択すると設定画面が表示されます。
- DVD機能設定項目の内容は、次ページの通りです。
- 「音声言語変更」、「字幕言語変更」、「メニュー言語変更」と「視聴制限レベル」設定の詳しい操作方法は、参照ページをご覧ください。

項目	選択肢	内容	参照ページ
音声言語変更	–	DVDの音声の言語を設定します。	P.10-18
字幕言語変更	–	DVDの字幕の言語を設定します。	P.10-21
メニュー言語変更	–	DVDのメニューの言語を設定します。	P.10-22
アングルマーク	ON	アングルマークが表示されます。	–
	OFF	アングルマークは表示されません。	
スクリーン	16:9	ワイド版の映像を再生する場合に選択します。	–
	4:3LB	レターボックス方式（上下に黒い帯がある画面）でワイド版の映像を再生する場合に選択します。	
	4:3PS	パン＆スキャン方式（左右の切れた画面）でワイド版の映像を再生する場合に選択します。	
視聴制限レベル	OFF	低年齢の児童などへの有害なコンテンツの視聴を制限するための設定を行います。	P.10-23

- ■ はお買い上げ時の設定状態です。
- AV機能を使用中は、DVD機能設定はできません。

3

各項目の設定が終わったら 戻る を選択します

手順1の画面に戻ります。

Memo

- アングルマークは、アングルの切り替えが可能なシーンでのみ表示されます。
- スクリーンは、通常は「16:9」でお使いください。
- スクリーンの設定は、フロントモニターと接続したリアモニター（別売品）で共通の設定になります。

END

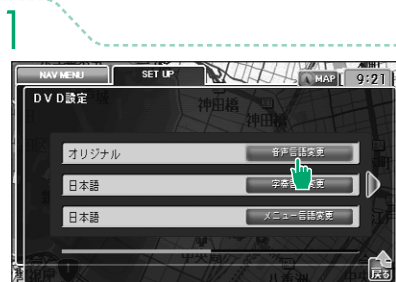
音声言語を設定する

DVD再生時の音声の言語を設定します。

Step この操作までの流れ

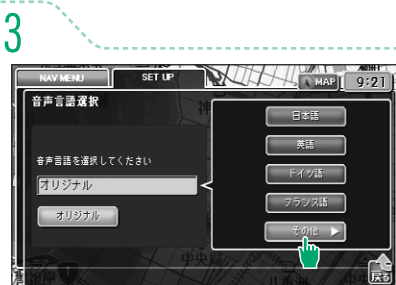
1

音声言語変更 を選択します

2

音声言語を選択します

Hint

- その他の言語を設定する場合は、手順3へ進みます。
- オリジナル を選択すると、DVDに記録されているオリジナルの言語が選択されます。

3

その他 を選択します

4

言語コードを入力します

- 言語コードの種類は、下記の表をご覧ください。

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は、消去 を選択します。最後の文字が消去されます。

5

決定 を選択します

音声言語が設定され、DVD設定画面に戻ります。

END

Memo
- お買い上げ時は、「オリジナル」に設定されています。

言語コードの種類は、次の通りです。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
aa	アファル語	bi	ビスラマ語	de	ドイツ語
ab	アブバジア語	bm	バンバラ語	dv	ディベヒ語
ae	アヴェスタ語	bn	ベンガル語、バングラ語	dz	ブータン語
af	アフリカーンス語	bo	チベット語	ee	エウェ語
ak	アカン語	br	ブルトン語	el	ギリシャ語
am	アムハラ語	bs	ボスニア語	en	英語
an	アラゴン語	ca	カタロニア語	eo	エスペラント語
ar	アラビア語	ce	チェチェン語	es	スペイン語
as	アッサム語	ch	チャモロ語	et	エストニア語
av	アヴァル語	co	コルシカ語	eu	バスク語
ay	アイマラ語	cr	クリー語	fa	ペルシャ語
az	アゼルバイジャン語	cs	チェコ語	ff	フラ語
ba	バシキール語	cu	教会スラブ語	fi	フィンランド語
be	ベラルーシ語	cv	チュヴァシュ語	fj	フィジー語
bg	ブルガリア語	cy	ウェールズ語	fo	フェロー語
bh	ビハーリー語	da	デンマーク語	fr	フランス語

コード	言語	コード	言語	コード	言語
fy	フリジア語	li	リグリア語	sd	シンド語
ga	アイルランド語	ln	リンガラ語	se	北サミ語
gd	スコットランドゲール語	lo	ラオス語	sg	サンゴ語
gl	ガルシア語	lt	リトアニア語	si	シンハラ語
gn	グアラニ語	lu	ルバ語	sk	スロバキア語
gu	グジャラート語	lv	ラトビア語、レット語	sl	スロベニア語
gv	マン島語	mg	マダガスカル語	sm	サモア語
ha	ハウサ語	mh	マーシャル語	sn	ショナ語
he	ヘブライ語	mi	マオリ語	so	ソマリ語
hi	ヒンディー語	mk	マケドニア語	sq	アルバニア語
ho	ヒリ・モツ語	ml	マラヤーラム語	sr	セルビア語
hr	クロアチア語	mn	モンゴル語	ss	シスワティ語
ht	ハイチ語	mo	モルダビア語	st	セストゥ語
hu	ハンガリー語	mr	マラータ語	su	スンダ語
hy	アルメニア語	ms	マレー語	sv	スウェーデン語
hz	ヘレロ語	mt	マルタ語	sw	スワヒリ語
ia	国際語	my	ミャンマー語	ta	タミール語
id	インドネシア語	na	ナウル語	te	テルグ語
ie	国際語	nb	ブークモール語	tg	タジク語
ig	イボ語	nd	北ンデベレ語	th	タイ語
ii	四川語	ne	ネパール語	ti	ティグリニャ語
ik	イヌピアック語	ng	ンドンガ語	tk	トゥルクメン語
io	イド語	nl	オランダ語	tl	タガログ語
is	アイスランド語	nn	ニューノルスク語	tn	セツワナ語
it	イタリア語	no	ノルウェー語	to	トンガ語
iu	イヌイット語	nr	南ンデベレ語	tr	トルコ語
ja	日本語	nv	ナヴァホ語	ts	ツォンガ語
jv	ジャワ語	ny	ニャンジャ語	tt	タタール語
ka	グルジア語	oc	プロバンス語	tw	トウィ語
kg	コンゴ語	oj	オジブワ語	ty	タヒチ語
ki	キクユ語	om	（アファン）オロモ語	ug	ウイグル語
kj	クワンヤマ語	or	オリヤー語	uk	ウクライナ語
kk	カザフ語	os	オセト語	ur	ウルドゥー語
kl	グリーンランド語	pa	パンジャブ語	uz	ウズベク語
km	カンボジア語	pi	パーリ語	ve	ベンダ語
kn	カンナダ語	pl	ポーランド語	vi	ベトナム語
ko	韓国語	ps	パシュトー語	vo	ボラピュク語
kr	カヌリ語	pt	ポルトガル語	wa	ワロン語
ks	カシミール語	qu	ケチュア語	wo	ウォロフ語
ku	クルド語	rm	ラエティ＝ロマン語	xh	コーサ語
kv	コミ語	rn	キルンディ語	yi	イディッシュ語
kw	コーンウォール語	ro	ルーマニア語	yo	ヨルバ語
ky	キルギス語	ru	ロシア語	za	チワン語
la	ラテン語	rw	キニヤルワンダ語	zh	中国語
lb	ルクセンブルク語	sa	サンスクリット語	zu	ズール語
lg	ガンダ語	sc	サルディニア語		

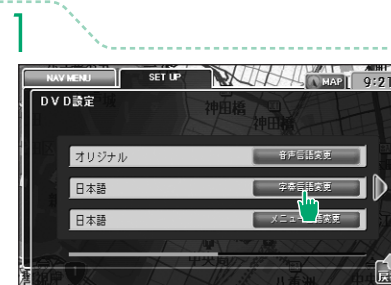
字幕言語を設定する

DVD再生時の字幕の言語を設定します。

Step この操作までの流れ

1

字幕言語変更 を選択します

2

字幕言語を選択します

Hint

- その他の言語を設定する場合は、その他 を選択し、言語コードを入力して設定します（➡P.10-19）。
- 戻る を選択すると、字幕言語が設定され手順1の画面に戻ります。

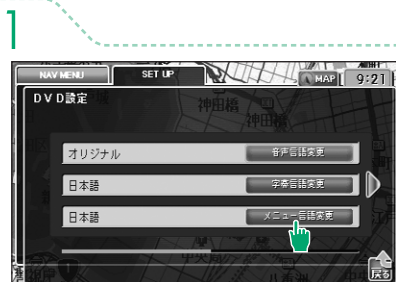
END

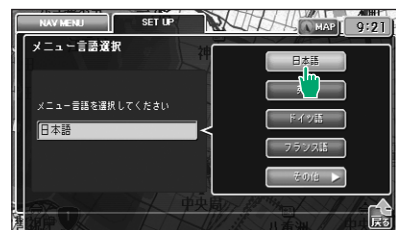
Memo ●お買い上げ時は、「日本語」に設定されています。

メニュー言語を設定する

DVD再生時のメニューの言語を設定します。

Step この操作までの流れ

1

メニュー言語変更 を選択します

2

メニュー言語を選択します

Hint

- その他の言語を設定する場合は、その他 ▶ を選択し、言語コードを入力して設定します（➡P.10-19）。
- 戻る を選択すると、メニュー言語が設定され手順1の画面に戻ります。

END

Memo ●お買い上げ時は、「日本語」に設定されています。

視聴制限のレベルを設定する

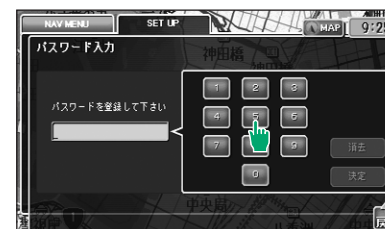
低年齢の児童などへの、有害なコンテンツの視聴を制限するための設定を行います。設定した視聴制限レベルに応じて、DVDの再生が制限されます。

初めての視聴制限のレベルを設定する場合は、パスワードの設定を行います。

Step この操作までの流れ

1

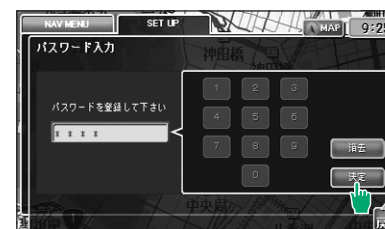
▷を選択し、「視聴制限レベル」の 設定変更 ▶ を選択します

2

設定するパスワードを4桁入力します

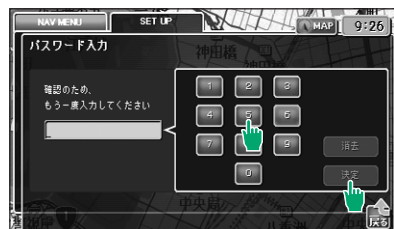
- 入力したパスワードが文字エリア（＊＊＊＊）に表示されます。
- パスワードは必ず4桁入力してください。

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は、消去 を選択します。入力した数字がすべて消去されます。

3

決定 を選択します

NEXT

4

もう一度設定するパスワードを入力し、決定を選択します

パスワードを間違えると「パスワードが違います」と表示され、入力したパスワードが消去されます。もう一度正しいパスワードを入力してください。

5

◀または▶でレベルを選択します

- 視聴制限レベルは8段階あります。数字が大きくなるほど制限レベルが厳しくなります。
- OFFに設定すると視聴制限が解除されます。

Hint

- を選択すると、視聴制限レベルが設定され手順1の画面に戻ります。
- 一度設定したパスワードを変更することもできます（➡P.10-26）。

END

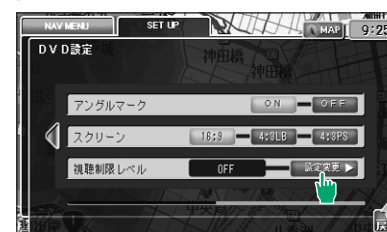
Memo

- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
- 設定したレベルより厳しいレベルの場面になると、パスワードの入力を要求する画面が表示される場合があります。再生する場合は、パスワードを入力してください。
- パスワードは忘れないようにメモしておいてください。
- リセットボタンを押すと視聴制限とそのパスワードは、お買い上げ時の状態に戻ります。

視聴制限のレベルを変更する

視聴制限のレベルを変更します。

Step この操作までの流れ

1

▶を選択し、「視聴制限レベル」の 設定変更 ▶ を選択します

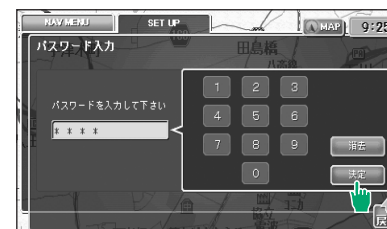
2

パスワードを4桁入力します

「視聴制限のレベルを設定する」（➡P.10-23）で設定したパスワードを4桁入力してください。

Hint

- 入力する文字を間違えた場合は、消去を選択します。入力した数字がすべて消去されます。

3

決定 を選択します

パスワードを間違えると「パスワードが違います」と表示され、入力したパスワードが消去されます。もう一度正しいパスワードを入力してください。

Hint

- レベルの選択は「視聴制限のレベルを設定する」（➡P.10-24）の手順5を行ってください。

END

視聴制限設定時に使用するパスワードを変更する

視聴を制限するために必要な、パスワードを変更できます。

Step この操作までの流れ

「視聴制限レベル」 設定変更

1

設定済みのパスワードを4桁入力します

Hint

●入力する数字を間違えた場合は、 消去 を選択します。入力した数字がすべて消去されます。

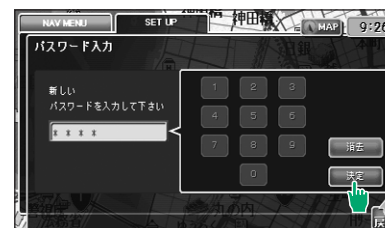
2

決定 を選択します

パスワードを間違えると「パスワードが違います」と表示され、入力したパスワードが消去されます。もう一度、正しいパスワードを入力してください。

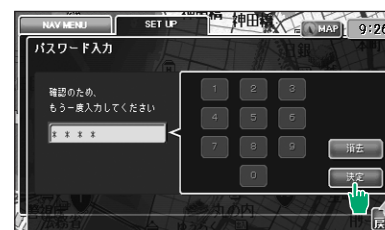
3

パスワード変更 を選択します

4

変更したいパスワードを4桁入力し、 決定 を選択します

Hint

●入力する数字を間違えた場合は、 消去 を選択します。入力した数字がすべて消去されます。

5

もう一度パスワードを入力し、 決定 を選択します

変更したパスワードが設定され、視聴制限設定画面に戻ります。

Hint

● 戻る を選択すると、パスワード変更が中止され視聴制限設定画面に戻ります。

END

Memo ●本機をリセットすると、パスワードは消去されます。

音声案内の口調や読み上げる早さを設定する

ナビの口調や、読み上げる早さを設定できます。

この操作までの流れ

 ➤ SET UP

1

を選択します

2

音声案内の口調や読み上げる早さを選択します

- 音声案内の口調を設定する場合は、 秘書風 / 友達風 の中からお好みの口調を選択してください。
- 読み上げる早さを設定する場合は、 遅め / 標準 / 早め の中からお好みの早さを選択してください。

Hint

- テスト発声 を選択すると、設定してある口調や早さでテスト発声します。
- 戻る を選択すると、音声案内の口調や早さが設定され手順1の画面に戻ります。

END

- お買い上げ時の口調は、 秘書風 に、読み上げ速度は 標準 に設定されています。
- ルートの概要内容の口調は秘書風のみとなり変更できません。
- 口調や読み上げる早さの設定は、「メモリ地点にサウンドを設定する」(➡P.7-18)で設定したサウンドには効果がありません。
- 口調の設定は、メモリ地点に設定した音声には効果がありません(➡P.7-18)。

11 付録

ここでは、別売品のジョイスティックリモコンでの操作や故障が起きたときの対処のしかた、用語集、用語索引などについて説明します。

■ ジョイスティックリモコン（別売品）での操作　P.11-2
ジョイスティックリモコンの各部の名称と機能　P.11-2
ジョイスティックリモコンの電池交換　P.11-5
ジョイスティックリモコンの操作早見表　P.11-6

■ 故障かなと思ったら　P.11-10

■ MP3/WMAについて　P.11-21

■ 地図データベースについて　P.11-23

■ 自車位置の精度について　P.11-26

■ 地図記号の凡例　P.11-30

■ その他の資料　P.11-31

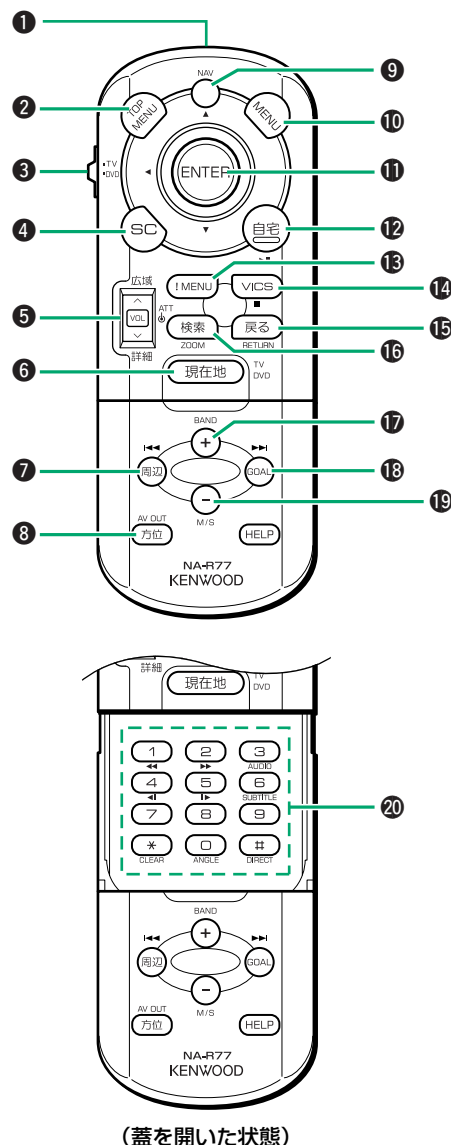
■ 用語集　P.11-32
ナビ用語集　P.11-32
AV用語集　P.11-33

■ 仕様一覧　P.11-34

■ 保証とアフターサービス　P.11-37

■ 用語索引　P.11-38

ジョイスティックリモコンの各部の名称と機能

ジョイスティックリモコンの各部の名称とその働きについて説明します。

（蓋を開いた状態）

❶ **リモコン発光部**
操作パネルのリモコン受光部に向けて操作します。（➡P.1-2）

❷ **TOP MENUボタン**
DVDのトップメニューを表示します。

❸ **AVモードスイッチ**
AVモードを切り替えるスイッチです。テレビモードにする場合は「TV」に、オーディオモード（DVD、CD、MP3/WMA、iPod）にする場合は「DVD」に切り替えてください。

❹ **SCボタン**
ランクメニューが表示されます。
各項目の選択や確定の操作はジョイスティックで行います。

❺ **ボリュームボタン（広域／詳細ボタン）**
ナビモードでは、地図を広域（縮小）／詳細（拡大）表示します。（「∧」：縮小、「∨」：拡大）
テレビモード、オーディオモードでは、音量を調整（「∧」：大きく、「∨」：小さく）します。また、「VOL」を押すとアッテネーター機能が働き、モニタースピーカーの音量をすばやく小さくします。もう一度押すとアッテネーターが解除されます。

❻ **現在地ボタン（TVボタン／DVDボタン）**
ナビモードでは、現在地画面が表示されます。
テレビモードでは、テレビ画面が表示されます。
オーディオモードでは、挿入されているディスク（DVD、CD、MP3/WMA）やiPodの曲を再生します。

❼ **周辺ボタン（I◀◀ ボタン）**
ナビモードでは、周辺で探す画面が表示されます。各項目の選択や確定の操作はジョイスティックで行います。
テレビモード、オーディオモードでは、テレビのチャンネルや、DVDのチャプター、CDのトラック、MP3/WMAのファイル、iPodの曲をダウンします。

❽ **方位ボタン（AV OUTボタン）**
ナビモードでは、地図の向きを切り替えます。方位ボタンを押すたびに、ノースアップとヘディングアップに地図の向きが切り替わります。
テレビモードでは、映像をリアモニターに出力します。方位ボタンを押すたびに、リアモニターのソースがテレビ→挿入されているディスク（DVD、CD、MP3/WMA）、iPod→外部装置（VIDEO、AUX）→OFFの順に切り替わります。

❾ **NAVボタン**
ボタンを押してON（ ）にすると、ナビモードに切り替わります。もう一度押してOFF（ ）にすると、ナビモードが解除され、テレビモードまたはオーディオモードに切り替わります。

❿ **MENUボタン**
DVDのディスクメニューを表示します。

⓫ **ジョイスティック**
ナビモードでは、矢印（▼▲◀▶）を押すと矢印の方向に画面がスクロール（移動）します。また、「ENTER」を押すと選択されている地点の検索結果画面が表示されます。
メニュー画面などでは、矢印で上下左右に動かして項目を選択できます。また、「ENTER」を押すと選択した項目を確定します。

⓬ **自宅ボタン（▶II ボタン）**
ナビモードでは、登録されている自宅地点までのルートを探索します。
テレビモードでは、シークモードを切り替えます。自宅ボタンを押すたびにオート→プリセット→マニュアルの順に切り替わります。
オーディオモードでは、DVDやCD、MP3/WMA、iPodの曲を再生します。また再生中は一時停止（ポーズ）します。

⓭ **！MENUボタン**
選択されているソース（ナビ、テレビ、AV機能など）のメニュー画面を表示します。
メニュー項目の選択や確定の操作はジョイスティックで行います。

⑭ VICSボタン（■ボタン）

ナビモードでは、地図に表示されているVICS情報の提供時間を表示します。また、VICS情報がある場合は、最新のVICS情報を表示します。

オーディオモードでは、DVDやCD、MP3/WMA、iPodの曲の再生を停止します。停止中に押すと、次回再生時はディスクの最初から再生します。

⑮ 戻るボタン（RETURNボタン）

ナビモードでは、前の画面に戻ります。

オーディオモードでは、DVD再生中に押すと前の画面に戻ります。

⑯ 検索ボタン（ZOOMボタン）

ナビモードでは、探すメニューを表示します。メニュー項目の選択や確定の操作はジョイスティックで行います。

オーディオモードでは、DVDの映像をズームします。ズームボタンを押すたびに、×2→×3→×4→OFFの順に切り替わります。

⑰ ＋ボタン（BANDボタン）

オーディオモードでは、フォルダをアップします。

テレビモードでは、テレビ映像から外部装置（ビデオ、AUXやリアビューカメラ）の映像へ切り替えます。

⑱ GOALボタン（▶▶I ボタン）

ナビモードでは、GOALプレートを表示します。

テレビモード、オーディオモードでは、テレビのチャンネルや、DVDのチャプター、CDのトラック、MP3/WMAのファイル、iPodの曲をアップします。

⑲ ーボタン（M/Sボタン）

オーディオモードでは、フォルダをダウンします。

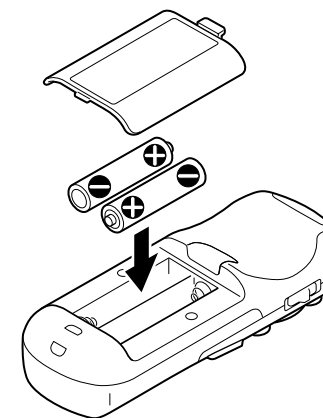
テレビモードでは、押すたびに音声多重放送の主音声／副音声を切り替えます。

⑳ テンキー

英数字の入力やテレビのチャンネル選局、DVD、CD、MP3/WMA、iPodの早送り／早戻し、スロー再生など行います。

- リモコンは付属のリモコンフォルダに入れてください。万が一ブレーキペダルの下に落ちてしまうと、運転操作に支障をきたして大変危険です。

ジョイスティックリモコンの電池交換

リモコンが反応しなくなったときは、新しい電池（単四型2本）を入れてください。

Memo
- 電池の向きを正しく入れてください。
- 乾電池を交換するときは、古い電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。

ジョイスティックリモコンの操作早見表

リモコン		ナビモード	
状態		現在地表示中	
		走行中	停止中
TOP MENU		無効	←
MENU		無効	←
▲（上）		上へスクロール	←
◥（右上）		右上へスクロール	←
▶（右）		右へスクロール	←
◢（右下）		右下へスクロール	←
▼（下）		下へスクロール	←
◣（左下）		左下へスクロール	←
◀（左）		左へスクロール	←
◤（左上）		左上へスクロール	←
ENTER		ハイウェイモード（高速道路走行中）	←
広域（VOL▲）		地図を縮小	←
詳細（VOL▼）		地図を拡大	←
SC		ランクメニューを表示	←
自宅（▶II）		無効	自宅ルートを探索
!MENU		ナビメニューを表示	←
VICS（■）		VICS情報を表示	←
検索（ZOOM）		探すメニューを表示	←
戻る（RETURN）		無効	←
現在地（TV/DVD）		再音声（案内中）	←
カバー開き	1（◀◀）	無効	←
	2（▶▶）	無効	←
	3（AUDIO）	無効	←
	4（◀I）	無効	←
	5（I▶）	無効	←
	6（SUBTITLE）	無効	←
	7	無効	←
	8	無効	←
	9	無効	←
	0（ANGLE）	無効	←
	＊（CLEAR）	無効	←
	#（DIRECT）	無効	←
カバー閉じ	＋（BAND）	無効	←
	GOAL（▶▶I）	GOALプレート／到達度を表示	←
	−（M/S）	無効	←
	周辺（I◀◀）	周辺から探すを表示	←
	方位（AV OUT）	方位切替	←

リモコン		ナビモード		
状態		スクロール画面中		メニュー画面中
		走行中	停止中	（停止中のみ）
TOP MENU		無効	←	←
MENU		無効	←	←
▲（上）		上へスクロール	←	カーソルを上に移動
◥（右上）		右上へスクロール	←	
▶（右）		右へスクロール	←	カーソルを右に移動
◢（右下）		右下へスクロール	←	
▼（下）		下へスクロール	←	カーソルを下に移動
◣（左下）		左下へスクロール	←	
◀（左）		左へスクロール	←	カーソルを左に移動
◤（左上）		左上へスクロール	←	
ENTER		無効	結果画面を表示	選択項目を実行
広域（VOL▲）		地図を縮小	←	無効
詳細（VOL▼）		地図を拡大	←	無効
SC		ランクメニューを表示	←	無効
自宅（▶II）		無効	自宅探索または登録画面	無効
!MENU		ナビメニューを表示	←	ナビメニューに戻る
VICS（■）		VICS情報を表示	←	無効
検索（ZOOM）		探すメニューを表示	←	無効
戻る（RETURN）		無効	←	前の画面に戻る
現在地（TV/DVD）		現在地を表示	←	←
カバー開き	1（◀◀）	無効	←	電話番号／数値／文字入力
	2（▶▶）	無効	←	↑
	3（AUDIO）	無効	←	↑
	4（◀I）	無効	←	↑
	5（I▶）	無効	←	↑
	6（SUBTITLE）	無効	←	↑
	7	無効	←	↑
	8	無効	←	↑
	9	無効	←	↑
	0（ANGLE）	無効	←	↑
	＊（CLEAR）	無効	←	↑
	#（DIRECT）	無効	←	↑
カバー閉じ	＋（BAND）	無効	←	←
	GOAL（▶▶I）	カーソルを右に移動	←	無効
	−（M/S）	無効		無効
	周辺（I◀◀）	カーソルを左に移動	←	無効
	方位（AV OUT）	方位切替	←	無効

	リモコン	テレビモード	オーディオモード
	状態	TV	DVD-VIDEO
	TOP MENU	無効	トップメニューを表示
	MENU	無効	ディスクメニューを表示
	▲（上）	カーソルを上に移動	←
	▶（右）	カーソルを右に移動	←
	▼（下）	カーソルを下に移動	←
	◀（左）	カーソルを左に移動	←
	ENTER	選択項目を実行	←
	広域（VOL▲）	ボリュームアップ	←
	詳細（VOL▼）	ボリュームダウン	←
	ATT	アッテネーター機能ON/OFF	←
	SC	無効	←
	自宅（▶II）	シークモード切替	再生／ポーズ
	!MENU	テレビメニューを表示	DVD-VIDEOメニューを表示
	VICS（■）	無効	停止
	検索（ZOOM）	無効	ズーム切替
	戻る（RETURN）	前の画面に戻る	←
	現在地（TV/DVD）	テレビを表示	DVDを再生／DVD画面を表示
カバー開き	1（◀◀）	1	1または早戻し
	2（▶▶）	2	2または早送り
	3（AUDIO）	3	3または音声言語切替
	4（◀I）	4	4またはスロー再生（逆方向）
	5（I▶）	5	5またはスロー再生（順方向）
	6（SUBTITLE）	6	6または字幕言語切替
	7	7	7
	8	8	8
	9	9	9
	0（ANGLE）	0	アングル切替
	＊（CLEAR）	無効	数字消去
カバー閉じ	#（DIRECT）	ダイレクトモードON	←
	＋（BAND）	TV→外部VIDEO切替	無効
	GOAL（▶▶I）	チャンネルアップ	チャプターアップ
	－（M/S）	音声切替	無効
	周辺（I◀◀）	チャンネルダウン	チャプターダウン
	方位（AV OUT）	AV OUT出力切替	無効

	リモコン	オーディオモード		
	状態	CD	MP3/WMA	iPod
	TOP MENU	無効	←	←
	MENU	無効	←	←
	▲（上）	カーソルを上に移動	←	←
	▶（右）	カーソルを右に移動	←	←
	▼（下）	カーソルを下に移動	←	←
	◀（左）	カーソルを左に移動	←	←
	ENTER	選択項目を実行	←	←
	広域（VOL▲）	ボリュームアップ	←	←
	詳細（VOL▼）	ボリュームダウン	←	←
	ATT	アッテネーター機能ON/OFF	←	←
	SC	無効	←	←
	自宅（▶II）	再生／ポーズ	←	←
	!MENU	CDメニューを表示	MP3/WMAメニューを表示	iPodメニューを表示
	VICS（■）	停止	←	←
	検索（ZOOM）	無効	←	←
	戻る（RETURN）	前の画面に戻る	←	←
	現在地（TV/DVD）	CDを再生／CD画面を表示	MP3/WMAを再生／MP3/WMA画面を表示	iPodを再生／iPod画面を表示
カバー開き	1（◀◀）	1または早戻し	無効	1または早戻し
	2（▶▶）	2または早送り	←	←
	3（AUDIO）	3	←	←
	4（◀I）	4	←	←
	5（I▶）	5	←	←
	6（SUBTITLE）	6	←	←
	7	7	←	←
	8	8	←	←
	9	9	←	←
	0（ANGLE）	無効	←	←
	＊（CLEAR）	数字消去	←	←
カバー閉じ	#（DIRECT）	ダイレクトモードON	←	←
	＋（BAND）	無効	フォルダアップ	無効
	GOAL（▶▶I）	トラックアップ	ファイルアップ	曲アップ
	－（M/S）	無効	フォルダダウン	無効
	周辺（I◀◀）	トラックダウン	ファイルダウン	曲ダウン
	方位（AV OUT）	無効	←	←

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
地図の向きを変更できない。	3Dの表示中は、地図の向きを変更できません。	2D表示にしてから、地図の向きを変更してください。
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	表示できる最も詳細なスケールで使用してください。
ルート探索の結果が消去された。	[案内開始]を選択する前に、[戻る]を選択したり、電源がオフになった。	目的地や通過点は保持されていますので、プラン情報・編集の[探索]を選択して、ルート探索をし直してください（➡P.5-6）。
テナント情報が表示されない。	地図のスケールが不適切。	テナント情報を表示する場合は、25m以下のスケールに切り替えてください。
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは200m以下（3Dランドマークの場合は800m以下）のスケールです。
	ランドマークを6種類以上表示させようとしている。	表示できるランドマークは5種類までです。
メモリ地点を登録できない。	すでに100ヵ所登録されている。	不要なメモリ地点を消去してください（➡P.7-14）。
通過点を設定できない。	すでに5ヵ所が設定されている。	不要な通過点を消去してください（➡P.5-10）。
名称検索時に漢字が入力できない。	—	ひらがなで入力してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定し直してください。
4種類のルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で戸建番号を指定できない。	地域によっては戸建番号を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
ルート探索したが目的地が［あしあと］に記憶されていない。	目的地に到着していない。	到着していない目的地は、過去目的地として［あしあと］に記憶されません。
	目的地に到着したのが、最近の20ヵ所よりも古い。	過去目的地として記憶されるのは、20ヵ所までです。
緯度経度検索で位置がずれる。	世界測地系（日本測地系2000）に対応した緯度経度を入力した。	日本測地系に対応した緯度経度を入力してください。

症状	考えられる原因	対処方法
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路等を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると正しい位置に表示されます。
	テレビの56チャンネルを受信している。	56チャンネルの2倍の高調波がGPS衛星の受信周波数に近いため、影響を受けやすくなります。56チャンネル以外のテレビを受信してください。
	GPSの測位誤差。	4個以上のGPS衛星からの電波を受信できている状態で、現在地は3D（3次元測位）されます。 3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときは、2D（2次元測位）されます。この状態では、3D（3次元測位）時よりも誤差は大きくなります。 2個以下のGPS衛星からの電波しか受信できないときは測位できません（➡P.11-26）。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図（25mまたは10mスケール）を表示している。	市街地図のまま走行すると、地図データ等の誤差により道路外に表示されてしまう場合があります。
自車マークの方向が実際と異なる。	本機の電源がオフのときに車両の向きが変わった。	しばらく走行すると、正しい方向に表示されます。
VICSの地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、50m以上800m以下のスケールです。
	—	VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。
車速断線のメッセージが表示される。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
VICS情報が割込表示されない。	割込表示がオフに設定されている。	VICS設定画面で、割込表示をオンに設定してください（➡P.6-14）。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	ビーコンアンテナVF-M77（2005年春発売予定）を接続してください（➡P.6-2）。
VICS情報表示画面にVICS情報を表示できない。	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	ビーコンアンテナVF-M77（2005年春発売予定）を接続してください（➡P.6-2）。
	現在提供されているVICS情報が少なく、別のルートが探索できない。	—

 NEXT

症状	考えられる原因	対処方法
夜地図色が表示されない。	「昼固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声ガイドされない。	音量が0に設定されている。	音声ガイドの音量を調整してください。
	ボイスアドバイザなどの読み上げ設定が「OFF」に設定されている。	「ON」に設定してください。
[あしあと]を選択できない。	目的地に到着していない。	過去の到着地点がない場合は、[あしあと]は選択できません。
VICS FM多重放送が受信できない。	FM-トランスミッターで設定した周波数と、受信しようとしているFM多重放送局の周波数が近いため、混信している。	周波数を変更するか、FM-トランスミッターをオフにしてください。
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	NAVキーを押してナビゲーション画面に切り替えてください。
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きが進行方向に設定されている。	進行方向に設定すると、地図を回転して進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークの位置が実際と異なる。	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	車速検出コードが接続されていない。	お買上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
	ナビゲーション本体がしっかりと固定されていない。	お買上げの販売店で、ナビゲーションシステムをしっかり固定できる場所へ取り付けをし直してください。
	タイヤ交換などを行った。	タイヤ交換などを行った場合は、パルスの学習状態をリセットしてください（➡P.8-17）。
自車位置が移動しても、地図画面が変わらない。	スクロール地図画面を表示している。	スクロール地図画面を表示中は、自車位置が移動しても、スクロールした地図を表示し続けます。自車位置を表示させる場合は、NAVキーを押してください。
音声案内をしない。	細街路（幅員5.5m以下の道路）を走行中やルートから外れている。	細街路を走行中やルートから外れている場合は、音声案内を行いません。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。

症状	考えられる原因	対処方法
遠回りなルートを探索する。	細い道や、整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
入り口/出口IC付近で拡大図（3D/2D）表示が表示されない。	高速道路を使うルートがひかれていない。	入り口/出口IC付近で拡大図（3D/2D）表示するのは、高速道路を使うルートがひかれている場合です。
交差点名称などの固有名称が聞き取りづらい。	—	交差点名称などの固有名称は素片合成処理を行っているため、聞き取りにくい場合があります。
「きろくした場所」のリストが50音順に並ばない。	メモリ地点の名称に読み仮名を付けていない。	メモリ地点の名称に読み仮名を付けてください（➡P.7-8）。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状況により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
ランクメニューに何も登録されていない。	—	ランキングショートカットボタンには、よく使われる機能が登録されます。ナビメニューを何度か使用してください。
自宅ボタンや地図の拡大縮小ボタンが表示されない。	くるくるボタンがナビになっていない。	くるくるボタンを選択してナビの操作ボタンを表示させてください（➡P.1-14）。
地点の詳細情報が表示されない。	市街地図（25mまたは10mスケール）以外を表示している。	詳細情報は市街地図を表示中にのみ表示されます。
ルート案内時にレーン案内が表示されない。	地図の表示モードを「すっきりモード」に設定している。	地図の表示モードを「通常モード」に設定してください（➡P.10-9）。
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください（➡P.10-12）。
フェリー航路を走行するシミュレーションが表示されない。	—	シミュレーション走行では、フェリー航路の走行を省略します。
音声案内の割込が行われない。	ナビ音声割込を「OFF」に設定している。	ナビ音声割込を「ON」に設定してください（➡P.10-14）。
	ナビ音声時オーディオ音量ダウンを「OFF」に設定している。	接続しているカーオーディオがミュート対応の場合、ミュート端子を本機のミュートコードに接続をし、ナビ音声時オーディオ音量ダウンを「ON」に設定してください（➡P.10-14）。
音声案内の最初の音声が途切れる。	ケンウッド製以外のカーオーディオを接続している。	ケンウッド製以外のカーオーディオを接続している場合は、音声案内の最初が途切れることがあります。

NEXT

症状	考えられる原因	対処方法
ナビメニューの「ドライブプラン」で選択できるボタンがない。	ルートが探索されていない。	ドライブプランはルート探索が行われている場合に選択できます。
最初の設定をもう一度行いたい。	—	ナビ設定メニュー（➡P.8-2）やSETUPメニュー（➡P.10-2）から各種設定が行えます。
車速パルスの学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。	車速パルスは通常は「オート」に設定してください。ただし、車種により「アナログ」または「デジタル」に設定する場合があります（➡P.8-13）。
	車速検出コードが接続されていない。	お買上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
キーを押しても動作しない。	内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください（➡P.xiii）。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
チューナーの感度が悪い。	プリントアンテナが正しく接続されていない。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
ナビ画面を表示中に、テレビなどの音声を消すことができない。	AVソースがオンになっている。	TVキーを2秒以上押して音声をオフにしてください。
テレビで自動選局（オートプリセット）ができない。	電波の状況がよくない。	手動で選局してください。
AV操作のショートカットボタンが表示されない。	くるくるボタンがAVになっていない。	くるくるボタンを選択してAVの操作ボタンを表示させてください。
リアモニターに何も表示されない。	リアモニターのソースがオンになっていない。	AV OUTキーでリアモニターのソースを選択してください。

DVD/CD/MP3/WMA/iPod再生

症状	考えられる原因	対処方法
DVDキーを押してもディスクが再生できない。	ディスクが入っていない。	再生するディスクを入れてください。
	iPod／DISC切り替えをしていない。	DVDキーを押してiPod／DISC切り替えを行ってください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が30°を超えている。	30°以下になるように取り付けし直してください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れ直してください。
	ディスクが異常に汚れている。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、しばらく放置（約1時間）してから使用してください。
	ディスクが内部的に検出されていない。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、再度ディスクを挿入してください。
iPodの曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
映像が乱れる。	早送り/早戻ししている。	多少乱れることがありますが、故障ではありません。
音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない。	複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。	メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクのマニュアルをご覧ください。
DVDを再生しない。	視聴制限がされている。	視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください（➡P.10-23、P.10-25）。
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない。	ランダム再生がオンになっている。	ランダム再生をオフにしてください（➡P.9-36、P.9-46、P.9-60）。
同じ曲を繰り返し再生するだけで、次の曲に進まない。	トラックリピート再生がオンになっている。	トラックリピート再生をオフにしてください（➡P.9-37、P.9-47、P.9-58）。
曲の先頭しか再生されない。	スキャン再生がオンになっている。	スキャン再生をオフにしてください（➡P.9-38、P.9-48、P.9-59）。
曲が順に再生されない。	ランダム再生がオンになっている。	ランダム再生をオフにしてください（➡P.9-36、P.9-46、P.9-60）。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	ディスクが取り出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。

NEXT

症状	考えられる原因	対処方法
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD-R、DVD-RWが再生できない。	VR Modeで録画している。	Video Modeで録画してください。
リピート再生、スキャン再生、ランダム再生がオフされない。	ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。	各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。
ディスクを取り出せない。	車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過している。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
映像が映らない。	走行中またはナビ画面を表示中。	走行中またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。
DVDの視聴制限を解除できない。	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合は、リセットボタンを押すと視聴制限とそのパスワードは、お買い上げ時の状態に戻ります。
DVDの禁止マーク"⊘"が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
映像が途中で停止し、操作ができない。	ディスク再生中にデータが読み取れなくなった。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。
画面モードで設定した比率にならない。	ディスクにより比率が固定されています。	比率の変更はできません。
視聴制限を設定しているのに、再生が制限されない。	—	ディスクにより視聴制限をかけられない場合があります。
CD/MP3/WMA再生中に画面が表示されなくなる。	CD/MP3/WMAを再生中にDVDキーを押した。	CD/MP3/WMAを再生中にDVDキーを押すと、画面は青画になります。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
聴きたいMP3/WMAファイルが見つからない。	聴きたいMP3/WMAファイルに拡張子が付いていない。	MP3/WMAファイルに".MP3"/".WMA"拡張子を付けてください。

MP3/WMA

症状	考えられる原因	対処方法
MP3/WMAファイルが再生できない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。
	MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。	MP3ファイルには".MP3"、WMAファイルには".WMA"を付けてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
MP3/WMAファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
MP3ファイルを再生時に雑音が入る/音が出なくなる。	MP3ファイル以外のファイルに".MP3"拡張子が付いている。	MP3ファイル以外のファイルに付いている".MP3"拡張子を消去してください。
WMAファイルを再生時に雑音が入る/音が出なくなる。	WMAファイル以外のファイルに".WMA"拡張子が付いている。	WMAファイル以外のファイルに付いている".WMA"拡張子を消去してください。
フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。
	ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	ライティングソフトのマニュアルをご覧のうえ、使用できる文字で記録してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない。	MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがある。	—
MP3/WMAファイルを再生するまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
MP3/WMAファイルが順番どおりに再生されない。	再生させたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかった。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に"00"～"99"などと入力してから書き込むことで、順番を設定できる場合もあります。
ID3 Tag情報が正しく表示されない。	ID3 Tagがv1.xに準拠して記録されていない。	ID3 Tagをv1.xに準拠して記録してください。
CD-RWに記録したMP3/WMAファイルが再生されない。	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行った。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
ファイルサーチできない。	最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとした。	フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodの操作はできるが音が再生されない。	音声入力端子（AV IN）が正しく接続されていない。	取付説明書をご覧になり、音声入力端子（AV IN）の接続を確認してください。
iPodが認識されない。	iPod接続ケーブルKNA-i77が正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブルKNA-i77を接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
	iPodのバッテリー残量がまったく無い。	iPodのバッテリー残量がまったく無くなると、ナビゲーションシステムでiPodの認識ができません。（ナビゲーションシステムから充電することもできません）
レスポンスが悪くなった。	１つのカテゴリ内の曲数が多い。	１つのカテゴリ内の曲数が多くなると、レスポンスが悪くなることがあります。特に、曲数が多くシャッフルをオンにしていると、iPodの動作自体の反応が悪くなることがあります。
曲再生の音が途切れる。	iPodの充電が不十分、または充電池の性能が極端に低下している。	充電池の状態が良くないときは、動作が不安定になることがあります。一度、再生を停止して充電を行ってください。それでも解決しない場合は、iPodの充電池を交換することをお勧めします。
	iPodの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPodが転がらないよう、車内にしっかりと取り付けし直してください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	ナビゲーションシステムの電源が入っていない。	ナビゲーションシステムの電源を入れてください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPodの操作ができなくなる。	—	ナビゲーションシステムと接続中は、iPodの操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
「すべて」(例：アーティストのアルバム全て)がリスト中に表示されない。	ナビゲーションシステムでは「すべて」で再生開始することができない。	アルバムやアーティストの名前の右側にある再生ボタンにて、そのカテゴリに属する曲をすべて再生することができます。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
本機が動作しない。	本機の温度が低い。	冬季などに本機の温度が下がりすぎると、保護機能が働いて作動しなくなる場合があります。周囲の温度が上がれば、保護機能が解除され通常動作に戻ります。
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
画面にタッチしても反応しない。	タッチ位置がズレている。	タッチ位置の補正をしてください（➡P.10-8）。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	モニターユニットの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに液晶パネルの特性上、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください（➡P.10-5）。
	ディマー機能が働いている。	周囲の明るさを感知して、画面の明るさが自動的に調整されます。ディマーセンサーの設定をしてください（➡P.10-5）。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください（➡P.10-5）。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください（➡P.8-6、P.10-4)。
映像がギザギザに表示される。	—	ワイド画面特有の現象です。故障ではありません。
リアビューカメラに切り替わらない。	外部入力選択を「VIDEO」または「AUX」に設定している。	外部入力選択を「リアビューカメラ+AUX」に設定してください（➡P.10-12）。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

ナビ画面のメッセージ

メッセージ	対処
車速パルスの接続を確認してください。 車速パルスの断線が発生しました。	車速パルスの接続を確認してください。確認後、自車の動作がおかしい場合は、パルスリセットを行ってください。
GPSアンテナが外れています。 GPSアンテナがショートしています。	GPSアンテナの接続を確認してください。

AV画面のメッセージ

表示	対象ソース	説明	対処方法
リージョンエラーです。	DVD	地域コード不一致により再生できません。	正しいディスクと交換してください。再生できるコードは2またはALLです。
読みとりエラーです。	DVD/CD/ MP3/WMA	読み込み不可のディスク、ディスクのアクセスエラーです。	正しいファイルを再生してください。
未知のディスクです。	DVD/CD	ディスク(DVD、CD)の形式が不明です。	
パレンタルレベルエラーです。	DVD	現在の視聴制限設定のため再生できません。	再生するためには視聴制限を変更してください。
メカエラーです。	DVD/CD/ MP3/WMA	装置の異常です。	本機のリセットボタンを押してください。 正常な使用で繰り返し発生する場合はお近くのケンウッドサービス窓口にご相談ください。
動作エラーです。	DVD/CD/ MP3/WMA	その他のエラーが発生しました。	
TVチューナーボックスが外れています。	TV	—	TVチューナーユニットの接続を確認してください。

共通

表示	対象ソース	説明	対処方法
本体内部が高温になりました。	—	高温のため装置が動作できません。	本体内部が高温になると、保護回路が働いて再生ができなくなります。車内の温度を下げてしばらくお待ちください。もし、正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

MP3/WMAについて

本機は、MP3/WMAファイルを再生することができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには、以下のことに注意してください。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

再生できるMP3フォーマット

本機で再生できるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3, MPEG 2 Audio LSP Layer 3規格のものです。

- サンプリング周波数
  :8, 11.025,12,16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48(kHz)
- ビットレート:8~ 320(kbps)
  (可変ビットレート(VBR)対応)

再生できるWMAフォーマット

本機で再生できるWMAファイルは、以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数:44.1, 48, 32(kHz)
- ビットレート:48 ~ 192 (kbps)
  (可変ビットレート(VBR)対応)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると、正常に再生できない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL: http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

また、コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo

使用できる文字はライティングソフトの説明書および、下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層:8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数:255
- 最大フォルダ数:128
- 最大フォルダ名:64文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されて再生されるファイルは、“.MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。

禁 止

MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語(シフトJIS)です。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

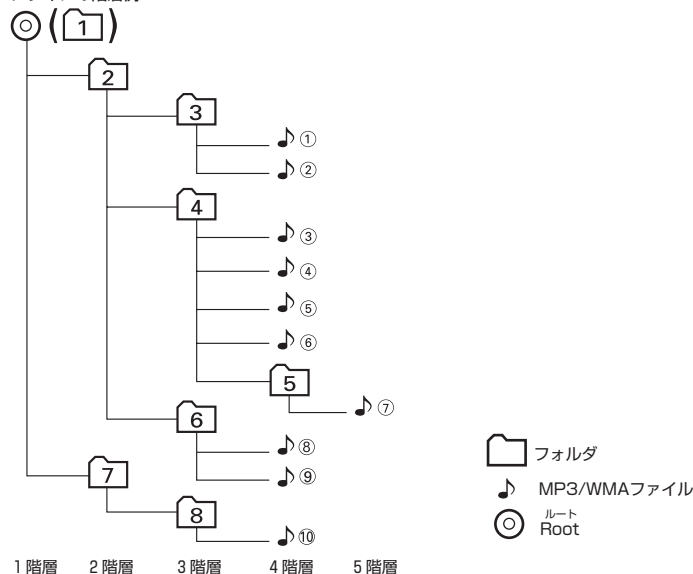
また、次のMP3/WMAファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

MP3/WMAファイルを再生する順番

再生、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、"01"～"99"などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。
以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。

メディアの階層例

フォルダ
♪ MP3/WMAファイル
◎ Root（ルート）

♪④再生中にファイルサーチを行うと…

押すボタン／再生中のファイルNo.	⏮	⏭
♪④	♪④の最初 ➡ ♪③	♪⑤ ➡ ♪⑥

♪④再生中にフォルダサーチを行うと…

押すボタン／現在のフォルダNo.	▲	▼
4	3 ➡ 8 •••	5 ➡ 6 ➡ 8 ➡ 3

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

地図データベースについて

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

HDM-555（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の改訂作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

- 本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間のHDM-555（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトをご使用になる前に必ずお読みください。本ソフトをご使用になった場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

● 使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）に従い本ソフトを機器で使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトの使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   （1）必ず安全な場所に車を停車させて本ソフトを使用すること。
   （2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意しそれらを優先して行うこと。
3. お客様は、以下の事項を了承するものとします。
   （1）本ソフトの著作権は弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   （2）本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなくまた全て正確かつ完全ではないこと。弊社は、これらがあっても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
   （3）本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、故意または重過失による場合を除き、直接的かつ通常の損害の賠償に限られ、また、本ソフトと同等の機能を有する弊社商品の標準価格を限度とすること。この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任の全てを規定したものとすること。
4. お客様は以下の行為をすることはできません。
   （1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの一部でも、複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用すること。
   （2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の一部でも使用させること。
   （3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   （4）その他本ソフトについて本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

● 地図データベースについて

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（承認番号 平14総使、第396－63号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1－No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用したものを使用しています。（承認番号04－4）

- 本ソフトに使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識·標示等にしたがってください。
- 本ソフトに使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、弊社は二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本ソフトに使用している交通規制データを無断で複写·複製・加工·改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2004年1月のものを使用しています。
- 本ソフトに使用している個人宅電話番号検索は株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

＜ご注意＞

- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2004年3月、国道、都道府県道についてはおおむね2004年3月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。ご了承ください。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。但し、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時がありますのでご注意願います。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは弊社発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。ご了承ください。
- 電話番号検索データはタウンページ（2004年1月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
  個人宅電話番号検索は、株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。
  なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。ご了承ください。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印等）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

  ※収録エリアには2005年3月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
  VICSサービスの開始時期については（財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

【VICSに関するお問い合わせ】

（財）道路交通情報通信システムセンター

窓口	：東京センター
電話番号	：0570-00-8831（全国）
PHS専用	：03-3592-2033（東京） / 06-6209-2033（大阪）
FAX	：03-3592-5494

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

- 道路　：2004年3月（高速・有料道路）／2004年3月（国道・都道府県道）
- 交通規制※1　：2003年4月
- 住所検索　：2004年4月
- 電話番号検索　：2004年1月
- 個人宅電話番号検索　：2004年2月
- 郵便番号検索　：2004年4月
- ジャンル検索　：2004年4月
- 高速・有料道路料金　：2004年3月
- 市街地図　：2003年10月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】

全国47都道府県

※但し、収録エリアには2005年3月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICSサービスの開始時期については（財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

【本ソフトについてのお問い合わせ先】

フリーダイヤル：0120-210-616
受付時間　：10:00～17:00　月～金（祝日・弊社指定休日は除く）

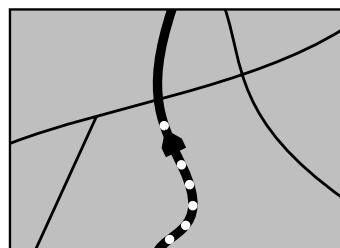
2005年3月発行
製作・発行／株式会社ゼンリン

自車位置の精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、自車の位置が道路から外れた場合に、道路から外れた自車の位置を論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」と論理的に判断し、現在地近くの道路上に自動修正します。

マップマッチングしていない場合

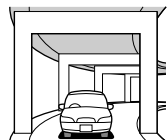
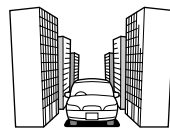
マップマッチングしている場合

本機は、GPSと自律航法を併用し、精度の高い測位をした上でマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

誤差について

本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位を元に、さらにマップマッチング機能を動作させて、最大限誤差を小さくしておりますが、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

● GPS測位不可により生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断され、電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

トンネルの中や
ビル内の駐車場

2層構造の高速
道路の下

高層ビルの群衆地帯

密集した樹木の間

2）次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
- 56チャンネル（UHF）のテレビを受信している場合。
- GPSアンテナの近くで、自動車電話や携帯電話を使っている場合。

3）2基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位ができないことがあります。

4）GPSアンテナに、ペンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPSによる測位ができないことがあります。
GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。

● GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

1）電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

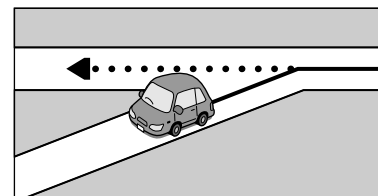
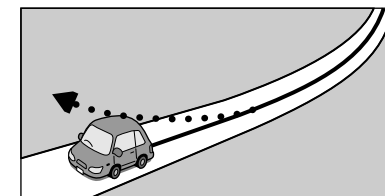
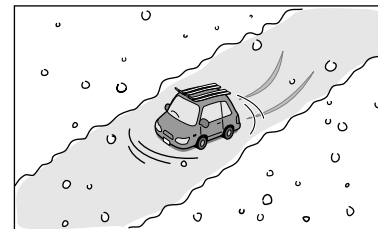
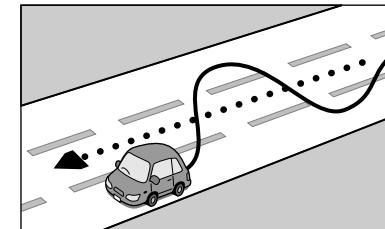
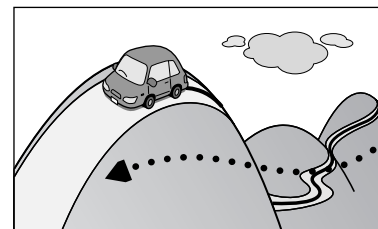
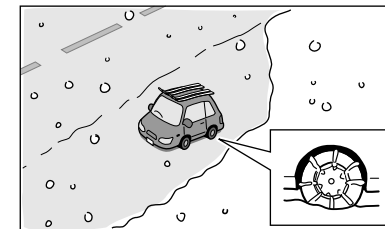
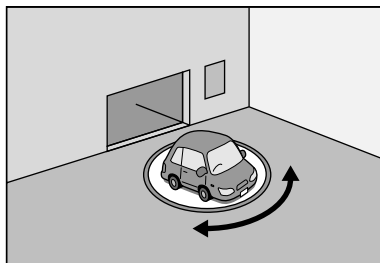
2）GPS衛星による測位の、高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

3）3次元測位のときは、約10m～100mの誤差で現在地を測位しますが、2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。

4）GPS衛星は米国国防総省によって管理されているため、GPS衛星自体が意図的にあやまった位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

● その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合

直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

蛇行運転をした場合

勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合

チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合（➡P.8-17）

駐車場などのターンテーブルで旋回した場合

地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位ができない場合

ヘアピンカーブが続いた場合

GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合

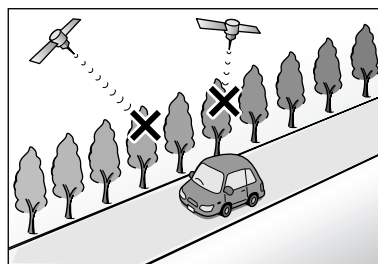
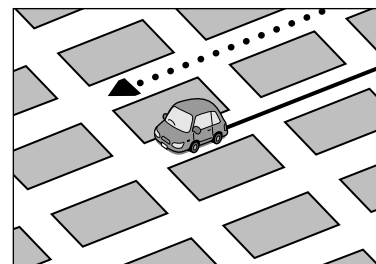
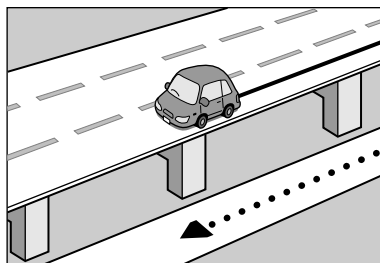
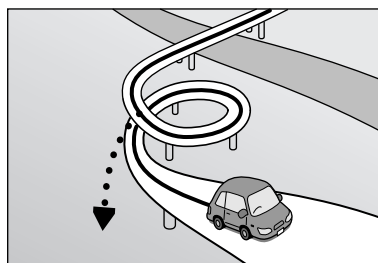
高速道路と側道などが隣接している場合

ループ橋などを走行した場合

立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合

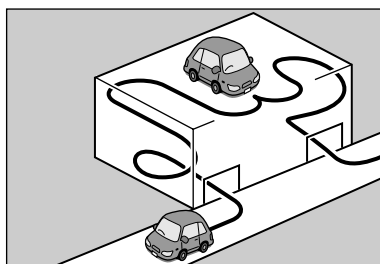
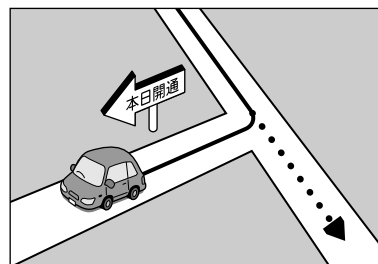
地図データにはない、新設道路を走行した場合

フェリーや車両運搬車などで移動した場合

渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合

碁盤の目状の道路を走行した場合

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合

低速時の位置精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場で、時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	山頂		病院		公園
	工場		運動施設		マリーナ
	一方通行記号		サッカースタジアム		史跡・旧跡、観光名所
	交差点		海水浴場・（湖水、池）水泳場		神社
	サービスエリア		その他目標施設		寺院（仏閣、地蔵）
	パーキングエリア		JRA競馬場・ウィンズ		教会
	インターチェンジ		デパート・スーパー・ショッピング施設		城跡
	ジャンクション		ガソリンスタンド		美術館
	料金所		カー用品店		博物館
	ランプ（出入口）		ホテル·旅館·宿泊施設		郵便局
	ランプ（出口専用）		展望タワー		小学校
	駐車場		動物園		中学校
	飛行場・空港		植物園		高等学校
	港		水族館		短大
	フェリーターミナル		ゴルフ場		大学
	墓地		温泉		養護・盲・聾学校
	都道府県庁舎・北海道支庁庁舎		スキー場		高等専門学校
	市役所・特別区庁舎		遊園地・テーマパーク	（青）	高速道·都市道·有料道
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		テーマパークゲート	（紫）	開通予定道路
	官公署・市町村役場支所（出張所）		キャンプ場	（赤）	国道
	消防署（含む：分署・支署・出張所）		スタジアム	（黄）	主要地方道
	自衛隊		警察署・交番・駐在所	（緑）	都道府県道
	学校		図書館	（灰）	その他の道路

● 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。
また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

その他の資料

ソフトウエア使用許諾書

- 本ソフトを株式会社ケンウッドに無断で複写、複製、加工、改変または解析することはできません。
- 本ソフトを有償で第三者に譲渡、レンタル、再使用許諾することはできません。
- 本ソフトを使用、または使用できなかったことによる派生的、付随的、間接的損害については何らの責を負いません。
- 本ソフトを業務用として使用することはできません。
- 本ソフト内容は予告なく変更または改変されることがあります。
- 本ソフトの使用許諾条件は、購入者および使用者、無償で譲り受けた転得者にも適用されます。

施設情報及び個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、タウンページのデータを使用しています。
個人宅電話番号検索には、株式会社ダイケイのテレデータを使用しております。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除·掲載·修正に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（➡裏表紙）にご連絡ください。

用語集

ナビ用語集

GPS
GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国国防総省が開発運用しているシステムで、3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信して、現在の位置を知ることができるシステムです。

VICS
VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。事故の情報や渋滞状況、駐車場の空き情報などを表示することができます。

オートリルート
ルート案内中に、おすすめのルートから外れてしまったとき、自動的にルートを探す機能です。

ランドマーク
お店や施設を、地図上で見やすくするためにマークで表した目印です。

車速パルス
車の走行距離を調べるための信号です。

自車
本機を取り付けているお客様のお車のことです。

測位
GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

AV用語集

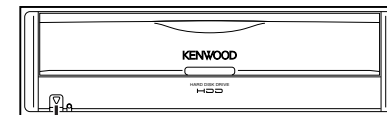
AV-IN
（エーブイイン）
ビデオなどの外部機器の出力を入力する機能です。AV-IN端子から入力された音は、本システムを使って聴くことができます。

Dolby Digital
（ドルビーディジタル）
ドルビー研究所の開発したディジタル音声の圧縮技術です。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またディジタルのため劣化しにくい特長があります。

MP3
（エムピイスリー）
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書では、この方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるMP3収録メディアの種類や、フォーマットなどは「MP3/WMAについて」（➡P.11-21）をご覧ください。

WMA
（Windows Media™ Audio）
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは、「MP3/WMAについて（➡P.11-21）をご覧ください。

シークモード
（チューニングモード）
放送局の探し方を設定することができます。
オート　　：放送局を自動的に見つけ出します。
プリセット：メモリーされている放送局を順番に受信します。
マニュアル：1ステップずつ周波数が変わります。

セキュリティインジケータ機能 （➡P.10-12）
この機能をオンにしておくと、エンジンキーがオフのときにLEDが点滅します。LEDが点滅することにより盗難を抑制する効果があります。

タイトル
DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター
DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック
CDに収録されている曲の区切り（1曲分）をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

BEEP音 （➡P.10-12）
ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

視聴規制（パレンタルロック）
視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

仕様一覧

ナビゲーション部

項目	仕様
アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	パラレル12チャンネル
受信周波数	1575.42MHz（C/Aコード）
受信感度	−130dBm以下
測定更新時間	約1秒/1回
測定方式	自立航法/GPS＋自立航法（ハイブリッド）

モニター部

項目	仕様
画面サイズ	7.0V型ワイド 154（幅）×87（高さ）×176.9（対角）mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	336,960個　480H×RGB×234V
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源（照明方式）	冷陰極管
スピーカー音声出力	1W以下/16Ω 40mm×20mm楕円型1個

TV部

項目	仕様
受信チャンネル	（VHF）1〜12ch　（UHF）13〜62ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザ方式
復調方式	（映像）擬似同期検波方式 （音声）スプリットキャリア方式
アンテナ入力（入力インピーダンス）	3ch ダイバシティ（75Ω/ミニジャック3.5φ）

DVD/CD部

項目	仕様
D/A　コンバータ	24bit
デコーダ	リニアPCM / Dolby Digital / dts / MP3 /WMA
ワウ／フラッター	測定限界以下
周波数特性 96kサンプリング時	20〜48,000Hz
48kサンプリング時	20〜24,000Hz
44.1kサンプリング時	20〜22,000Hz
高周波歪率	0.01%（1kHz）
S/N比	95dB　（DVD 96kHz）、93dB　（CD）
ダイナミックレンジ	95dB　（DVD 96kHz）、93dB（CD）
対応ディスク	DVD-Video、DVD-R/-RW（Video Mode）、 DVD+R/+RW（Video Mode）、CD、CD-R、CD-RW
リージョン番号	2
サンプリング周波数	8kHz/11.025kHz/12kHz/16kHz/22.05kHz/ 24kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit
MP3 デコード	MPEG-1.0/2.0 Audio Layer-3 準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio準拠
ステレオ･セパレーション	90dB　（DVD 96kHz）、90dB　（CD）

オーディオ

項目	仕様
AV入力端子（RCA×1系統） 映像入力レベル	1Vp-p/75Ω
音声最大入力レベル	1.4Vrms/47kΩ
AV出力端子（RCA×1系統） 映像出力インピーダンス（RCAピン）	1Vp-p/75Ω
外部音声出力レベル（RCAピン）	1.2Vrms/10kΩ（CD）
FMトランスミッタ	76.3〜78.8MHz

ビーコンレシーバー部

項目	仕様
電波ビーコンレシーバー部 受信周波数	2.4997GHz
受信感度	−80（ビット誤り率1×10^{-4}）
光ビーコンレシーバー部 受信波長	850±50mm
受信感度	0.75μW/cm^{2}以下
ダウンリンク伝送速度	1.024Mbps
アップリンク伝送速度	64kbps

iPod I/F部

項目	仕様
最大供給電源	15V/1A

電源／寸法／重量

項目	仕様
電源電圧	14.4V（11V～16V）
最大消費電流	5A
使用温度範囲	－10～+60℃
保存温度範囲	－30～+85℃
本体 外形寸法（W×H×D）	180mm×50mm×176mm
埋込寸法（W×H×D）	178mm×50mm×159mm
重量	1,510g
チューナーBOX部 外形寸法（W×H×D）	180.5mm×30mm×130mm
重量	440g
モニタ部 外形寸法（W×H×D）	209mm×113.5mm×28mm
重量	680g
GPSアンテナ 外形寸法（W×H×D）	34mm×13.2mm×38mm
重量	100g

TVアンテナ（付属品）

項目		仕様
受信チャンネル	（FM帯）	VICS
	（VHF帯）	1～12ch
	（UHF帯）	13～62ch
周波数範囲	（FM帯）	76～90MHz
	（VHF帯）	90～222MHz
	（UHF帯）	470～770MHz
ブースターゲイン	（FM帯）	10dB
	（VHF帯）	10dB
	（UHF帯）	7dB
出力インピーダンス		75Ω×4 （φ3.5mm L型ミニプラグ）
ケーブル長		アンテナケーブル： （Rch）:5.5m、 （Lch）:4m 電源ケーブル： （Rch）:5.5m、 （Lch）:4m
電源電圧		DC8±0.5V
消費電流		80～84mA
プリントアンテナ部 エレメント寸法		347mm×95mm
RFアンプ部 外形寸法（W×H×D）		40mm×20mm
重量		約345g（付属品含む）

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書　この製品には、保証書を別途添付しております。
  保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間　お買上げの日より **1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」（➡P.11-10）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- **保証期間中は…**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
  本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

- **保証期間経過後は…**
  お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
  補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
  （補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

- **持込修理　この製品は持込修理とさせて頂きます。**
- 製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください）。

- **修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）**
  技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
  部品代：修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

用語索引

数字

１画面/2画面切替 1-10
2D/3D切替 1-10
3D地図の角度設定 8-7
3Dランドマーク表示設定 8-8
50音順 2-20, 2-25, 2-30

英字

AV-OUTキー 1-2
AV用語集 11-33
BEEP音設定 10-12
CDメニュー画面 9-34
CDの再生 9-32
CDの操作画面 9-34
CD読込みモード設定 10-14
DVDキー 1-2
DVD VIDEOメニュー画面 9-26
DVDの再生 9-17
DVDの操作画面 9-19
FMトランスミッタ周波数設定 10-14
FMトランスミッタ設定 10-14
GOALプレート表示 4-6
GOALプレート表示設定 8-11
GPSマーク 1-7
iPodの曲を再生 9-50
iPodメニュー画面 9-52
iPod／DISC切り替え画面 9-18, 9-33, 9-41, 9-51
MP3/WMAについて 11-21
MP3/WMAの再生 9-40
MP3/WMAメニュー画面 9-42
NAVキー 1-2
！MENUキー 1-2
SET UPメニュー 10-2
TVキー 1-2
VICS規制情報表示設定 6-14
VICS局の自動選局 6-8
VICSサービスの問い合わせ 6-15
VICS渋滞情報表示設定 6-14
VICS情報 6-2
VICS情報の地図画面表示 6-3
VICS情報の表示 6-7
VICS駐車場表示設定 6-14
VICSの機能設定 6-13
VICSビーコン表示 6-12
VICS表示設定 6-14
VICSマーク 1-7
VICSメニュー 6-5
VICSリンクの更新 6-16
VICS割込表示時間設定 6-14

あ

明るさ設定 10-5
アルバムランダム 9-60
アングル切替 9-19
アングルマーク設定 10-17
イジェクトキー 1-3
一般道路での案内 4-8
緯度・経度から探す 2-16
色合い設定 10-5
色の濃さ設定 10-5
運転アドバイスの音声設定 8-11
映像のズーム 9-20
エリアモード 9-11
オーディオ音量ダウン設定 10-12
オートプリセット 9-9
お試し走行 5-16
音声案内の口調設定 10-28
音声案内の早さ設定 10-28
音声切替 9-7
音声言語切替 9-29
音声言語設定 10-17

か

ガイドポイントでの音声案内 4-11
ガイドポイントでの画面表示 4-12
外部入力選択設定 10-12
外部ビデオの映像表示 9-63
過去に到着した場所から探す 2-26
過去に到着した場所の消去 7-28
過去に到着した場所のメモリ登録 7-26
画質の調整 10-4
画面位置の調整 10-10
画面分割切替 1-10
画面モードの設定 10-6
きおくから探す 2-24
起動ウィザード 1-4
きろくした場所表示設定 8-5
くるくるボタン 1-14
黒レベル設定 10-5
警告表示 4-10
言語コード 10-19
現在地補正 8-18
検索結果画面 3-2
交差点拡大図設定 8-11
交差点の案内 4-8
高速道路での案内 4-9
故障かなと思ったら 11-10
コマ送り再生（DVD） 9-25
コントラスト設定 10-5

さ

最適時間考慮設定 8-13
探すメニュー 2-2
シークモード設定 9-6
自車マーク 1-7
自車位置の精度 11-26
したいことから探す 2-18
自宅情報の消去 7-24
自宅の場所登録 7-20
自宅の場所変更 7-22
自宅のマーク変更 7-23
自宅へ帰る 4-7
自宅ボタン 1-7
視聴制限レベル設定 10-23
字幕言語切替 9-29
字幕言語設定 10-21
車速パルス設定 8-13
車両情報設定 8-14
住所から探す 2-7
周辺から探す 2-28
縮尺変更ボタン 1-6
ジョイスティックリモコン操作 11-2
ジョイスティックリモコンの操作早見表 11-6
ジョイスティックリモコンの電池交換 11-5
仕様一覧 11-34
情報メニュー 7-2
ショートカットボタン 1-9
スキャン再生（CD） 9-38
スキャン再生（MP3/WMA） 9-48
スキャン再生（iPod） 9-59
スクリーン設定 10-17
図形割込設定 6-14
スピーカーダクト 1-2
スロー再生（DVD） 9-24
セキュリティインジケータ 1-3
セキュリティインジケータ設定 10-12
接続確認設定 8-15
前面パネル 1-3
操作パネルの各部の名称 1-2
ソースの切替 9-2
外付け装置の映像表示 9-63

た

タイトルサーチ再生（DVD） 9-30
ダイナミックレンジ切替 9-31
タッチ位置の補正 10-8
タッチゲーム 7-30
建物から探す 2-4
近い順 2-20, 2-25, 2-30
地図角度設定 8-5
地図から探す 2-22
地図色設定 8-5
地図スクロール設定 8-5
地図データベースについて 11-23
地図の色調設定 8-6
地図の縮尺 1-11
地図の見え方設定 8-5
地図の向き設定 8-5
駐車場検索 3-8
通過点設定 3-11
通過点の削除 5-10
通過点の順番を変更 5-8
通過点の追加 5-12
通過点の変更 5-6
ディスク挿入口 1-3
ディスクの挿入 1-17
ディスクの取り出し 1-18
ディスクメニュー表示 9-21
ディマーセンサー設定 10-5
デジタルアウト出力設定 10-14

デジタル放送 9-15
テレビの操作画面 9-5
テレビメニュー画面 9-8
テレビを見る 9-3
電源オフ 1-5
電源オン 1-4
電話番号から個人宅を探す 2-14
電話番号から施設を探す 2-11
登録順 2-25
ドライブプランメニュー 5-2
トラックリスト選曲（CD） 9-35

な

ナビ音声出力選択設定 10-14
ナビ音声割込設定 10-14
ナビ設定メニュー 8-2
ナビの音量設定 10-12
ナビ表示割込設定 10-12
ナビメニュー 1-15
ノースアップ 1-8

は

パスワード変更　　10-26
早送り（MP3/WMA） 9-49
早送り／早戻し（CD） 9-39
早送り／早戻し（DVD） 9-23
早送り／早戻し（iPod） 9-61
パルスリセット 8-17
表示モードの設定 10-9
フォルダ／ファイルリスト選曲 9-44
プランを選ぶ画面 4-2
ヘディングアップ 1-8
ボイスアドバイザ設定 10-12
方位マーク 1-6
方向看板表示設定 8-11
放送局の選局 9-5
ポジションマップ表示 2-21
保証とアフターサービス 11-37
ボリュームキー 1-2

ま

マーク順 2-25
マークを選択して探す 2-32
マニュアルメモリー 9-13
メニュー言語設定 10-17
メモリ地点から探す 2-24
メモリ地点登録 3-10
メモリ地点の位置確認 7-12
メモリ地点のサウンド設定 7-18
メモリ地点の消去 7-14
メモリ地点の電話番号設定 7-10
メモリ地点のマーク変更 7-16
メモリ地点の名称変更 7-4
メモリ地点の読み仮名変更 7-8
目的地情報表示 1-12
目的地情報ボタン 1-7
目的地設定 3-4
目的地の削除 5-10
目的地の変更 5-6
文字割込設定 6-14
モニタースピーカー音声設定 10-14

や

よく行く順 2-25

ら

ランクメニュー 1-9
ランクメニューボタン 1-6
ランダム再生（CD） 9-36
ランダム再生（MP3/WMA） 9-46
ランダム再生（iPod） 9-60
ランドマーク表示設定 8-8
リアビューカメラの映像表示 9-65
リアモニター接続設定 10-12
リアモニターの映像表示 9-62
リセットボタン 1-3
リピート再生（CD） 9-37
リピート再生（DVD） 9-28
リピート再生（MP3/WMA） 9-47
リピート再生（iPod） 9-58
リモコン操作早見表 11-6
リモコンの電池交換 11-5
ルート案内の開始 4-5
ルート案内の中止 5-18
ルート全体の地図表示 5-4
ルート全体のリスト表示 5-5
ルートの削除 5-14
ルートの比較 4-4